

電気設備工事特記仕様書				
1. 工事概要				
津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事				
2. 工事場所				
津市 八町三丁目 地内				
3. 建物概要				
建物概要	構造	階数	延べ面積(m ²)	用途区分
特別教室管理棟・屋内運動場	R C 造	3階建	5, 193	7項
消防法施行令別表第一				
計				
(延べ面積は建築基準法による表記)				
4. 工事種目				
主な工事種目は、下記の○印のついたものである。				
工事場所				
工事種目	特別教室管理棟			
電力設備	○			
動力設備	○			
雷保護設備				
接地設備				
受電設備				
電力貯蔵設備				
直流電源設備				
交流無停電電源設備				
電力平準化蓄電設備				
分散電源システム・マイクログリッド				
発電設備				
ディーゼル発電設備				
ガスエンジン発電設備				
ガスタービン発電設備				
太陽光発電設備				
風力発電設備				
その他発電設備				
通信・情報設備				
機内情報通信網設備	○			
機内交換設備				
情報表示設備	○			
映像・音響設備				
拡声設備	○			
誘導支援設備	○			
テレビ共同受信設備	○			
テレビ電波障害防除設備				
監視カラーテレビ				
駐車場監視設備				
防犯・入退室管理設備				
自動火災報知設備	○			
自動閉鎖設備	○			
非常警報設備				
ガス漏れ火災警報設備				
中央監視制御設備				
医療関係設備				
機内配電線路				
機内通信線路				
その他				

II. 共通仕様	
1. 通用	
図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。（最新のものを適用）	
・国土交通省大臣官房官営施設部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・機械設備工事編）	
・国土交通省大臣官房官営施設部監修「建築工事監理指針」（電気設備工事編・機械設備工事編）	
・国土交通省大臣官房官営施設部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）	
・国土交通省国土政策統合研究所及び独立行政法人建築研究所監修「建築設備計画・施工指針」	
・電気設備に関する技術基準を定める命令（電気設備技術基準）	
・電気設備に関する法律の適用化に関する法律	
2. 一般共通事項	
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。	
項目	特記事項
1. 一般事項	
(1) 計画図面に記載されていない事項については下記による。（最新のものを適用）	
・国土交通省大臣官房官営施設部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・機械設備工事編）	
・国土交通省大臣官房官営施設部監修「建築工事監理指針」（電気設備工事編・機械設備工事編）	
・国土交通省大臣官房官営施設部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）	
・国土交通省国土政策統合研究所及び独立行政法人建築研究所監修「建築設備計画・施工指針」	
・電気設備に関する技術基準を定める命令（電気設備技術基準）	
・電気設備に関する法律の適用化に関する法律	
20. 発生材の処理等	(1) 引き渡しを要するもの
(2) 特別管理産業廃棄物	
・資源エネルギー・コンデンサ	
・その他 ()	
現地監査監督員の指定する場所へ保管するものとする。	
なおお施主に際して、P.C.B.等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。	
(3) 現場において再利用を図るもの	
・発生土	
・その他 ()	
(4) 再資源化を図るもの	
・アスファルトコンクリート塊・建設発生木材	
(5) 発生者へ引き渡すものについては「現場発生品収集書」を提出すること。	
また、再利用を図るものについても認証書を作成し、監督員へ提出すること。	
(6) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。（マニエスト、B.2、D、E等を提示すること。）	
21. 官公署への手続き	工事の着手、着工、完成にあたり、関係官署への必要な届出、手続き等を遅延なく行う。
なお、当該手続きに係る費用は受託者の負担とする。	
●建設設備関係・電気工作物関係・受電開閉・通信関係・建設工事関係・その他 ()	
22. 消防法関係の手続き	(1) 消火栓に係る消防用設備等設置届出書の作成
●工事・建築工事・電気設備工事・機械設備工事・別途工事	
(2) 防火構造物用設備等設置届出書の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。	
23. 工事用仮設物	構内での設置 ●できる（施設管理者と協議）・できない
24. 工事用電力、水、その他	建設工事に準ずる。
25. 工事中等の保安管理	新規・増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる事項は本工事に含まれる。
26. 搬入計画	大型機器、重量物の搬入前に、搬入経路の有効法（扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等）、障害物（足場等）、搬入方法、運搬車両、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。
27. 製品確認	発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員が製品の確認をすることとする。
28. 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、設計図面によるほか、監督員の指示による。
29. 完成確認及び完成検査等の資源確保	機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。
30. 完成時の操作説明	タイム、総合盤、動力盤等の操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行いうものとする。また、必要な操作説明書を作成し、機器に備えるものとする。
31. 不正鞋油の使用の禁止	市工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正鞋油（地方税法第144条の22製造等の承認を受けた製品等）の規定に違反する燃料を用いてはならない。
受注者は市が使用燃料の採用油類を行なう場合には、その標準に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同様に協力するよう管理及び監督しなければならない。	
受注者は不正鞋油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正鞋油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正鞋油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。	
32. 社会保険等未加入対策	(1) 適用除外にても関わらず社会保険等が未加入である建設業者を下請契約（受注者が直接締結する請負契約に限る。）の相手方としてはならない。
(2) 下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。	
(3) 受注者は、施工体制会議・再下請通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。	
33. その他	設計図面に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。
5. はつり	(1) 窓開け及び補修・なし ●あり
6. あと施工アンカー	(2) 溝はり及び補修・なし ●あり
7. 基礎の配線ビット	性能確認試験及び施工確認試験 ●行う・行わない
8. 配管・配線の耐震処置	基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。
9. 最上階の埋込配管	建物引込部の配管の耐震処置 建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ●行う・行わない
10. 露出配管	最高層など水栓のある場所に設置する場合は、U字配管を行わない。
11. 合成樹脂管	(1) 合成樹脂管の着場には、ブッシングを取り付ける。(2) 原則として屋外の露出は使用しない。(P管)
12. 金属製電線管等の塗装	(1) 露出配管、露電ボックス、鋼製フレキシブル等のうち下記の部分には、塗装を施す。 1) 屋内（電気室、機械室、E.P.S.、居室、廊下）、その他建築意匠上必要な箇所。 2) 図面に特記する場合は、溶融亜鉛メタル鋼材のボルト及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、既存の配管等の着場にあれば、U字管等の金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること。監督員が指示した場合は塗装は除く。 3) 鋼管貫通部の金属配管はボルト等に塗装を施す。 4) 鋼管貫通部の金属配管はボルト等に塗装を施す。
13. 導入線	(2) 塗装エッティングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りする。 通線を行わない配管及び配線引き抜き後に空となった配管には、導入線（φ 1.2mm以上の樹脂被覆電線等）を挿入する。ただし、長さ 1m以下の部分は略さることができる。
14. ボックス類	位置ボックス及びジョイントボックス類は、画面に特記なき場合、原則として金属製とする。
15. 軽量簡易仕切のボックス	軽量簡易仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固定する。
16. ブルボックス	(1) 屋外及び特別に製作された特殊形状又は大きいもの（一边が 600mm以上のもの）は、製作図を提出すること。(2) 屋外形ブルボックスと露出配管等の接続部は、カッティング溶接等による。ただし、既設ブルボックスに接続する場合は水栓等でシールングを行う。(3) 屋外形ブルボックスはボルト等に突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。
17. ポルト・ナット類	屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの ●スチール・溶接亜鉛メキ仕上げ
18. ケーブル及び配線	(1) 表示 下地の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、用途等を表示。）を取り付ける。 ① ブルボックス分 ② ブルボックス内 ③ マンホール及びハンドホールごと
19. 高圧ケーブル端末処理	(2) ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数・2箇所・4箇所・)箇所 2) 架空線式の場合、ケーブル上をケーブル余長を見込む箇所数・2箇所・4箇所・)箇所

20. 配線器具の設置	<p>(1) 特外コンセントはプラグ付とする。 (2) 電池の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付けた場所が金属の場合は、絶縁枠を使用する。 (4) プレートは、図面に記載なき場合は、新金属製とする。 (5) カバーブレードは、原則として新金属製とする。 なお、器具を美装しない位置(ボックス)は用途表示をすること。 (6) プラブレードは、水平低底調整型(空気防止リング付)とする。</p>																																																																																																																										
21. 照明器具の設置	<p>(1) コードベンチント以外の放電管及び水銀のある場所の器具は直接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥した場所のコンバウト形器具(27W以下)を除く。) (2) 接地線は電灯配線と同一太さのケーブルの1本(緑色)を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mm²の絶縁電線(緑線)を使用することもできる。 (3) 照明器具取付完了後、照度測定を行なう。照度計は一般形A級とする。 (4) 照明器具取付完了後、照度測定を行なう。照度計は一般形A級とする。 (5) 天井下地材より直接する場合は、ラバーや等により脱落防止の措置を行う。 (6) ハイブリッドの照明器具は振れ止めを施工する。</p>																																																																																																																										
22. 照明改修の際の測定	対象物の改修前の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定回数()回																																																																																																																										
23. 分電盤、制御盤、キュービカル等	<p>(1) 固定ホルダ内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2) 既設キュービカルで配線ボックスに接続する場合は、カッティングボックスを接続等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が漏入しないようする。</p>																																																																																																																										
24. 受変電設備、発電設備の設置	<p>(1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 基本的構造を考慮する。 (3) 電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p>																																																																																																																										
25. 発電設備の燃料配管	<p>(1) フレキシブルパイプを取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行なう。 (2) 配管の接続は、機器の取外しは保守点検を考慮し施工する。</p>																																																																																																																										
26. 電波関係の計算及び測定	<p>(1) 計算書の提出 電波測定結果による計算書を提出 測定回数()回 (2) 測定の実施 1) 項目 全受信チャンネルの電界強度、受像面質、等電C/N、ピット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 2) 測定時期 ・施工前 ・施工後 3) 報告書提出部数 2部()部</p>																																																																																																																										
27. 土工事	<p>(1) 埋設のしの材料及び工法 A種()、B種()、C種()、D種() ・埋設()、掘り起し土中の良好質土()/工法: 機器による固め) ・その他() ただし、配管周りの埋設し材料は砂砾とする。 (2) 基礎の高さは、設置場所に応じた衝撃係数とする。 (3) 埋設の種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は既掘り、埋設管路は布水管、外灯基礎、電池等はつば掘りとする。 (4) 既設掘削は根切りをさせざらないようする。</p>																																																																																																																										
28. ハンドホール、マンホール	<p>1) 地中路線及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。 2) 地耐力 ① 地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期応力度とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 3) 既設のハンドホール等の取付は、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。</p>																																																																																																																										
29. 地中配線路の表示板	<p>下記の箇所に、地中配線路の表示板を設置する。 ① 建物への引込口及び出口付近 ② マンホール、ハンドホール付近 ③ 地中路線の曲折箇所 ④ 送配電設備等 ⑤ 直線部分では30m程度に1個</p>																																																																																																																										
30. 機器仕様	<p>下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものと適用する。 なお、詳細については、図面による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【電力設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1. 電気設備</td> <td> <p>(1) 既設等との取り合 い ・無し ・壁改造 ●配線接続 ・電源供給 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td> <p>●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯(単独設置) ●分電盤、制御盤等 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(3) 一般照明器具</td> <td> <p>1) 形式 ●公大型 ●H.I.D.蛍光灯 ●H.I.D.灯 ・その他()</p> <p>2) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ・防炎用</p> <p>3) 環境 ●屋内 ●屋外地域 ・屋外地域</p> <p>5) 照明器具は、認証書は認定書。</p> <p>6) 蛍光灯の点灯管にグリーンランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。</p> <p>7) H.I.D.ランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</p> </td> </tr> <tr> <td>(4) 照明制御装置</td> <td> <p>1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマー ・調光スイッチ ・その他()</p> <p>2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・PN/OFF制御 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(5) 外灯(単独設置)</td> <td> <p>1) 照明用ポール ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他()</p> <p>2) 基礎 ・工事 ・既設用 ・その他()</p> <p>3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウム灯 ・H.I.D.蛍光灯 ・LED灯 ・その他()</p> <p>4) 安定器 ・一般形高率形(B.H.) ・低電動電流形 ・その他()</p> <p>5) 電源 ・商用電源(60Hz) ・200V ・100V ・単独電源(太陽電池式) ・風車式) ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(6) コンセント等</td> <td> <p>●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(・固定型 ●上下動型(アップ式を含む))</p> </td> </tr> <tr> <td>(7) 分電盤、制御盤等</td> <td> <p>1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 固定ホルダは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプステットボタンを取付ける。 4) 接地用端子は接地用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 電源抵抗抗済用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 電源用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> </td> </tr> <tr> <td>2. 動力設備</td> <td> <p>(1) 既設との取り合 い ・無し ・壁改造 ●配線接続 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(3) 負荷設備</td> <td> <p>●分電盤、制御盤等 ・給水 ・排水 ●消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(4) 負荷設備への接続</td> <td>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</td> </tr> <tr> <td>(5) 電動機等の接続</td> <td>●専用接 ・金属接 (7.5kW以下)</td> </tr> <tr> <td>(6) 電動機等の効率の改善</td> <td>本工事に含む制御盤には各負荷に効率改善コンデンサを取り付ける。</td> </tr> <tr> <td>(7) 保護继電器</td> <td>過負荷、欠相、逆相機器は熱式とする。</td> </tr> <tr> <td>(8) 分電盤、制御盤等</td> <td> <p>1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。</p> <p>2) 固定ホルダは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。</p> <p>3) 表示ランプ等がある場合は、ランプステットボタンを取付ける。</p> <p>4) 接地用端子は接地用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。</p> <p>5) 電源抵抗抗済用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。</p> <p>6) 電源用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>7) 電流計は赤指針付(定格電流表示)とする。</p> </td> </tr> <tr> <td>3. 雷保護設備</td> <td> <p>(1) 避雷針 1) 受電部 ・突兀 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工 2) 避雷導線 ・引下導線 ・建築構造体利用 3) 接地機 ・接地機理 ・建築構造体利用 4) 雷電取扱の測定 ① 测定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ③ 既設埋設設備を設置する。</p> <p>(2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランジ ・設置(・单相用 ・動力用) ・設置しない 2) S.P.D. ・低电压 ・クラシック ・クラシック 3) 低电压S.P.D.クラシックの性能 別図による 4) 通常低电压S.P.D.の性能 別図による</p> <p>(3) 電源回路の保護 1) 低电压S.P.D.に使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。</p> <p>(4) 通信回線の保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用S.P.D.を設置する。</p> </td> </tr> <tr> <td>4. 接地設備</td> <td> <p>(1) 接地工事 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り()</p> <p>(2) 接地抵抗の測定 1) 测定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ③ 接地極埋設設備 接地には接地埋設設備を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</p> </td> </tr> <tr> <td>5. 受変電設備</td> <td>高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。</td> </tr> <tr> <td>(1) 既設との取り合 い</td> <td> <p>・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ●配線接続 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td> <p>・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器</p> </td> </tr> <tr> <td>(3) 盤類</td> <td> <p>1) 形式 ・キュービカル型配電盤(JIS C 4620) ・高圧スイッチギア(JEM 1425) ・C.X. ・C.W. ・P.W. ・M.W.</p> </td> </tr> <tr> <td>(4) 交流遮断器</td> <td> <p>2) 中通路 ・有 ・無 3) 特記事項()</p> </td> </tr> <tr> <td>6. 施設設備</td> <td> <p>真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ・手動ねじ操作 ・電動ねじ操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流通電圧引外し</p> </td> </tr> <tr> <td>7. 基礎</td> <td> <p>1) 本工事(2.1N/mm²) ・1.8N/mm²</p> </td> </tr> <tr> <td>(5) 断路器</td> <td> <p>1) 形式 ・3極投 ・单相投 ・断路器操作 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック棒操作 ・远方手動操作 ・電動操作 ② 限流ヒューズ ・有(ストライカ付) ・無 ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し 3) 引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ② 保護装置 ・過電流遮断器リップ付地絡方向遮電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 ① 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋内型 ③ ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> </td> </tr> <tr> <td>(6) 負荷開閉器</td> <td> <p>1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック棒操作 ・远方手動操作 ・電動操作 ② 限流ヒューズ ・有(ストライカ付) ・無 ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し 3) 引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ② 保護装置 ・過電流遮断器リップ付地絡方向遮電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 ① 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋外型 ③ ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> </td> </tr> <tr> <td>(7) 変圧器</td> <td> <p>1) 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋内型 3) ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> </td> </tr> <tr> <td>(8) 進相コンデンサ</td> <td> <p>1) 绝縁方式 ・油入 ・モールド ② 容量 ・6.6kvar ③ その他 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること</p> </td> </tr> <tr> <td>(9) 直列リクトル(進相コンデンサ用)</td> <td> <p>1) 绝縁方式 ・油入 ・モールド ② 容量 ・6.6kvar ③ その他 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること</p> </td> </tr> <tr> <td>(10) 設備不平衡</td> <td>高圧電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が3.0%以下となるようする。</td> </tr> <tr> <td>(11) キュービカル等</td> <td> <p>1) 施設名記入 ・施設名を記入する。 2) 施設分類 ・接続部材 ・接続部材</p> </td> </tr> <tr> <td>(12) 基礎</td> <td> <p>1) 本工事(2.1N/mm²) ・1.8N/mm²</p> </td> </tr> <tr> <td>(13) 配線ビット及び蓋</td> <td> <p>1) 施工 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(14) 設置場所</td> <td> <p>1) 施工 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>【電力貯蔵設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 直流電源設備</td> <td> <p>1) 用途 ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式 2) 容量 ・()kVA</p> </td> </tr> <tr> <td>(3) 整流装置</td> <td> <p>1) 出力電圧 ・直流(12V ・24V ・48V ・()V)</p> <p>2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> </td> </tr> <tr> <td>(4) 蓄電池</td> <td> <p>1) 種類 ・鉛蓄電池(-HS ・MS-E ・長寿命形MS-E) ・アルカリ蓄電池(-AH ・AMH)</p> <p>2) 最低蓄電池温度 ・5°C ・15°C ・25°C ・-5°C ・()°C</p> </td> </tr> <tr> <td>7. 交流無停電電源設備</td> <td> <p>1) 用途 ・()</p> </td> </tr> <tr> <td>(1) 容量</td> <td> <p>1) 出力電圧 ・直流(12V ・24V ・48V ・()V)</p> <p>2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> </td> </tr> <tr> <td>(2) 整流装置等</td> <td> <p>1) 施設 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(3) 蓄電池</td> <td> <p>1) 種類 ・鉛蓄電池(-HS ・MS-E ・長寿命形MS-E) ・アルカリ蓄電池(-AH ・AMH)</p> <p>2) 最低蓄電池温度 ・5°C ・15°C ・25°C ・-5°C ・()°C</p> </td> </tr> <tr> <td>(4) 性能</td> <td> <p>1) 交流入出力電気方式 ・三相3線式(-200V ・()V) ・單相3線式(200/100V) ・單相2線式(-200V ・100V ・()V)</p> <p>2) 自立運転 ・する ・しない</p> </td> </tr> <tr> <td>(5) 計測表示</td> <td> <p>3) 系統連系 ・する ・しない</p> </td> </tr> <tr> <td>(6) 状態・警報表示</td> <td>遠方監視用接点・設計する(詳細は別図による)</td> </tr> <tr> <td>9. 分散電源</td> <td>移報用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。</td> </tr> <tr> <td>【発電設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. 構内発電設備</td> <td> <p>1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用</p> <p>2) 区分 ・常用 ・非常用</p> </td> </tr> <tr> <td>(1) 機器</td> <td> <p>・屋内 ・屋外(普通地 ・塩害地)</p> </td> </tr> <tr> <td>(2) 設置場所</td> <td> <p>・発電装置 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ</p> </td> </tr> <tr> <td>(3) 機器</td> <td> <p>1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスストーブ発電装置 2) 形式 ・簡易形 ・オーブン式 ・キュービカル型</p> </td> </tr> <tr> <td>(4) 発電装置</td> <td> <p>3) 容量 ・リチウム二次電池 ・鉛蓄電池 ・ニッケル水素蓄電池</p> <p>4) 充電回数 ・()回</p> <p>5) 放電時間 ・()回</p> <p>6) 補助類 ・製造者標準 ・その他()</p> </td> </tr> <tr> <td>(5) 性能</td> <td> <p>1) 交流入出力電気方式 ・三相3線式(-200V ・()V) ・單相3線式(200/100V) ・單相2線式(-200V ・100V ・()V)</p> <p>2) 自立運転 ・する ・しない</p> </td> </tr> <tr> <td>(6) 計測表示</td> <td> <p>3) 系統連系 ・する ・しない</p> </td> </tr> <tr> <td>(7) 状態・警報表示</td> <td>遠方監視用接点・設計する(詳細は別図による)</td> </tr> <tr> <td>9. 分散電源</td> <td>仕様詳細は別図による。</td> </tr> <tr> <td>【電気設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. 構内発電設備</td> <td> <p>1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用</p> <p>2) 区分 ・常用 ・非常用</p> </td> </tr> <tr> <td>(1) 機器</td> <td> <p>・屋内 ・屋外(普通地 ・塩害地)</p> </td> </tr> <tr> <td>(2) 設置場所</td> <td> <p>・発電</p></td></tr></tbody></table>	項目	特記事項	【電力設備】		1. 電気設備	<p>(1) 既設等との取り合 い ・無し ・壁改造 ●配線接続 ・電源供給 ・その他()</p>	(2) 機器類	<p>●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯(単独設置) ●分電盤、制御盤等 ・その他()</p>	(3) 一般照明器具	<p>1) 形式 ●公大型 ●H.I.D.蛍光灯 ●H.I.D.灯 ・その他()</p> <p>2) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ・防炎用</p> <p>3) 環境 ●屋内 ●屋外地域 ・屋外地域</p> <p>5) 照明器具は、認証書は認定書。</p> <p>6) 蛍光灯の点灯管にグリーンランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。</p> <p>7) H.I.D.ランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</p>	(4) 照明制御装置	<p>1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマー ・調光スイッチ ・その他()</p> <p>2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・PN/OFF制御 ・その他()</p>	(5) 外灯(単独設置)	<p>1) 照明用ポール ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他()</p> <p>2) 基礎 ・工事 ・既設用 ・その他()</p> <p>3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウム灯 ・H.I.D.蛍光灯 ・LED灯 ・その他()</p> <p>4) 安定器 ・一般形高率形(B.H.) ・低電動電流形 ・その他()</p> <p>5) 電源 ・商用電源(60Hz) ・200V ・100V ・単独電源(太陽電池式) ・風車式) ・その他()</p>	(6) コンセント等	<p>●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(・固定型 ●上下動型(アップ式を含む))</p>	(7) 分電盤、制御盤等	<p>1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 固定ホルダは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプステットボタンを取付ける。 4) 接地用端子は接地用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 電源抵抗抗済用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 電源用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p>	2. 動力設備	<p>(1) 既設との取り合 い ・無し ・壁改造 ●配線接続 ・その他()</p>	(3) 負荷設備	<p>●分電盤、制御盤等 ・給水 ・排水 ●消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他()</p>	(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。	(5) 電動機等の接続	●専用接 ・金属接 (7.5kW以下)	(6) 電動機等の効率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に効率改善コンデンサを取り付ける。	(7) 保護继電器	過負荷、欠相、逆相機器は熱式とする。	(8) 分電盤、制御盤等	<p>1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。</p> <p>2) 固定ホルダは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。</p> <p>3) 表示ランプ等がある場合は、ランプステットボタンを取付ける。</p> <p>4) 接地用端子は接地用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。</p> <p>5) 電源抵抗抗済用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。</p> <p>6) 電源用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>7) 電流計は赤指針付(定格電流表示)とする。</p>	3. 雷保護設備	<p>(1) 避雷針 1) 受電部 ・突兀 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工 2) 避雷導線 ・引下導線 ・建築構造体利用 3) 接地機 ・接地機理 ・建築構造体利用 4) 雷電取扱の測定 ① 测定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ③ 既設埋設設備を設置する。</p> <p>(2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランジ ・設置(・单相用 ・動力用) ・設置しない 2) S.P.D. ・低电压 ・クラシック ・クラシック 3) 低电压S.P.D.クラシックの性能 別図による 4) 通常低电压S.P.D.の性能 別図による</p> <p>(3) 電源回路の保護 1) 低电压S.P.D.に使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。</p> <p>(4) 通信回線の保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用S.P.D.を設置する。</p>	4. 接地設備	<p>(1) 接地工事 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り()</p> <p>(2) 接地抵抗の測定 1) 测定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ③ 接地極埋設設備 接地には接地埋設設備を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</p>	5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。	(1) 既設との取り合 い	<p>・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ●配線接続 ・その他()</p>	(2) 機器類	<p>・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器</p>	(3) 盤類	<p>1) 形式 ・キュービカル型配電盤(JIS C 4620) ・高圧スイッチギア(JEM 1425) ・C.X. ・C.W. ・P.W. ・M.W.</p>	(4) 交流遮断器	<p>2) 中通路 ・有 ・無 3) 特記事項()</p>	6. 施設設備	<p>真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ・手動ねじ操作 ・電動ねじ操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流通電圧引外し</p>	7. 基礎	<p>1) 本工事(2.1N/mm²) ・1.8N/mm²</p>	(5) 断路器	<p>1) 形式 ・3極投 ・单相投 ・断路器操作 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック棒操作 ・远方手動操作 ・電動操作 ② 限流ヒューズ ・有(ストライカ付) ・無 ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し 3) 引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ② 保護装置 ・過電流遮断器リップ付地絡方向遮電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 ① 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋内型 ③ ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p>	(6) 負荷開閉器	<p>1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック棒操作 ・远方手動操作 ・電動操作 ② 限流ヒューズ ・有(ストライカ付) ・無 ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し 3) 引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ② 保護装置 ・過電流遮断器リップ付地絡方向遮電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 ① 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋外型 ③ ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p>	(7) 変圧器	<p>1) 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋内型 3) ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p>	(8) 進相コンデンサ	<p>1) 绝縁方式 ・油入 ・モールド ② 容量 ・6.6kvar ③ その他 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること</p>	(9) 直列リクトル(進相コンデンサ用)	<p>1) 绝縁方式 ・油入 ・モールド ② 容量 ・6.6kvar ③ その他 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること</p>	(10) 設備不平衡	高圧電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が3.0%以下となるようする。	(11) キュービカル等	<p>1) 施設名記入 ・施設名を記入する。 2) 施設分類 ・接続部材 ・接続部材</p>	(12) 基礎	<p>1) 本工事(2.1N/mm²) ・1.8N/mm²</p>	(13) 配線ビット及び蓋	<p>1) 施工 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p>	(14) 設置場所	<p>1) 施工 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p>	【電力貯蔵設備】		6. 直流電源設備	<p>1) 用途 ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式 2) 容量 ・()kVA</p>	(3) 整流装置	<p>1) 出力電圧 ・直流(12V ・24V ・48V ・()V)</p> <p>2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p>	(4) 蓄電池	<p>1) 種類 ・鉛蓄電池(-HS ・MS-E ・長寿命形MS-E) ・アルカリ蓄電池(-AH ・AMH)</p> <p>2) 最低蓄電池温度 ・5°C ・15°C ・25°C ・-5°C ・()°C</p>	7. 交流無停電電源設備	<p>1) 用途 ・()</p>	(1) 容量	<p>1) 出力電圧 ・直流(12V ・24V ・48V ・()V)</p> <p>2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p>	(2) 整流装置等	<p>1) 施設 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p>	(3) 蓄電池	<p>1) 種類 ・鉛蓄電池(-HS ・MS-E ・長寿命形MS-E) ・アルカリ蓄電池(-AH ・AMH)</p> <p>2) 最低蓄電池温度 ・5°C ・15°C ・25°C ・-5°C ・()°C</p>	(4) 性能	<p>1) 交流入出力電気方式 ・三相3線式(-200V ・()V) ・單相3線式(200/100V) ・單相2線式(-200V ・100V ・()V)</p> <p>2) 自立運転 ・する ・しない</p>	(5) 計測表示	<p>3) 系統連系 ・する ・しない</p>	(6) 状態・警報表示	遠方監視用接点・設計する(詳細は別図による)	9. 分散電源	移報用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。	【発電設備】		10. 構内発電設備	<p>1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用</p> <p>2) 区分 ・常用 ・非常用</p>	(1) 機器	<p>・屋内 ・屋外(普通地 ・塩害地)</p>	(2) 設置場所	<p>・発電装置 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ</p>	(3) 機器	<p>1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスストーブ発電装置 2) 形式 ・簡易形 ・オーブン式 ・キュービカル型</p>	(4) 発電装置	<p>3) 容量 ・リチウム二次電池 ・鉛蓄電池 ・ニッケル水素蓄電池</p> <p>4) 充電回数 ・()回</p> <p>5) 放電時間 ・()回</p> <p>6) 補助類 ・製造者標準 ・その他()</p>	(5) 性能	<p>1) 交流入出力電気方式 ・三相3線式(-200V ・()V) ・單相3線式(200/100V) ・單相2線式(-200V ・100V ・()V)</p> <p>2) 自立運転 ・する ・しない</p>	(6) 計測表示	<p>3) 系統連系 ・する ・しない</p>	(7) 状態・警報表示	遠方監視用接点・設計する(詳細は別図による)	9. 分散電源	仕様詳細は別図による。	【電気設備】		10. 構内発電設備	<p>1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用</p> <p>2) 区分 ・常用 ・非常用</p>	(1) 機器	<p>・屋内 ・屋外(普通地 ・塩害地)</p>	(2) 設置場所	<p>・発電</p>
項目	特記事項																																																																																																																										
【電力設備】																																																																																																																											
1. 電気設備	<p>(1) 既設等との取り合 い ・無し ・壁改造 ●配線接続 ・電源供給 ・その他()</p>																																																																																																																										
(2) 機器類	<p>●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯(単独設置) ●分電盤、制御盤等 ・その他()</p>																																																																																																																										
(3) 一般照明器具	<p>1) 形式 ●公大型 ●H.I.D.蛍光灯 ●H.I.D.灯 ・その他()</p> <p>2) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ・防炎用</p> <p>3) 環境 ●屋内 ●屋外地域 ・屋外地域</p> <p>5) 照明器具は、認証書は認定書。</p> <p>6) 蛍光灯の点灯管にグリーンランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。</p> <p>7) H.I.D.ランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</p>																																																																																																																										
(4) 照明制御装置	<p>1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマー ・調光スイッチ ・その他()</p> <p>2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・PN/OFF制御 ・その他()</p>																																																																																																																										
(5) 外灯(単独設置)	<p>1) 照明用ポール ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他()</p> <p>2) 基礎 ・工事 ・既設用 ・その他()</p> <p>3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウム灯 ・H.I.D.蛍光灯 ・LED灯 ・その他()</p> <p>4) 安定器 ・一般形高率形(B.H.) ・低電動電流形 ・その他()</p> <p>5) 電源 ・商用電源(60Hz) ・200V ・100V ・単独電源(太陽電池式) ・風車式) ・その他()</p>																																																																																																																										
(6) コンセント等	<p>●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(・固定型 ●上下動型(アップ式を含む))</p>																																																																																																																										
(7) 分電盤、制御盤等	<p>1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 固定ホルダは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプステットボタンを取付ける。 4) 接地用端子は接地用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 電源抵抗抗済用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 電源用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p>																																																																																																																										
2. 動力設備	<p>(1) 既設との取り合 い ・無し ・壁改造 ●配線接続 ・その他()</p>																																																																																																																										
(3) 負荷設備	<p>●分電盤、制御盤等 ・給水 ・排水 ●消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他()</p>																																																																																																																										
(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。																																																																																																																										
(5) 電動機等の接続	●専用接 ・金属接 (7.5kW以下)																																																																																																																										
(6) 電動機等の効率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に効率改善コンデンサを取り付ける。																																																																																																																										
(7) 保護继電器	過負荷、欠相、逆相機器は熱式とする。																																																																																																																										
(8) 分電盤、制御盤等	<p>1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。</p> <p>2) 固定ホルダは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。)とする。</p> <p>3) 表示ランプ等がある場合は、ランプステットボタンを取付ける。</p> <p>4) 接地用端子は接地用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。</p> <p>5) 電源抵抗抗済用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。</p> <p>6) 電源用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>7) 電流計は赤指針付(定格電流表示)とする。</p>																																																																																																																										
3. 雷保護設備	<p>(1) 避雷針 1) 受電部 ・突兀 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工 2) 避雷導線 ・引下導線 ・建築構造体利用 3) 接地機 ・接地機理 ・建築構造体利用 4) 雷電取扱の測定 ① 测定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ③ 既設埋設設備を設置する。</p> <p>(2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランジ ・設置(・单相用 ・動力用) ・設置しない 2) S.P.D. ・低电压 ・クラシック ・クラシック 3) 低电压S.P.D.クラシックの性能 別図による 4) 通常低电压S.P.D.の性能 別図による</p> <p>(3) 電源回路の保護 1) 低电压S.P.D.に使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。</p> <p>(4) 通信回線の保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用S.P.D.を設置する。</p>																																																																																																																										
4. 接地設備	<p>(1) 接地工事 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り()</p> <p>(2) 接地抵抗の測定 1) 测定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ③ 接地極埋設設備 接地には接地埋設設備を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</p>																																																																																																																										
5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。																																																																																																																										
(1) 既設との取り合 い	<p>・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ●配線接続 ・その他()</p>																																																																																																																										
(2) 機器類	<p>・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器</p>																																																																																																																										
(3) 盤類	<p>1) 形式 ・キュービカル型配電盤(JIS C 4620) ・高圧スイッチギア(JEM 1425) ・C.X. ・C.W. ・P.W. ・M.W.</p>																																																																																																																										
(4) 交流遮断器	<p>2) 中通路 ・有 ・無 3) 特記事項()</p>																																																																																																																										
6. 施設設備	<p>真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ・手動ねじ操作 ・電動ねじ操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流通電圧引外し</p>																																																																																																																										
7. 基礎	<p>1) 本工事(2.1N/mm²) ・1.8N/mm²</p>																																																																																																																										
(5) 断路器	<p>1) 形式 ・3極投 ・单相投 ・断路器操作 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック棒操作 ・远方手動操作 ・電動操作 ② 限流ヒューズ ・有(ストライカ付) ・無 ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し 3) 引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ② 保護装置 ・過電流遮断器リップ付地絡方向遮電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 ① 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋内型 ③ ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p>																																																																																																																										
(6) 負荷開閉器	<p>1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック棒操作 ・远方手動操作 ・電動操作 ② 限流ヒューズ ・有(ストライカ付) ・無 ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し 3) 引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ② 保護装置 ・過電流遮断器リップ付地絡方向遮電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 ① 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋外型 ③ ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p>																																																																																																																										
(7) 変圧器	<p>1) 形式 ・油入 ・モールド ② 施設方式 ・屋内型 3) ダイヤル温湿度 ・有(最大温湿度指针 ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p>																																																																																																																										
(8) 進相コンデンサ	<p>1) 绝縁方式 ・油入 ・モールド ② 容量 ・6.6kvar ③ その他 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること</p>																																																																																																																										
(9) 直列リクトル(進相コンデンサ用)	<p>1) 绝縁方式 ・油入 ・モールド ② 容量 ・6.6kvar ③ その他 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること</p>																																																																																																																										
(10) 設備不平衡	高圧電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が3.0%以下となるようする。																																																																																																																										
(11) キュービカル等	<p>1) 施設名記入 ・施設名を記入する。 2) 施設分類 ・接続部材 ・接続部材</p>																																																																																																																										
(12) 基礎	<p>1) 本工事(2.1N/mm²) ・1.8N/mm²</p>																																																																																																																										
(13) 配線ビット及び蓋	<p>1) 施工 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p>																																																																																																																										
(14) 設置場所	<p>1) 施工 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p>																																																																																																																										
【電力貯蔵設備】																																																																																																																											
6. 直流電源設備	<p>1) 用途 ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式 2) 容量 ・()kVA</p>																																																																																																																										
(3) 整流装置	<p>1) 出力電圧 ・直流(12V ・24V ・48V ・()V)</p> <p>2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p>																																																																																																																										
(4) 蓄電池	<p>1) 種類 ・鉛蓄電池(-HS ・MS-E ・長寿命形MS-E) ・アルカリ蓄電池(-AH ・AMH)</p> <p>2) 最低蓄電池温度 ・5°C ・15°C ・25°C ・-5°C ・()°C</p>																																																																																																																										
7. 交流無停電電源設備	<p>1) 用途 ・()</p>																																																																																																																										
(1) 容量	<p>1) 出力電圧 ・直流(12V ・24V ・48V ・()V)</p> <p>2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p>																																																																																																																										
(2) 整流装置等	<p>1) 施設 ・工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p>																																																																																																																										
(3) 蓄電池	<p>1) 種類 ・鉛蓄電池(-HS ・MS-E ・長寿命形MS-E) ・アルカリ蓄電池(-AH ・AMH)</p> <p>2) 最低蓄電池温度 ・5°C ・15°C ・25°C ・-5°C ・()°C</p>																																																																																																																										
(4) 性能	<p>1) 交流入出力電気方式 ・三相3線式(-200V ・()V) ・單相3線式(200/100V) ・單相2線式(-200V ・100V ・()V)</p> <p>2) 自立運転 ・する ・しない</p>																																																																																																																										
(5) 計測表示	<p>3) 系統連系 ・する ・しない</p>																																																																																																																										
(6) 状態・警報表示	遠方監視用接点・設計する(詳細は別図による)																																																																																																																										
9. 分散電源	移報用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。																																																																																																																										
【発電設備】																																																																																																																											
10. 構内発電設備	<p>1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用</p> <p>2) 区分 ・常用 ・非常用</p>																																																																																																																										
(1) 機器	<p>・屋内 ・屋外(普通地 ・塩害地)</p>																																																																																																																										
(2) 設置場所	<p>・発電装置 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ</p>																																																																																																																										
(3) 機器	<p>1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスストーブ発電装置 2) 形式 ・簡易形 ・オーブン式 ・キュービカル型</p>																																																																																																																										
(4) 発電装置	<p>3) 容量 ・リチウム二次電池 ・鉛蓄電池 ・ニッケル水素蓄電池</p> <p>4) 充電回数 ・()回</p> <p>5) 放電時間 ・()回</p> <p>6) 補助類 ・製造者標準 ・その他()</p>																																																																																																																										
(5) 性能	<p>1) 交流入出力電気方式 ・三相3線式(-200V ・()V) ・單相3線式(200/100V) ・單相2線式(-200V ・100V ・()V)</p> <p>2) 自立運転 ・する ・しない</p>																																																																																																																										
(6) 計測表示	<p>3) 系統連系 ・する ・しない</p>																																																																																																																										
(7) 状態・警報表示	遠方監視用接点・設計する(詳細は別図による)																																																																																																																										
9. 分散電源	仕様詳細は別図による。																																																																																																																										
【電気設備】																																																																																																																											
10. 構内発電設備	<p>1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用</p> <p>2) 区分 ・常用 ・非常用</p>																																																																																																																										
(1) 機器	<p>・屋内 ・屋外(普通地 ・塩害地)</p>																																																																																																																										
(2) 設置場所	<p>・発電</p>																																																																																																																										

17. 映像・音響設備									
(1) 設備	・映像機器	・音響機器	・操作装置						
(2) 映像機器	1) 表示機器	・プロジェクタ (・前面投射式 ・反射マット形 ・その他 (・背面投射式) ・反射ビーズ形 ・手動式)	・反射ストライプ形	・透過形)			
	2) 付属機器	・録画再生装置 (・HDD ・テレビチューナー (・UHF ・カメラ ・その他の機器 (・Blu-ray/DVD ・BS ・パソコン	・その他 ())			
(3) 音響機器	1) 増幅器	①出力 () W ②方式 ③出力インピーダンス	・ステレオ ・モノラル ・Lo形 ・Hi形)			
	2) 付属機器	・グラフィックコライザ ・録音再生装置 (・CD ・ラジオチューナー (・FM ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン (・電波式 (・アナログ ・その他の機器 (・オーディオミキサー ・メモリオーディオ ・AM ・その他 (・電源制御器 ・AM ・赤外線式)))			
	3) スピーカ	・スピーカ ・天井分散配置方式 ・集中配置方式 ・併用方式		・その他 ()			
(4) 操作装置	1) 形状	・卓型 2) 設置	・キャビネットラック型 ・固定式 ・可動式	・その他 ()			
18. 拡声設備	・増幅器	・付属機器	・操作装置	●スピーカ	・その他 ()			
(1) 機器)			
(2) 增幅器				●非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照))			
				・専用 ・出力 () W ・出力インピーダンス	・Lo形 ・Hi形)			
(3) 付属機器				・オーディオミキサー ・録音再生装置 (・CD ・アナウンスレコーダ (・チャイム ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン (・電波式 (・アナログ ・ラジオチューナー (・FM ・スピーカ切替装置	・リモコンマイク ・メモリオーディオ ・独自メッセージ ・電源制御器 ・AM ・赤外線式) ・AM ・その他 ())		
(4) 操作装置				・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型	・その他 ()			
(5) スピーカ				●非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照))			
				・専用 ・結線 ・1W ・インピーダンス ・設置場所	・3W ・Lo形 ・Hi形 ・屋内 ・屋外)	・その他 ()	
19. 誘導支援設備)			
(1) 設備		・音声誘導装置	●インターфон	・トイレ等呼出装置)			
(2) 音声誘導装置	1) 條出方式	・磁気式	・無線式	・画像認識式	・その他 ()			
	2) 設置場所	・屋外 (防雨形)	・屋内)			
	3) 機能	・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他 ()			
	4) 機器	・制御装置	・送信機 ・制御装置	・受信機	・その他 ()			
	5) 制御装置	・壁掛型	・卓上形	・複合盤組込	・その他 ()			
	6) 送信機	・壁掛形	・卓上形	・埋込形	・その他 ()			
	7) 受信機	・スピーカ式	・イヤホン式	・その他 ()			
(3) インターфон	1) 用途	●内部受付用 ・その他 (・外部受付用	・夜間訪問用	・身体障害者用 ・保守用)			
	2) 機能	●音声通話	・映像モニタ)			
	3) 通話網	●親子式	・相互式	・複合式)			
	4) 通話方式	●同時通話式	・互通話式	・その他 ()			
	5) 機器	・親機	・子機	・その他 ()			
	6) 親機	①形状 ②送受話器	・壁掛型 ・電話機形	・卓上形 ・マイク形	・複合盤組込 ・その他 ()			
	7) 子機	①形状 ②送受話器	●壁掛形 ●電話機形	・卓上形 ・マイク形	・埋込形 ・その他 ()			
(4) トイレ等呼出装置	1) 用途	・トイレ呼出 ・その他 (・受付呼出	・非常通報)			
	2) 機器	・親機	・呼出スイッチ	・警報装置	・その他 ()			
	3) 親機	・壁掛型	・卓上型	・複合盤組込	・その他 ()			
	4) 呼出スイッチ	・押ボタン式	・引紐式	・その他 ()			
	5) 警報装置	・光 ・音声	・ブザー ・ベル	・その他 ()			
20. テレビ共同受信設備)			
(1) 受信放送		・UHF	・BS	・CS	・FM	●CATV	・その他 ()	
(2) 機器		・増幅器	・混合器	・分波器	●分歧器	●分配器	・機器収容箱	・アンテナ ・その他 ()
(3) アンテナ	1) 放送	・UHF	・BS	・CS	・FM	・その他 ()	
	2) マスト	・地上波用 (・壁面取付 ・衛星用 (・壁面取付 ・その他 (・自立	・既設利用	・その他 ())	
	3) 自立用基礎	・本工事	・別途工事	・既設利用	・その他 ()	
21. テレビ電波障害防除設備)			
(1) 対象戸数		() 戸)			
(2) 機器		・増幅器	・混合器	・分波器	・分歧器	・分配器	・機器収容箱	・アンテナ ・ヘッドエンド装置)
(3) アンテナ	1) 放送	・UHF	・BS	・CS	・FM	・その他 ()	
	2) マスト	・地上波用 (・壁面取付 ・衛星用 (・壁面取付 ・その他 (・自立	・既設利用	・その他 ())	
	3) 自立用基礎	・本工事	・別途工事	・既設利用	・その他 ()	
22. 監視カメラ設備)			
(1) 機器		・カメラ	・モニタ装置	・録画装置	・ハウジング	・旋回装置 ・その他 ()	
(2) 伝送方式		・アナログ伝送方式		・ネットワーク伝送方式	・その他 ()	
(3) カメラ	1) 色方式	・白黒	・カラー)	
	2) 駆動方式	・固定式	・遠隔可動式)	
	3) 撮影条件	・屋間	・薄明時	・夜間)	
	4) 設置場所	・屋内	・屋外	・その他 ()	
(4) モニタ装置	1) 色方式	・白黒	・カラー)	
	2) モニタ	・液晶	・P C	・その他 ()	
	3) 設置	・自立型	・卓上型	・壁掛型	・その他 ()	
(5) 録画装置	1) 記憶媒体	デジタル記憶媒体とする。)	
	2) 記憶容量	())	
	3) 時刻補正機能	・FM放送受信 ・長波標準電波受信 ・その他 ((・アンテナ設置 ・アンテナ設置 ・その他 (・既設利用 ・既設利用 ・その他 ()	

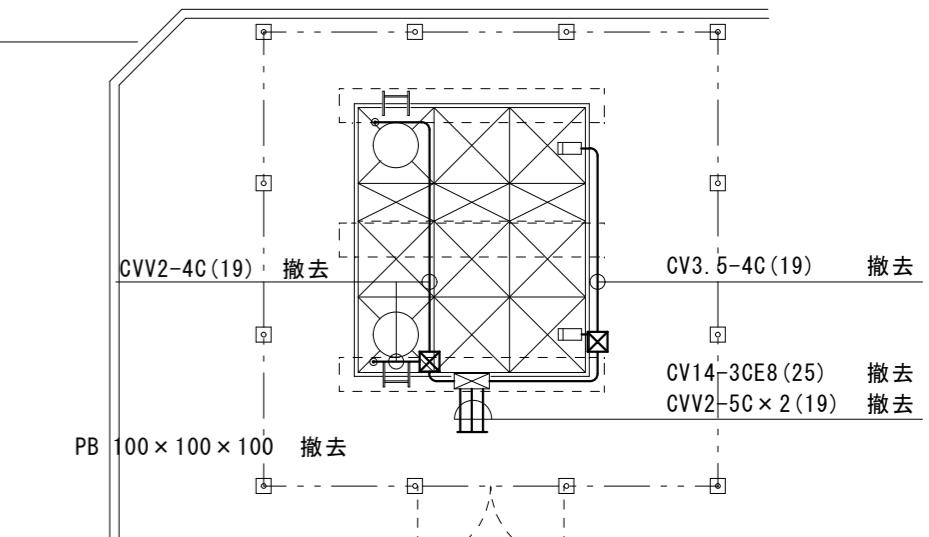
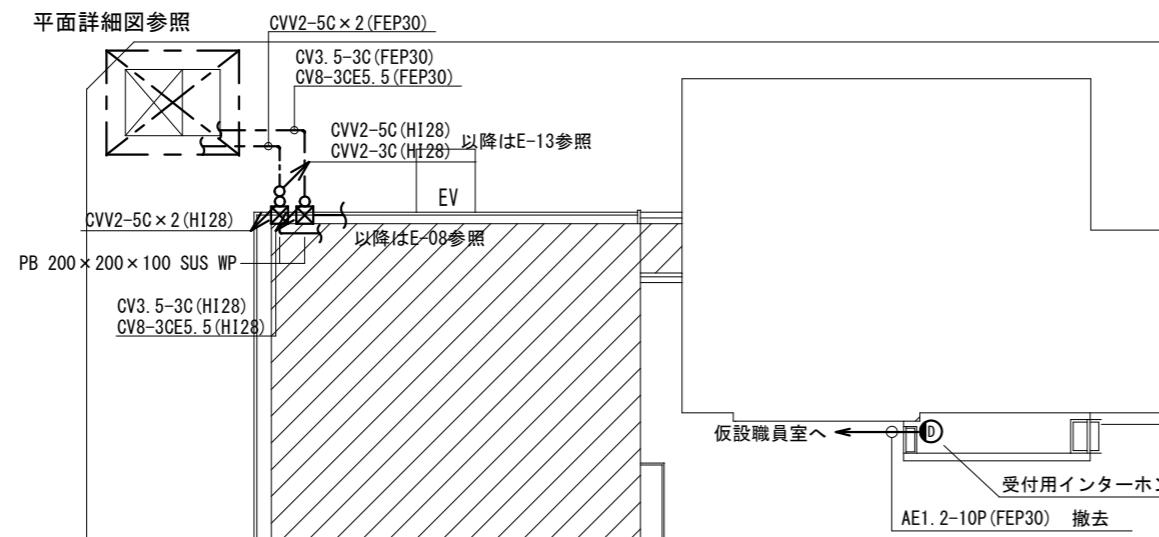
23. 駐車場管制設備							
(1) 機器	・管制盤 ・その他 (・検知器	・信号灯	・警報灯	・発券機	・カーゲート	・カードリーダ
(2) 管制盤	1) 機能 2) 形式	・入場管理 ・自立型	・退場管理 ・壁掛型	・発券管理 ・卓上型	・その他 ()
(3) 検知器	1) 方式 2) 検知器外箱 3) 検出対象車両 4) 検出対象速度	・赤外線式 ・音声 ・外箱	・超音波センサ式 ・ブザー ・ステンレス製	・ループコイル式 ・その他 (・銅製)
(4) 信号灯・警報灯	1) 方式 2) 警報音 3) 外箱	・発光ダイオード式 ・音声 ・ステンレス製	・その他 (・その他 ()
(5) 発券機	1) 発行券 2) 発券方式	・磁気式 ・入場時発行	・ICカード式 ・事前発行	・その他 ()
(6) カーゲート		・バー式 (・グラスファイバー製 ・その他 (・アルミ製	・銅製 (防錆処理))
24. 防犯・入退室管理設備							
(1) 設備	・防犯装置	・入退室管理装置					
(2) 防犯装置	1) 機器 2) センサ 3) 制御装置	・センサ ・パッシブセンサ ① 形式 ② 時刻補正機能	・制御装置 ・赤外線センサ ・ガラス破壊センサ	・その他 (・画像センサ ・その他 (・マグネットセンサ)
	4) 機能	・警報 ・記録 ・その他 (・複合盤組込 ・卓上型 ・F M放送受信 ・長波標準電波受信 ・その他 (・その他 (・既設利用)	・既設利用))
(3) 入退室管理装置	1) 機器 2) 制御装置 3) 認識部 4) セキュリティゲート	・制御装置 ・電気錠 (・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・セキュリティゲート ① 形式 ② 時刻補正機能 ③ 基本機能 ④ 特記機能 3) 認識部 4) セキュリティゲート	・認識部 ・セキュリティゲート ① 形式 ② 時刻補正機能 ③ 施解錠制御、許可・不許可設定、設定データバックアップ機能、こじ開け警報 の搭載は必須とする。 ④ 遠隔施解錠制御・スケジュール設定制御・記録機能・照明空調制御 ・防災防犯インテグレーション機能・その他 (・別途工事 ・その他 (・既設利用)	・既設利用))
	1) 機器 2) 受信機 3) 副受信機 (表示装置) 4) 中継器 5) 発信機 6) 感知器	・受信機 ・その他 (・副受信機 (表示装置) ・中継器 ・発信機 ●感知器)
25. 自動火災報知設備							
(1) 機器	1) 型式 2) 回線数 3) 試験機能 4) 盤形式	・P型1級 ・()回線 ・自動試験機能 ・複合盤組込	・P型2級 ・()回線 ・遠隔試験機能 ・自立型	・R型 ・()アドレス ・壁掛型 ・その他 ()
(2) 受信機	1) 盤形式 2) 回線数 3) 表示装置の仕様詳細	・自立型 ・()回線 3) 表示装置の仕様詳細	・壁掛型 ・その他 ()
(3) 副受信機 (表示装置)	1) 試験機能	・自動試験機能	・遠隔試験機能)
(4) 中継器	1) 型式 2) 消火栓ポンプ起動 3) 設置	・アドレス付 ●P型1級 ●P型2級 特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。	・単独設置	・機器収容箱に組込	●消火栓ボックス (別途) に組込)
(5) 発信機	1) 型式 2) 設置場所	・アドレス付 ●熱感知器 ●自動試験機能 ●屋内 (・一般 ・屋外 (・防水	●一般型 ●煙感知器 ・遠隔試験機能 ・防水 ・防爆	・炎感知器)
(6) 感知器	1) 型式 2) 種類 3) 試験機能 4) 設置場所	・アドレス付 ●煙感知器 (・2種 ・自動試験機能 ●屋内 (・一般 ・屋外 (・防水	・一般型 ・3種) ・遠隔試験機能 ・防水 ・防爆	・防食	・その他 ()
26. 自動閉鎖設備							
(1) 機器	・連動制御器 ・その他 (・感知器	・自動閉鎖装置	・自動開錠装置)
(2) 連動制御器	1) 制御対象 2) 回線数 3) 設置	・防火戸 ・その他 (・防火シャッター	・防排煙ダンパー	・非常口等の扉)
(3) 感知器	1) 型式 2) 種類 3) 試験機能 4) 設置場所	・アドレス付 煙感知器 (・2種 ・自動試験機能 ●屋内 (・一般 ・屋外 (・防水	・一般型 ・3種) ・遠隔試験機能 ・防水 ・防爆	・遠隔試験機能 ・防食	・その他 ()
(4) 自動閉鎖装置	1) 方式 2) 施工	・電磁式 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事)	・ラッタ式 ・その他 (・その他 ()
(5) 自動開錠装置	1) 方式 2) 施工	・電気錠 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事)	・その他 (・別途工事	・既設利用	・その他 ()
27. 非常警報設備							
(1) 設備	●非常放送装置	・非常ベル					
(2) 非常放送装置	1) 機器 2) 増幅器 3) 增幅器 4) スピーカ 5) 非常用リモコンマイク	1) 消防法基準適合マーク品とする。 2) 機器 ・増幅器 ・その他 (●スピーカ ・非常用リモコンマイク)
	3) 増幅器 4) スピーカ 5) 非常用リモコンマイク	① 出力 ()W ② 出力インピーダンス ③ 形式 ④ 機能	●スピーカ ・Lo形 ・Hi形 ・マイク放送 ・自動火災報知設備連動放送 ・緊急地震速報設備連動放送	・その他 ()
	6) 非常用リモコンマイク	⑤ 用途 ① 結線 ② インピーダンス ③ 設置場所 ④ 用途	・拡声設備兼用 ・非常放送専用 ●スピーカ ・Lo形 ●Hi形 ●屋内 ●屋外 ・拡声設備兼用	・その他 ()
	7) 非常用リモコンマイク	型式	・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形	・その他 ()
(3) 非常ベル (自動式 サイレンを含む)	1) 機器 2) 設置	・起動装置 ・単独設置	・非常ベル ・表示灯 ・機器収容箱に組込	・その他 (・表示灯	・消防栓ボックス (別途) に組込)
28. ガス漏れ火災警報設備							
(1) 機器	・受信機 ・その他 (・副受信機	・中継器	・検知器	・警報器)
(2) 受信機	1) 回線数 2) 種類 3) 設置	・()回線 ・都市ガス用 ・単独 (・壁掛形 ・自立形))
(3) 副受信機	設置	・単独 (・壁掛形 ・自立形)		・火災受信機などとの複合盤)
(4) 検知器	1) 動作 2) 定格電圧 3) ガス検知出力信号	・単独 (単独動作) ・AC 100V ・有電圧出力方式	・連動 (受信機に伝送) ・DC 24V (受信機等から供給) ・無電圧接点方式	・その他 ()

【中央監視制御設備】	
29. 中央監視制御設備	
(1) 監視制御対象設備	・動力設備 　・受変電設備 　・発電設備 　・火災報知設備 ・その他 ()
(2) 既設との取り合い	・無し 　・盤改造 　・配線接続 　・その他 ()
(3) 機器	・監視操作装置 　・信号処理装置 　・記録装置 　・伝送装置 　・端末装置 ・その他 ()
(4) 機能	仕様詳細は別図による。
(5) 監視操作装置	1) 形式 　・壁掛型 　・自立型 　・卓型 　・その他 () 2) 表示装置 　・液晶ディスプレイ 　・その他 () 3) 操作装置 　・タッチパネル 　・キーボード 　・マウス 　・その他 ()
(6) 信号処理装置	1) 形式 　・壁掛型 　・自立型 　・卓型 　・ラック型 　・卓上型 　・その他 () 2) 設置 　・単独 　・監視操作装置に組込 　・その他 ()
(7) 記録装置	1) 形式 　・壁掛型 　・自立型 　・卓型 　・ラック型 　・卓上型 　・その他 () 2) 設置 　・単独 　・監視操作装置に組込 　・その他 () 3) 装置 　・プリンタ 　・記録メディア () ・その他 ()
【医療関係設備】	
30. 非接地電源用分電盤	
(1) 機器	・絶縁変圧器 　・絶縁監視装置 　・電流監視装置 　・医用接地センタボディー ・その他 ()
(2) 仕様詳細	仕様詳細は別図による。
31. ナースコール設備	
(1) 形式	・基本形ナースコール装置 　・携帯形ナースコール装置 　・情報表示形ナースコール装置 　・病床ユニット
(2) 仕様詳細	仕様詳細は別図による。
【構内配電線路】	
32. 構内配電線路	
(1) 配線方式	●地中線式 (・直埋 　●管路) 　・架空線式 (・直接 　・ちょう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 　・隠蔽配管 　・その他 () ・その他 ())
(2) 建柱	1) 施工 　・本工事 　・既設柱利用 　・その他 () 2) 電柱 　・コンクリート柱 　・鋼管柱 　・パンザマスト ・その他 () 3) 支持材 　・根かせ 　・根はじき 　・根巻き 　・底板 　・支線 (保護ガード 　・有 　・無) 4) 装柱材料 　・有 (電力仕様) 　・無 5) 銘板 　・有 　・無
(3) 装柱機器 (高圧用)	1) 機器 　・開閉器 　・避雷器 　・カットアウト 　・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 　・一般用 　・耐塩用 3) 開閉器 　仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。
(4) 装柱機器 (低圧用)	1) 機器 　・開閉器 　・開閉器箱 　・避雷器 　・カットアウト 　・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 　・一般用 　・耐塩用
(5) ハンドホール、 マンホール	1) 形式 　・ブロック式 　・現場打ち 2) 施工 　・本工事 (・建築工事 　・電気設備工事) 　・別途工事 　・既設利用 　・その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 　・2箇所 　・4箇所 　・() 箇所
(6) 鋳鉄蓋	1) 鋳鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(7) 地中ケーブル保護 材料	1) 種類 　●F E P 　・G L T (P Eライニング管) 　・V E 　・H I V E 　・S G P ・厚鋼電線管 　・その他 () 2) 標示杭埋設 　・コンクリート製 　・鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート 　・2倍長 　・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【構内通信線路】	
33. 構内通信線路	
(1) 用途	・電話用 　・拡声用 　・時刻表示用 　・火災報知用 　・非常警報用 　・インターホン用 ・テレビ共同受信用 　・防犯用 　・制御用 　・その他 ()
(2) 配線方式	・地中線式 (・直埋 　・管路) 　・架空線式 (・直接 　・ちょう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 　・隠蔽配管 　・その他 () ・その他 ())
(3) 建柱	1) 施工 　・本工事 　・既設柱利用 　・構内配電線柱に添架 　・その他 () 2) 電柱 　・コンクリート柱 　・鋼管柱 　・パンザマスト ・その他 () 3) 支持材 　・根かせ 　・根はじき 　・根巻き 　・底板 　・支線 (保護ガード 　・有 　・無) 4) 装柱材料 　・有 　・無 5) 銘板 　・有 　・無
(4) ハンドホール、 マンホール	1) 形式 　・ブロック式 　・現場打ち 2) 施工 　・本工事 (・建築工事 　・電気設備工事) 　・別途工事 　・既設利用 　・その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 　・2箇所 　・4箇所 　・() 箇所
(5) 鋳鉄蓋	1) 鋳鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(6) 地中ケーブル保護 材料	1) 種類 　・F E P 　・G L T (P Eライニング管) 　・V E 　・H I V E 　・S G P ・厚鋼電線管 　・その他 () 2) 標示杭埋設 　・コンクリート製 　・鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート 　・2倍長 　・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
【その他】	
34. 消火器	1) 設置 　・本工事 (・建築工事 　・電気設備工事 　・機械設備工事) 　・別途工事 2) 消火器 　種別 () 、数量 () 本 3) 消火器収納箱 　材質 () 、数量 () 面

機器標準取付高さ 標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。（○印はパリアフリー対応）				
	名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考
電力	接地端子盤	床上～下端		
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,000	
電灯	分電盤	床上～中心	1,500	上端1,900mm
	スイッチ	床上～中心	1,300	○1,000mm
	コンセント（一般）	床上～中心	300	○400mm
	コンセント（和室）	床上～中心	200	
	コンセント（台上）	床上～中心	150	
	コンセント（WP）	床上～中心	1,000	
	コンセント（地下）	床上～中心	1,000	
	コンセント（土間）	床上～中心	500	
	プラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300	
	プラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150	
	プラケット（処理場）	床上～中心	2,500	
動力	壁掛型制御盤	床上～中心	1,500	上端1,900mm
	手元開閉器	床上～中心	1,500	
	操作スイッチ	床上～中心	1,300	
電話	端子盤	床上～下端	300	
	保安器盤	床上～中心	2,000	
	壁位置ボックス	床上～中心	300	
	壁位置ボックス（和室）	床上～中心	200	
時計・拡声	壁掛型親時計	床上～中心	1,500	上端1,900mm
	子時計	床上～中心	2,300	
	壁掛型スピーカ	床上～中心	2,300	2,500mm
	アッテネータ	床上～中心	1,300	
表示	表示器	床上～中心	2,300	
	壁付発信器	床上～中心	1,300	
	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300	
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,300	
	壁位置ボックス	床上～中心	300	
	壁位置ボックス（和室）	床上～中心	200	
	子機（身障者用）	床上～中心	1,100	
	呼出しボタン（身障者用）	床上～中心	800～950	便座先端から後方へ100～200mm 2個目（高700mm、便座先端から前方400mm）
	表示灯（身障者用）	床上～中心	1,800	
テレビ	機器収容箱	床上～中心	2,000	
	直列ユニット	床上～中心	300	
	直列ユニット（和室）	床上～中心	200	
火災報知	受信機・副受信機	床上～中心	1,500	
	発信器	床上～中心	1,300	
	表示灯	床上～中心	1,800	
	ベル	床上～中心	2,300	

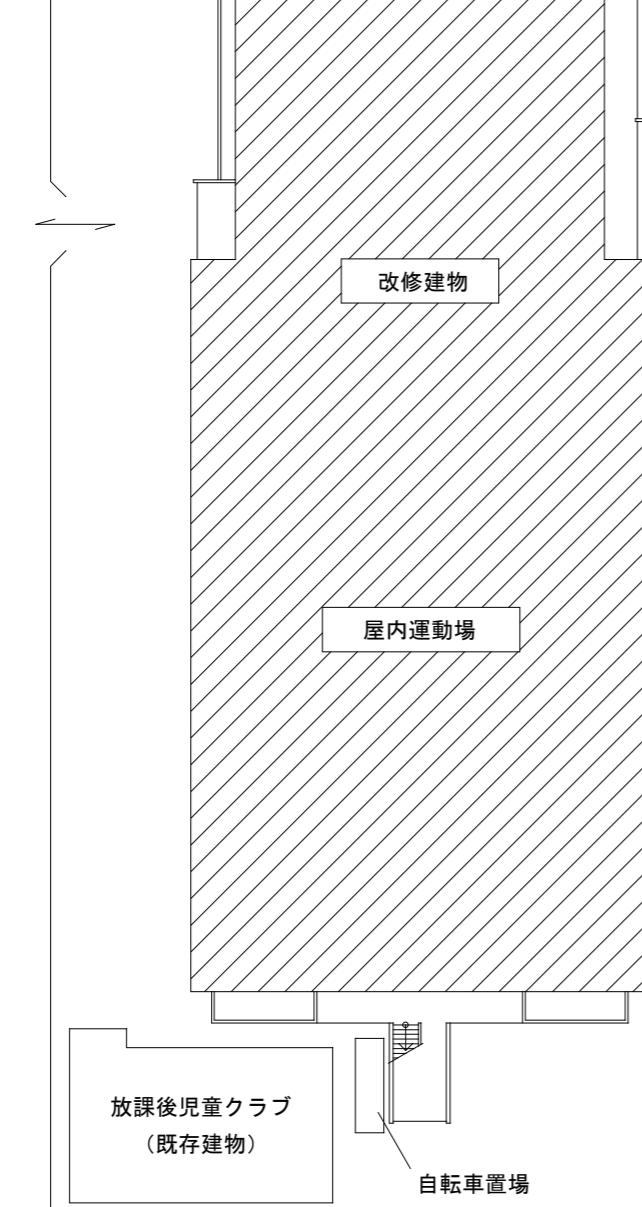
参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針（最終改正 平成21年国交省告示第906号）
ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等（平成25年4月 三重県）

TW
受水槽（機械設備工事）
ポンプ室付



既設受水槽撤去図 1 / 100

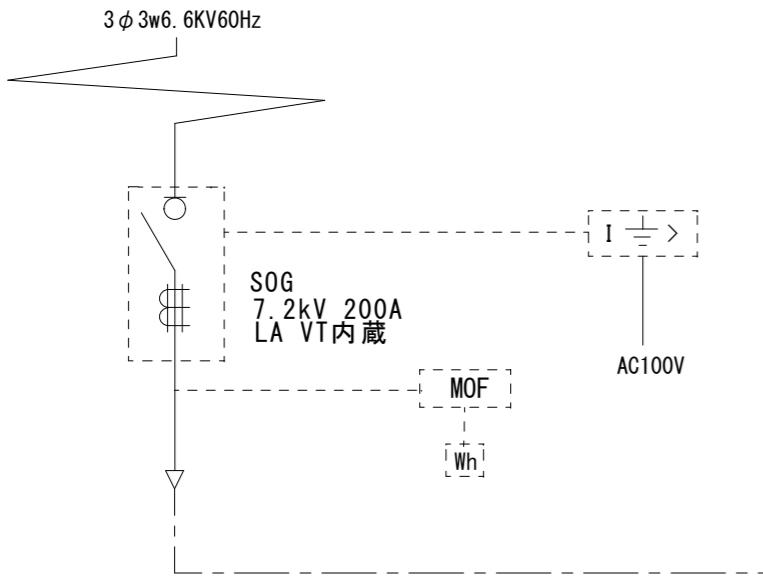
前面道路



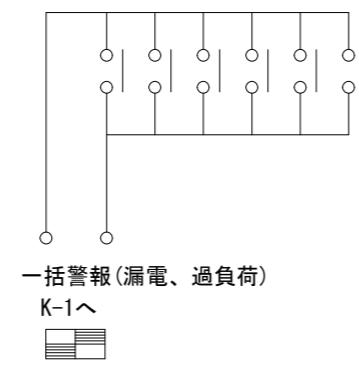
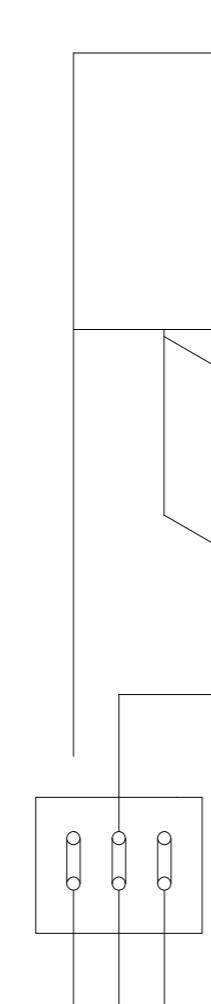
TW
機械設備工事

配置図 1 / 400

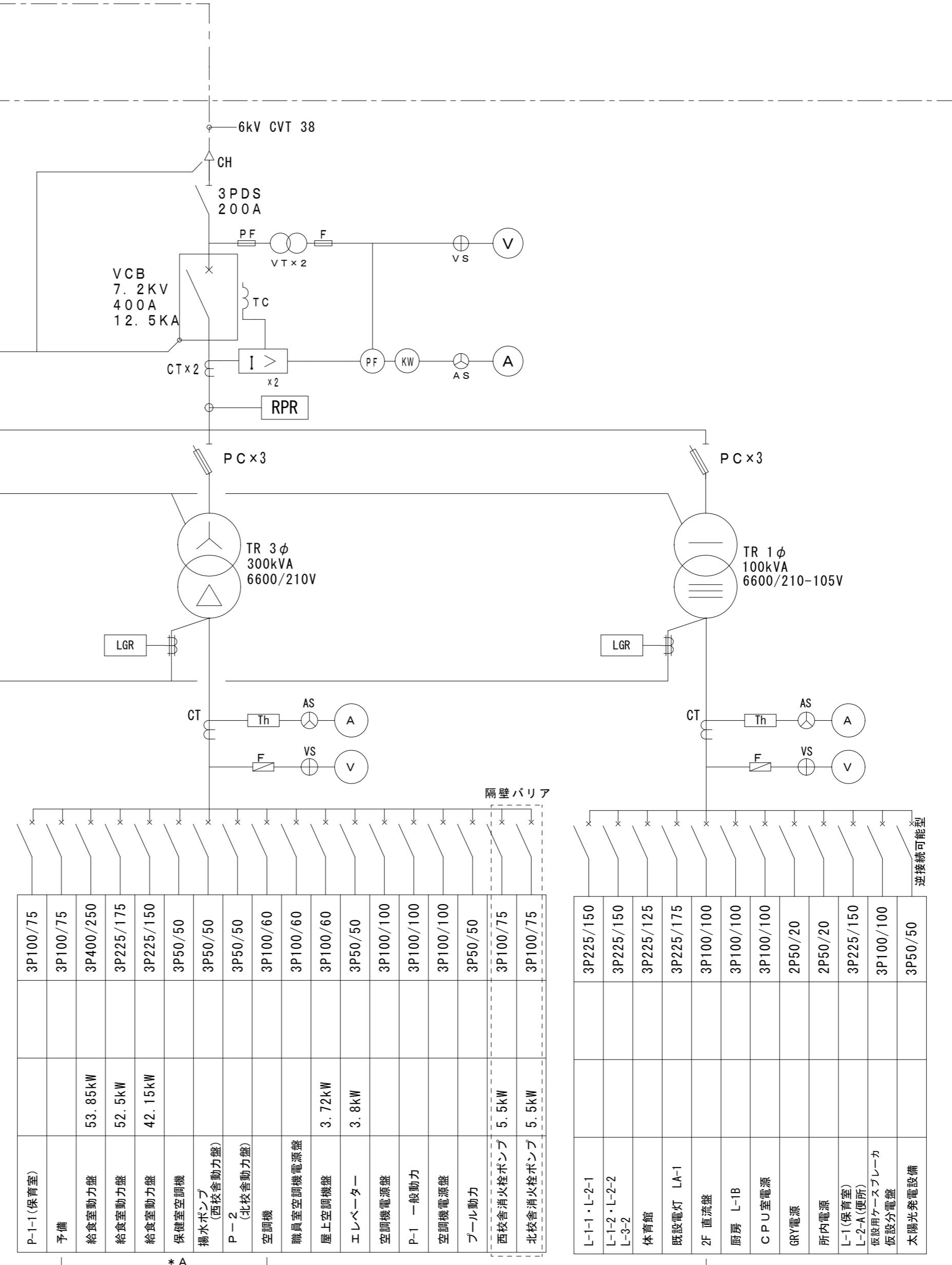
平面詳細図 1 / 50



单線結線図



負荷名称	負荷容量	幹線サイズ	MCCB A5/AT
P-1-1(保育室)		3P100/75	



MCCB3P225/150Aに取替

MCCB3P100/100Aに取替

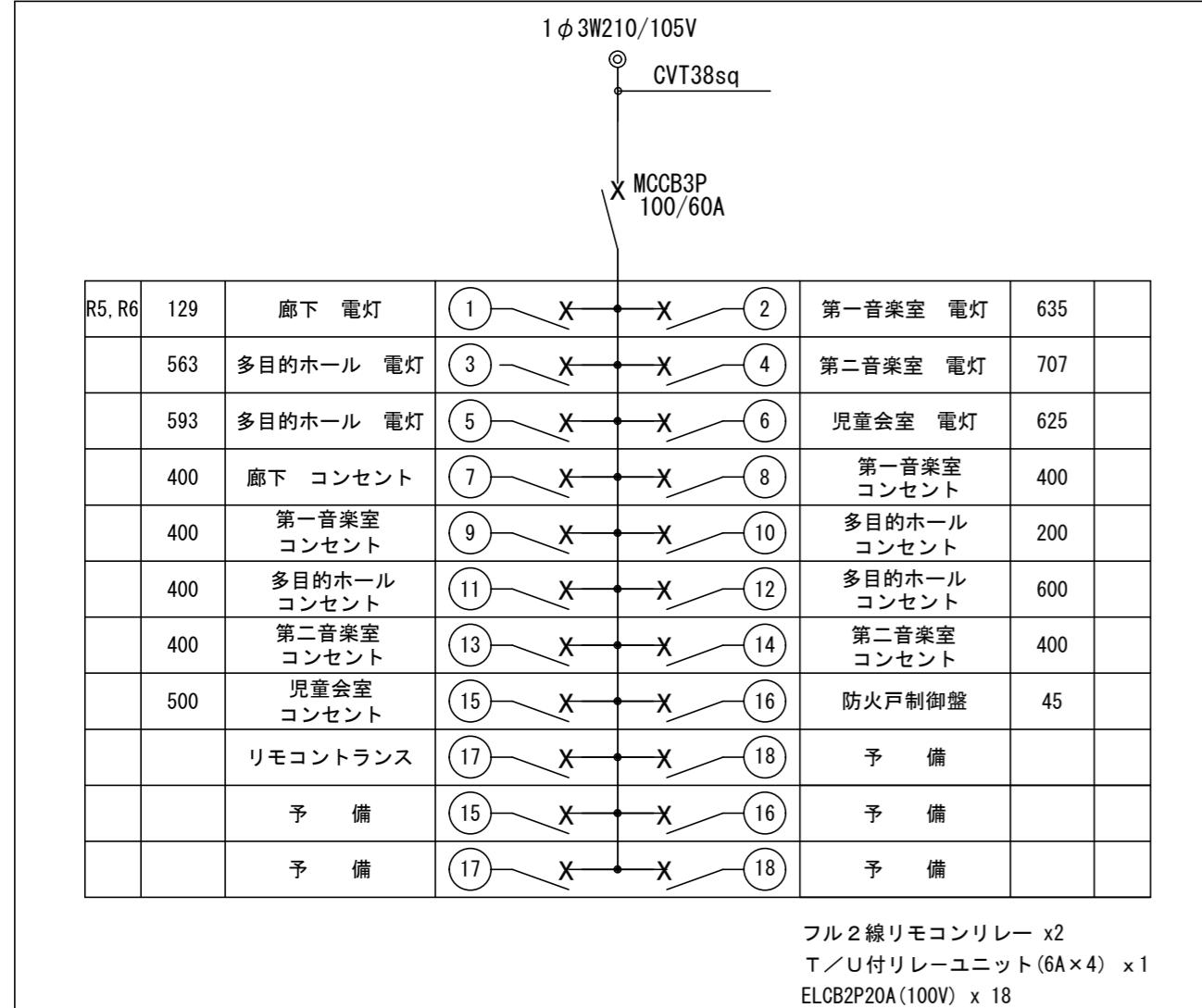
* A -- 今回増設箇所

藤川設計株式会社

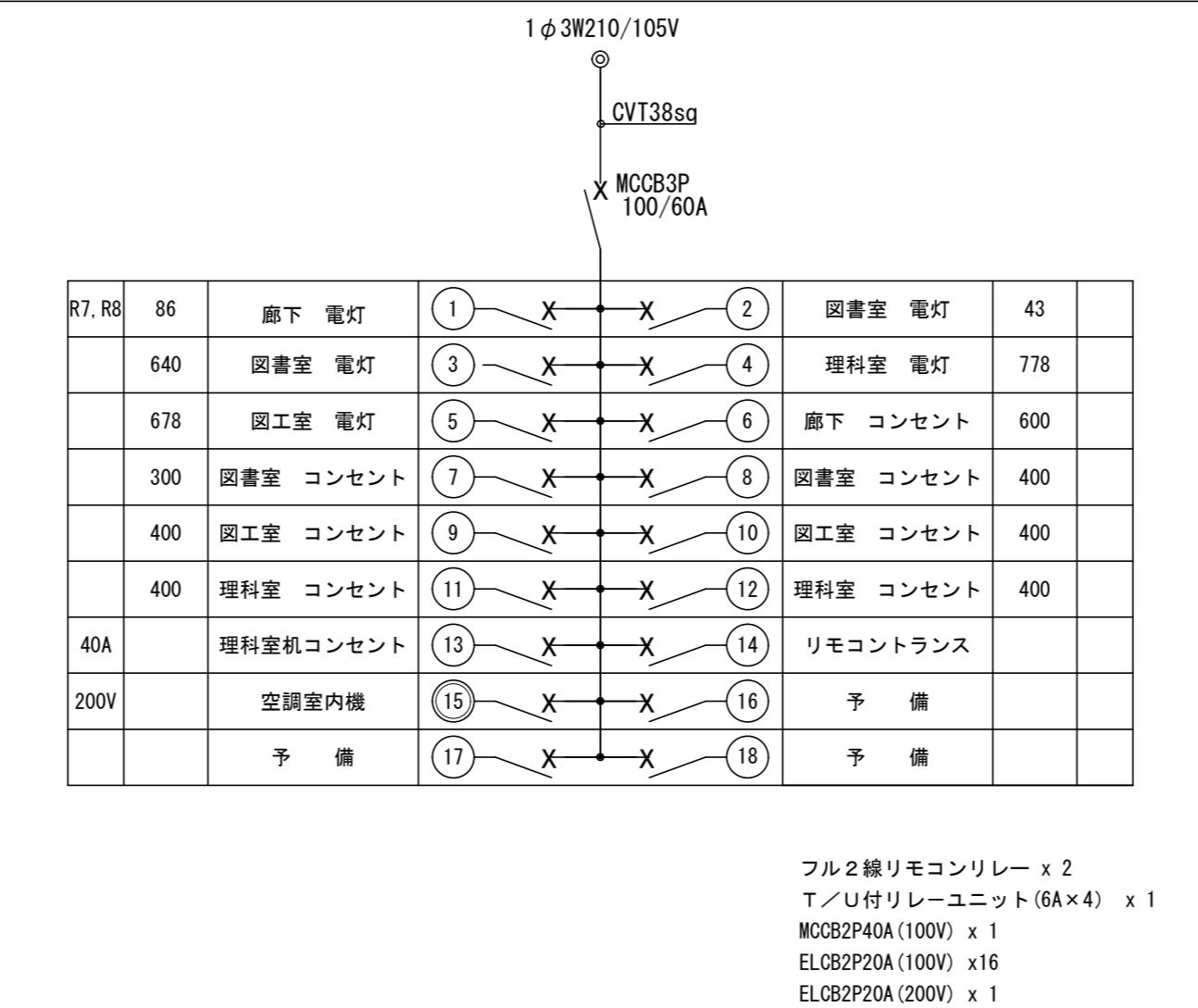
一級建築士登録 222551
田中 富士夫

E-O5
原図: A2

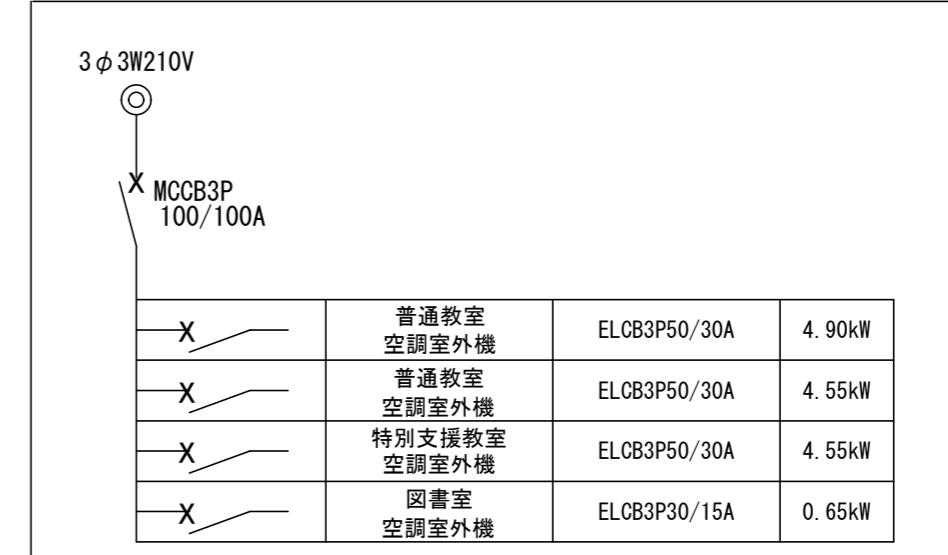
電灯盤 L-2-1(特別教室管理棟) 鋼板製・露出型



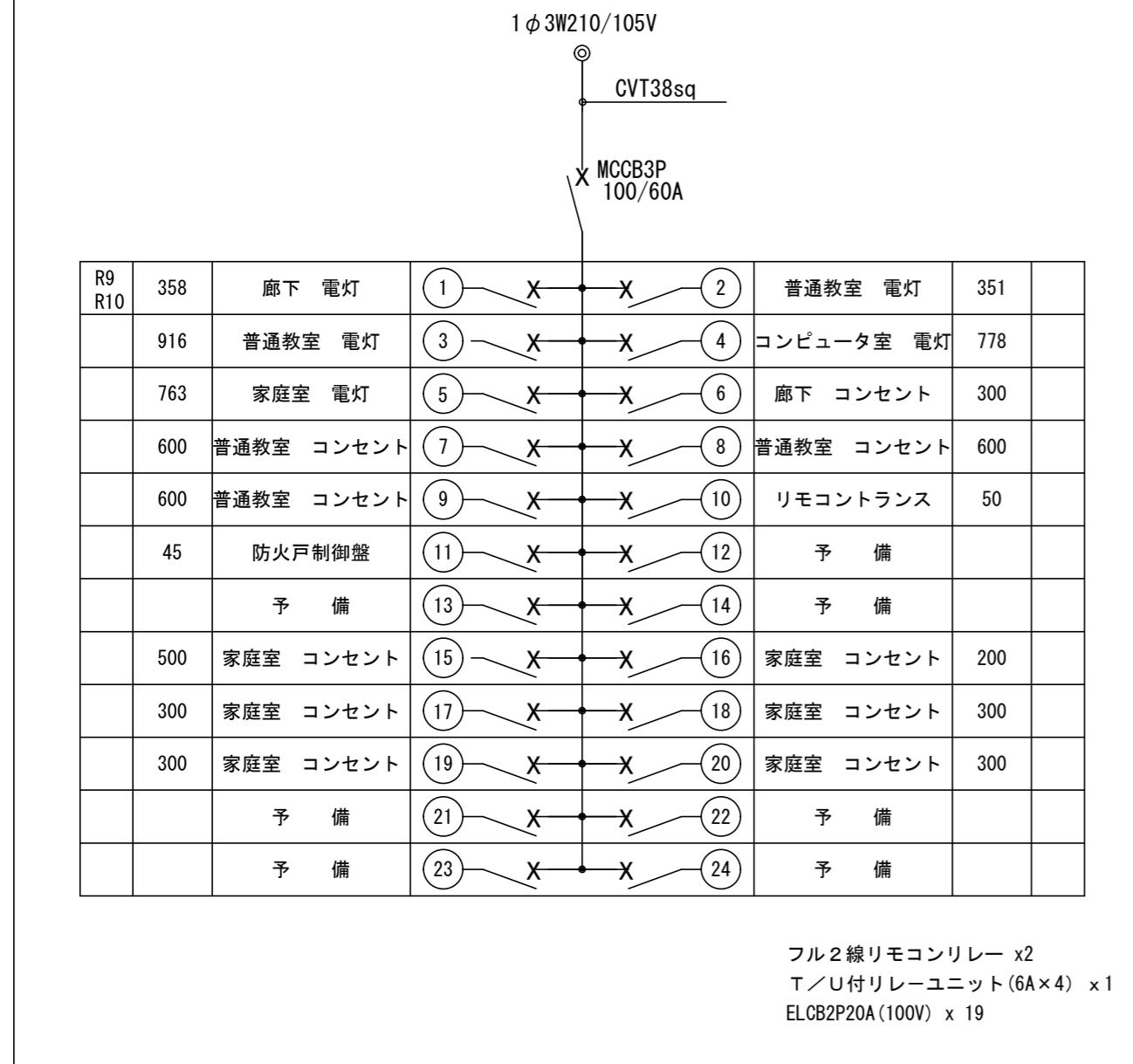
電灯盤 L-2-2(特別教室管理棟) 鋼板製・露出型



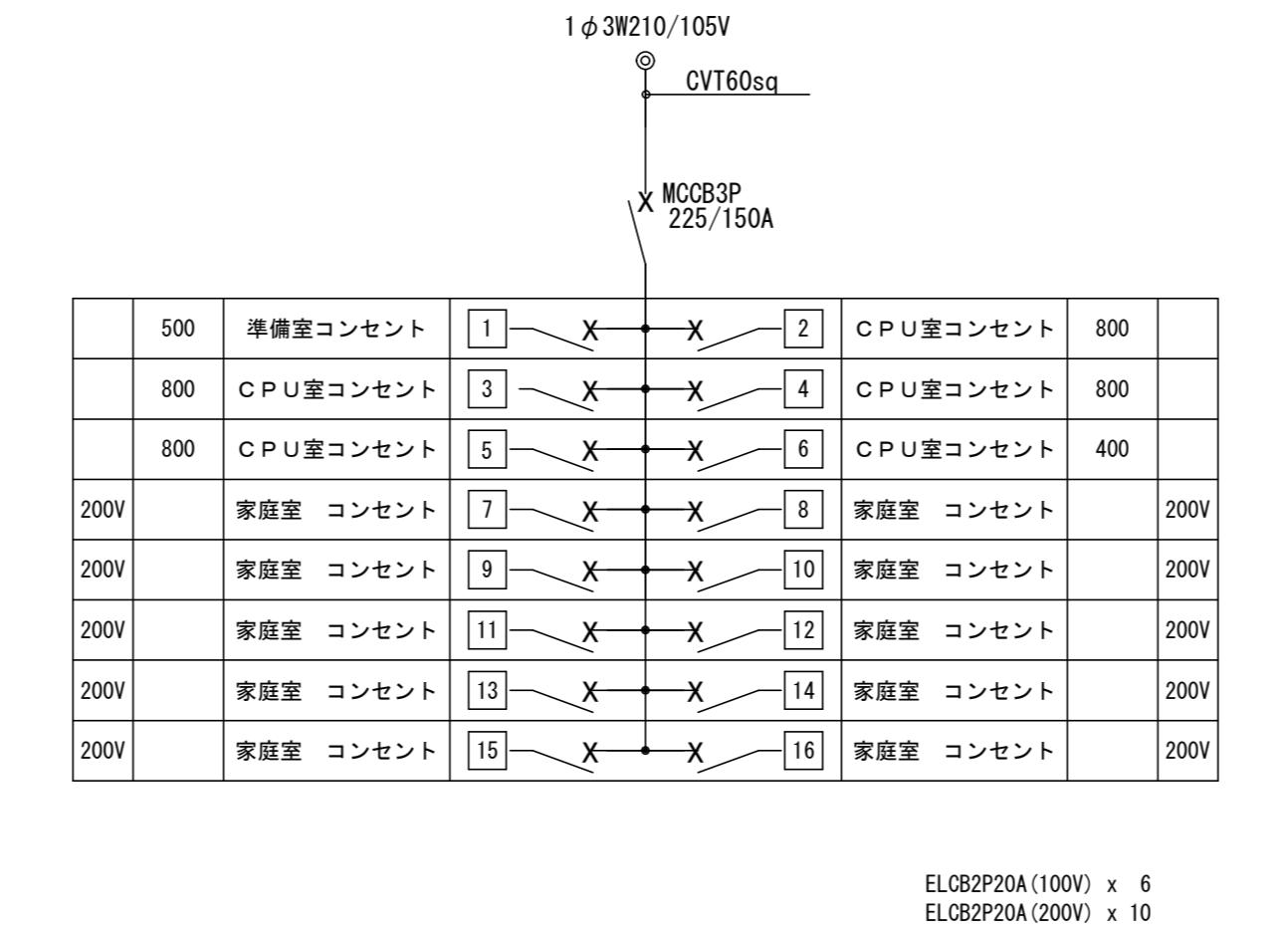
動力盤 R-1(特別教室管理棟) WP SUS製・露出型



電灯盤 L-3-2(特別教室棟) 鋼板製・露出型



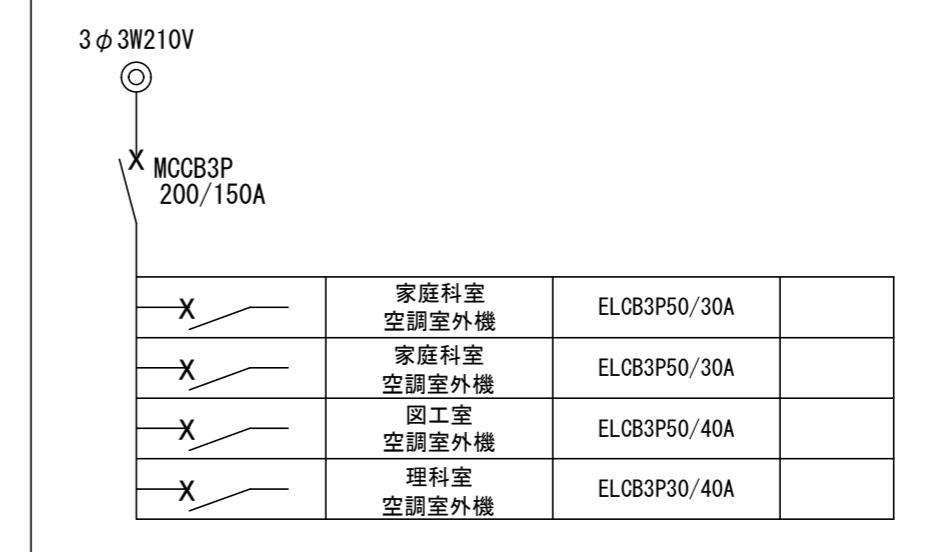
電灯盤 L-3-3(特別教室棟) 鋼板製・露出型



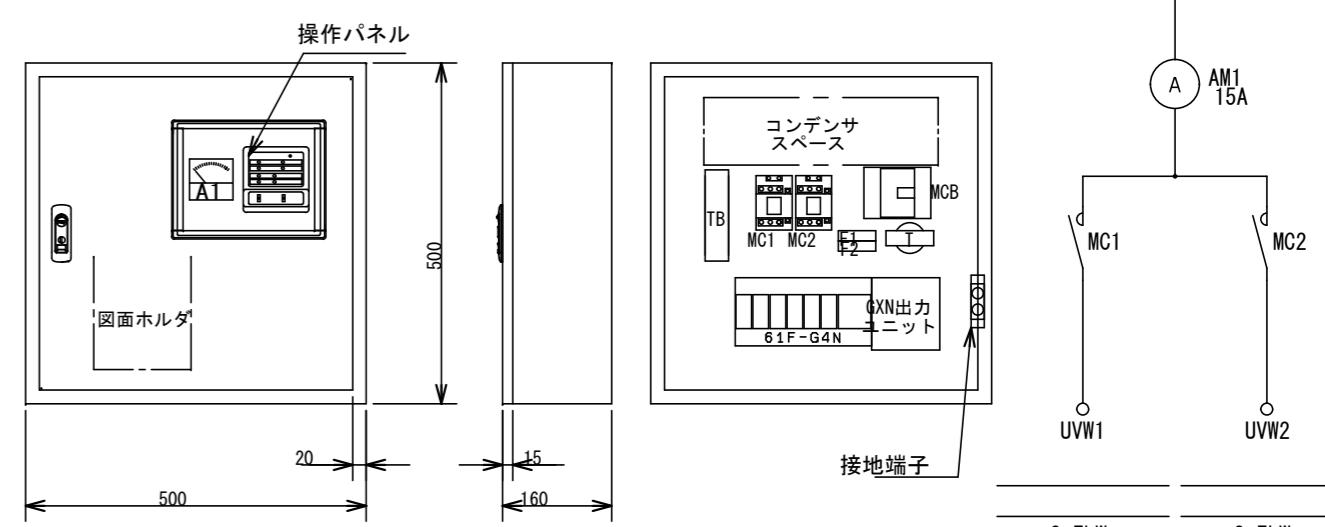
端子盤リスト

	拡声	時計	インターホン	テレビ共聴	備 考
T-2A	40P	5P	20P	1分岐器、6分配器	鋼板製・露出型
T-3A	20P	5P	10P	6分配器	鋼板製・露出型

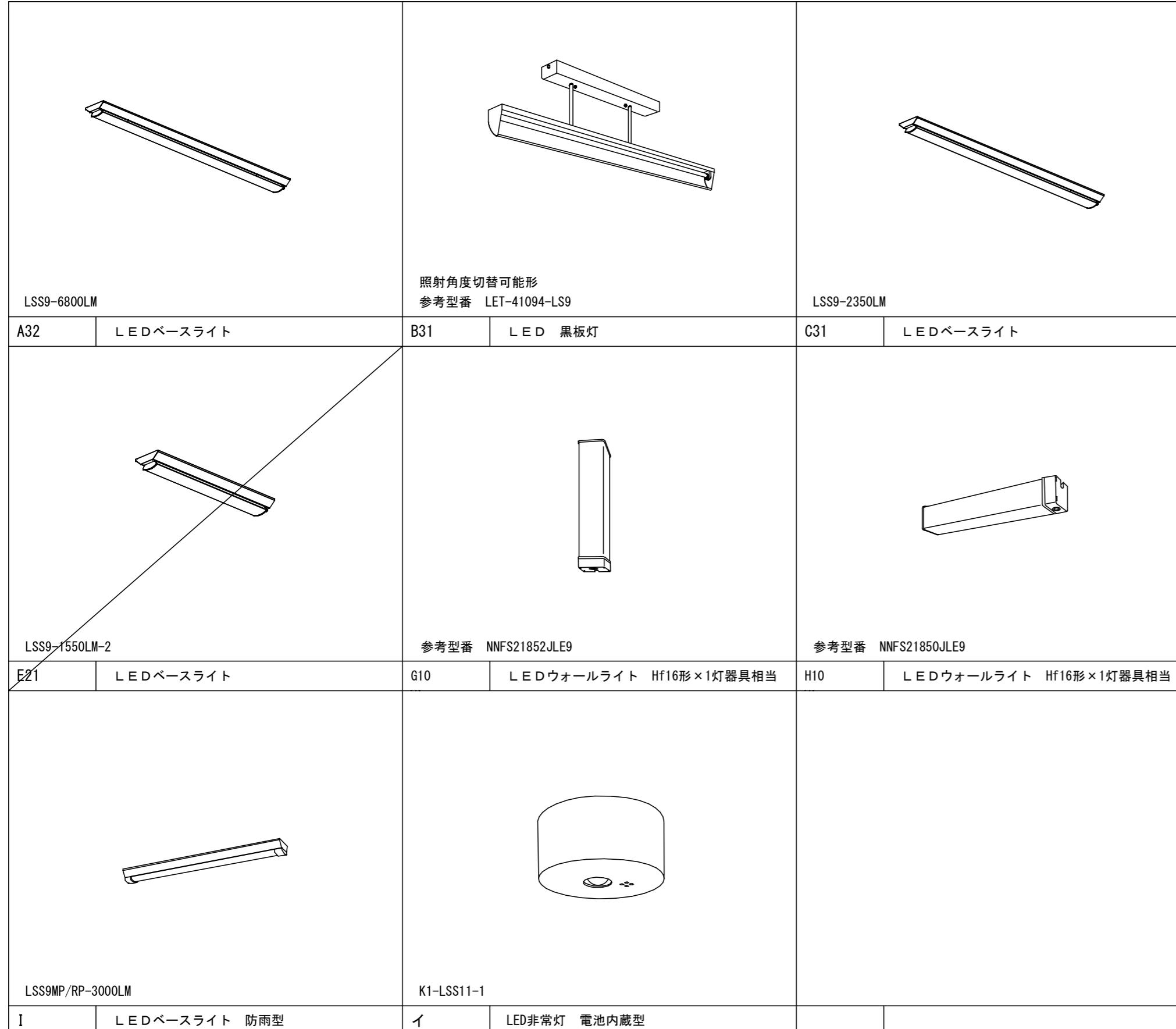
動力盤 R-2(特別教室管理棟) WP SUS製・露出型

WP-1(ポンプ制御盤)
参考番号: G4-A-37M

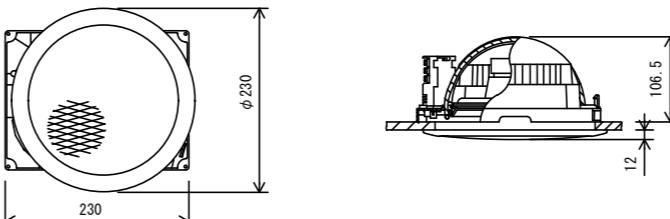
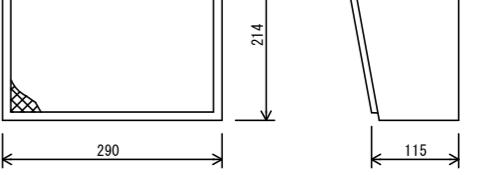
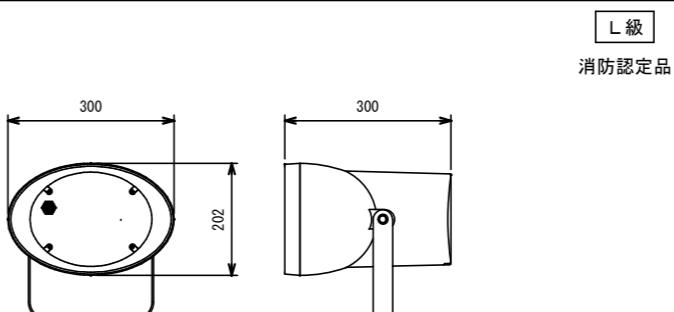
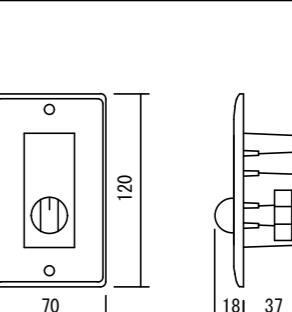
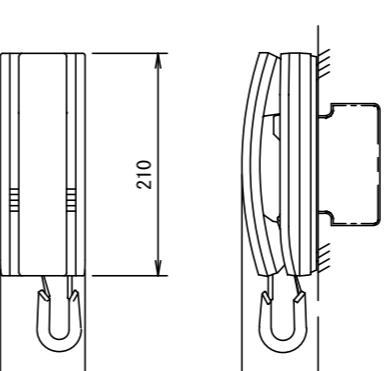
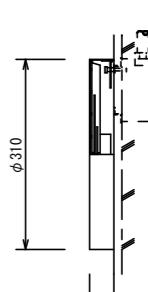
COS 試験: 強制入 停止: 強制切 自動: 電極棒による自動運転
No. 1: 1の単独運転 自交: 1と2の交互運転 No. 2: 2の単独運転
用途: 高架水槽の満水、減水警報、受水槽の満水、減水警報、及び空転防止を備えた給水の自動交互運転-電極棒5極-4極
E6以下で運転、E5で停止、E4で高架水槽の満水、E7以下で減水警報発生
E1で受水槽の満水、E3以下で空転防止によるポンプ停止と減水警報発生、E2で両方解除
(注) 停電復旧時、E2以下の場合、空転防止がかかります



照明器具姿図

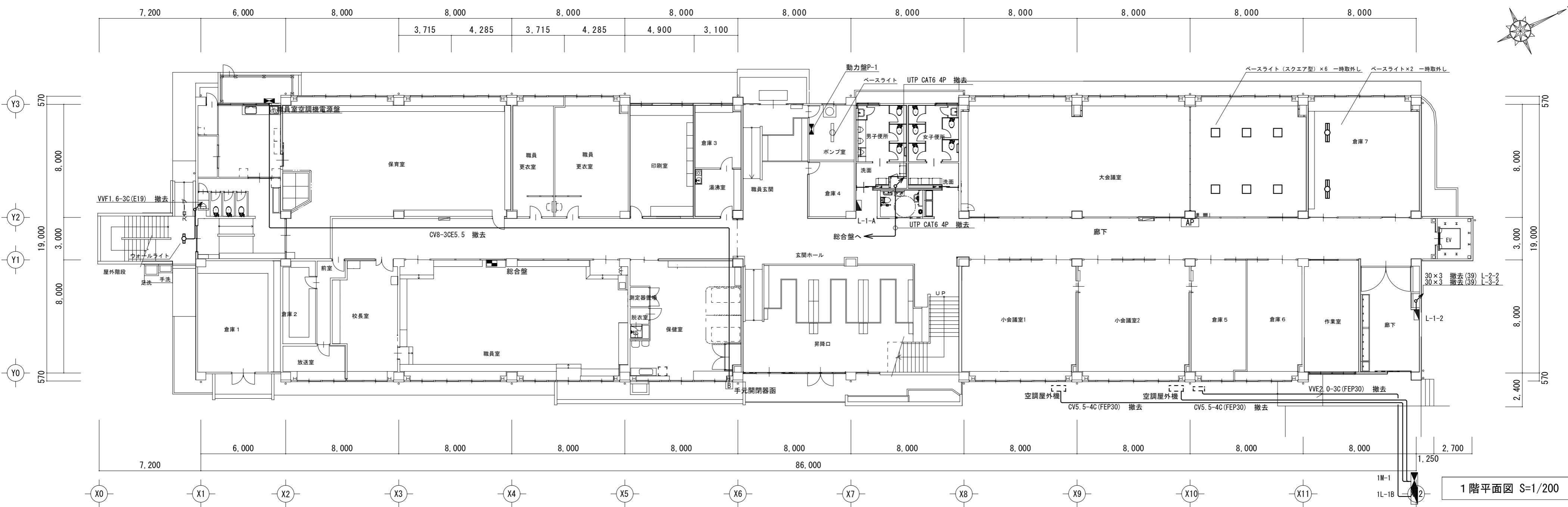


弱電機器姿図

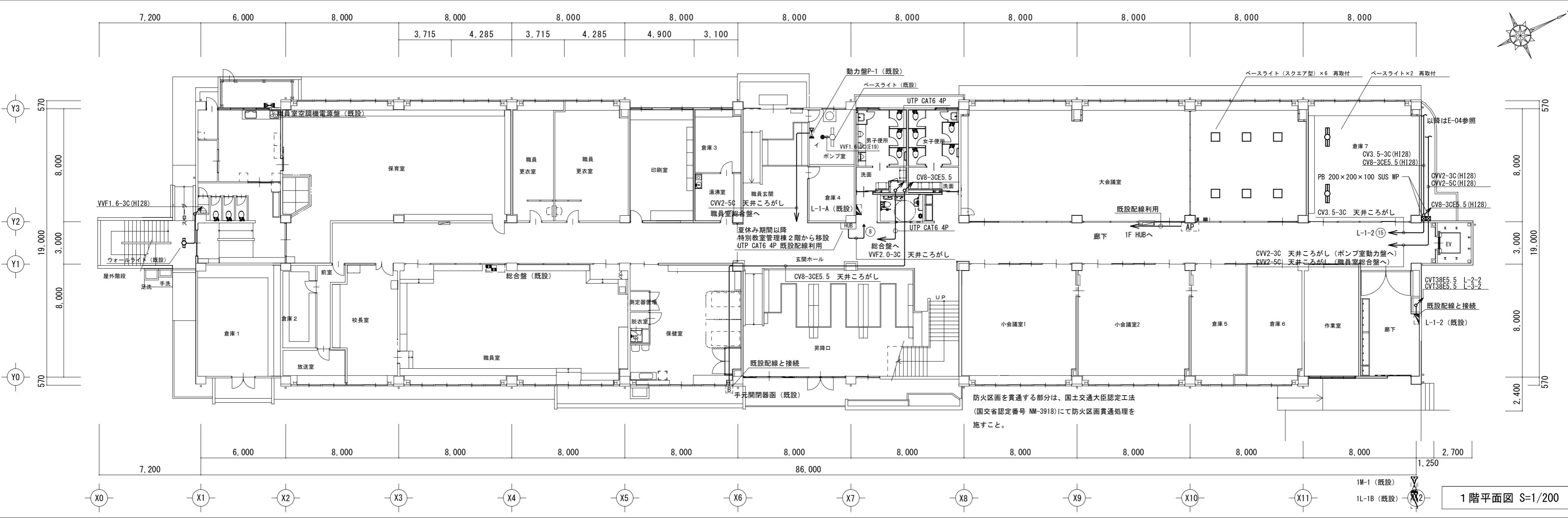
SP-1	天井埋込型スピーカ	SC6-Hi-1V0-M	SP-2	壁掛型スピーカ	SW1Hi-1V0																						
SP-1A	天井埋込型スピーカ ATT付	SC6-Hi-1V3-M	SP-2A	壁掛型スピーカ ATT付	SW1Hi-1V3																						
 <div style="text-align: center;"> L級 消防認定品 </div>	 <div style="text-align: center;"> L級 消防認定品 </div>																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>定格入力</td><td>3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ),</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>92dB (1W, 1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>100Hz ~ 12kHz</td></tr> <tr><td>スピーカー</td><td>16cmコーン型</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>枠:アルミ オフホワイト</td></tr> <tr><td></td><td>ネット:アルミ オフホワイト</td></tr> <tr><td>その他</td><td>スピーカーカバー一体型</td></tr> </table>	定格入力	3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ),	出力音圧レベル	92dB (1W, 1m)	周波数特性	100Hz ~ 12kHz	スピーカー	16cmコーン型	仕上	枠:アルミ オフホワイト		ネット:アルミ オフホワイト	その他	スピーカーカバー一体型	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>定格入力</td><td>3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ),</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>1W (10kΩ)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>92dB (1W, 1m)</td></tr> <tr><td>スピーカー</td><td>150Hz ~ 13kHz</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>本体:木製 ライトグレー</td></tr> <tr><td></td><td>ネット:ジャージ ライトグレー</td></tr> </table>	定格入力	3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ),	出力音圧レベル	1W (10kΩ)	周波数特性	92dB (1W, 1m)	スピーカー	150Hz ~ 13kHz	仕上	本体:木製 ライトグレー		ネット:ジャージ ライトグレー
定格入力	3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ),																										
出力音圧レベル	92dB (1W, 1m)																										
周波数特性	100Hz ~ 12kHz																										
スピーカー	16cmコーン型																										
仕上	枠:アルミ オフホワイト																										
	ネット:アルミ オフホワイト																										
その他	スピーカーカバー一体型																										
定格入力	3W (3.3kΩ), 2W (5kΩ),																										
出力音圧レベル	1W (10kΩ)																										
周波数特性	92dB (1W, 1m)																										
スピーカー	150Hz ~ 13kHz																										
仕上	本体:木製 ライトグレー																										
	ネット:ジャージ ライトグレー																										
SP-3	ホーンスピーカ		∅	アッテネータ	V-1S																						
 <div style="text-align: center;"> L級 消防認定品 </div>																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>定格入力</td><td>15W</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>99dB (1m/1W)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>150Hz ~ 15kHz</td></tr> <tr><td>入力インピーダンス</td><td>670Ω, 1kΩ, 2kΩ</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table>	定格入力	15W	出力音圧レベル	99dB (1m/1W)	周波数特性	150Hz ~ 15kHz	入力インピーダンス	670Ω, 1kΩ, 2kΩ							<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>入力容量</td><td>0.5 ~ 6W</td></tr> <tr><td>音量切換</td><td>5段階切換</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>プレート:アルミ</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table>	入力容量	0.5 ~ 6W	音量切換	5段階切換	仕上	プレート:アルミ						
定格入力	15W																										
出力音圧レベル	99dB (1m/1W)																										
周波数特性	150Hz ~ 15kHz																										
入力インピーダンス	670Ω, 1kΩ, 2kΩ																										
入力容量	0.5 ~ 6W																										
音量切換	5段階切換																										
仕上	プレート:アルミ																										
⑦	壁掛形子機		⌚	∅310壁掛型子時計																							
	参考型番 TB-SE																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>形状</td><td>壁掛形 (JIS 1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table>	形状	壁掛形 (JIS 1個用スイッチボックス)	材質	樹脂			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>ケース</td><td>鋼板製 クリーム色</td></tr> <tr><td>文字板</td><td>アルミニウム 白色</td></tr> <tr><td>文字</td><td>黒色印刷</td></tr> <tr><td>指針</td><td>アルミニウム 黒色</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>透明 2t</td></tr> <tr><td>機体</td><td>DC24V 有極30秒運針</td></tr> </table>	ケース	鋼板製 クリーム色	文字板	アルミニウム 白色	文字	黒色印刷	指針	アルミニウム 黒色	ガラス	透明 2t	機体	DC24V 有極30秒運針								
形状	壁掛形 (JIS 1個用スイッチボックス)																										
材質	樹脂																										
ケース	鋼板製 クリーム色																										
文字板	アルミニウム 白色																										
文字	黒色印刷																										
指針	アルミニウム 黒色																										
ガラス	透明 2t																										
機体	DC24V 有極30秒運針																										

参考

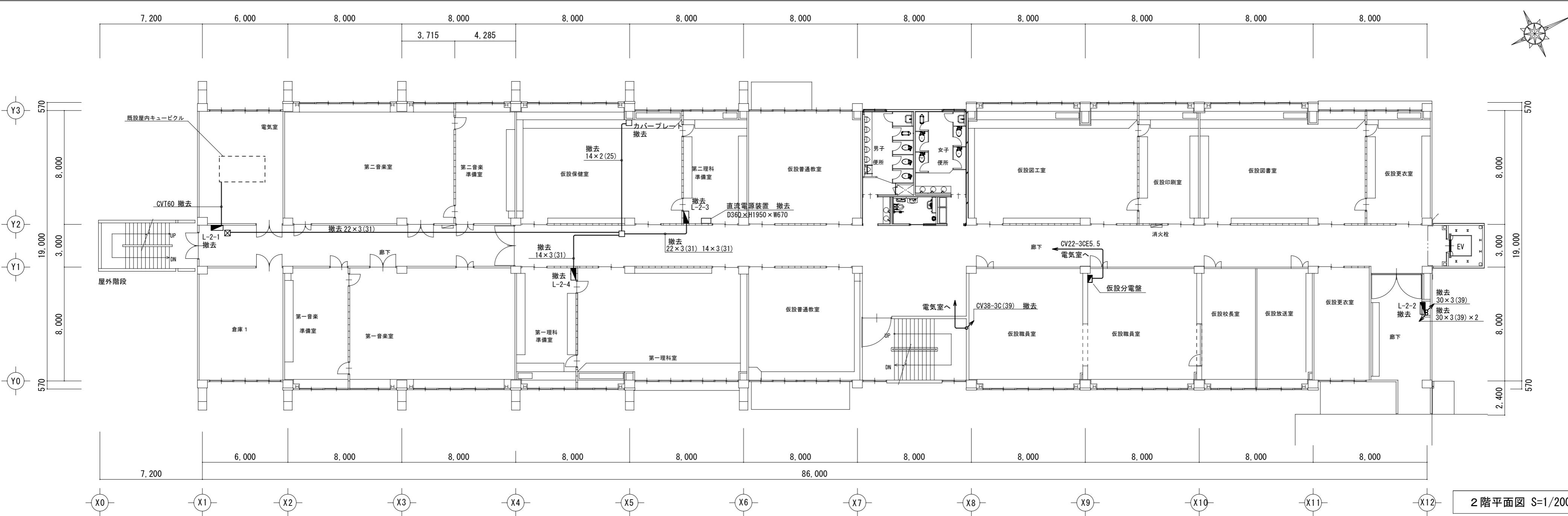
改修前



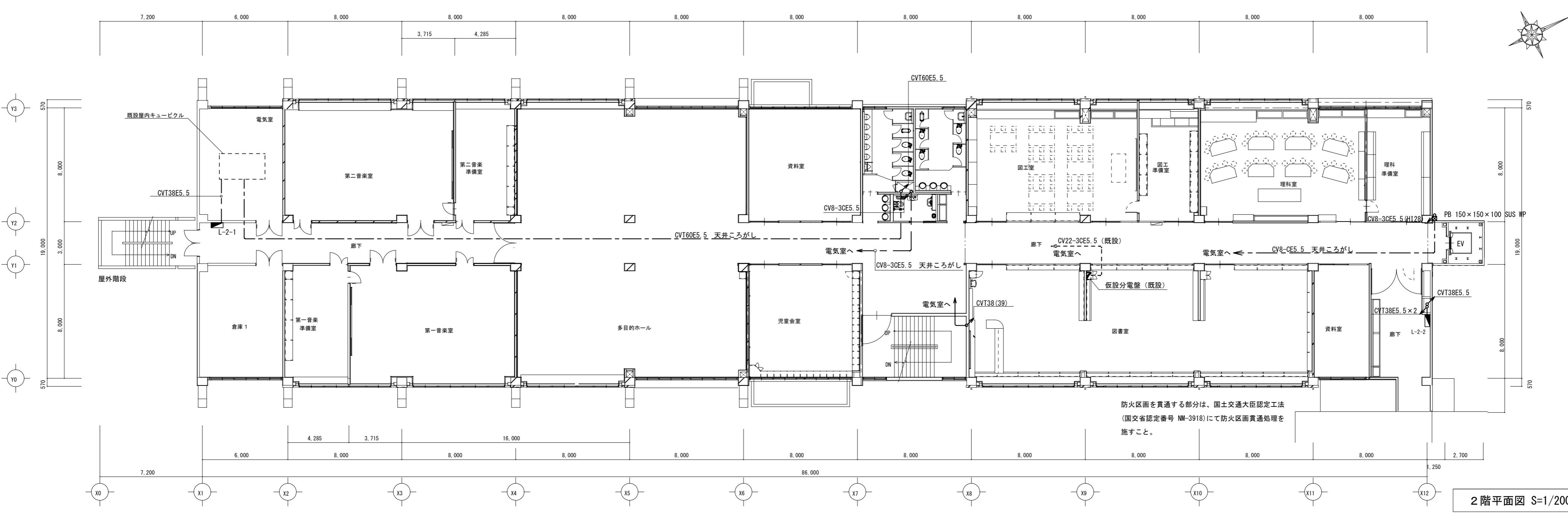
改修後



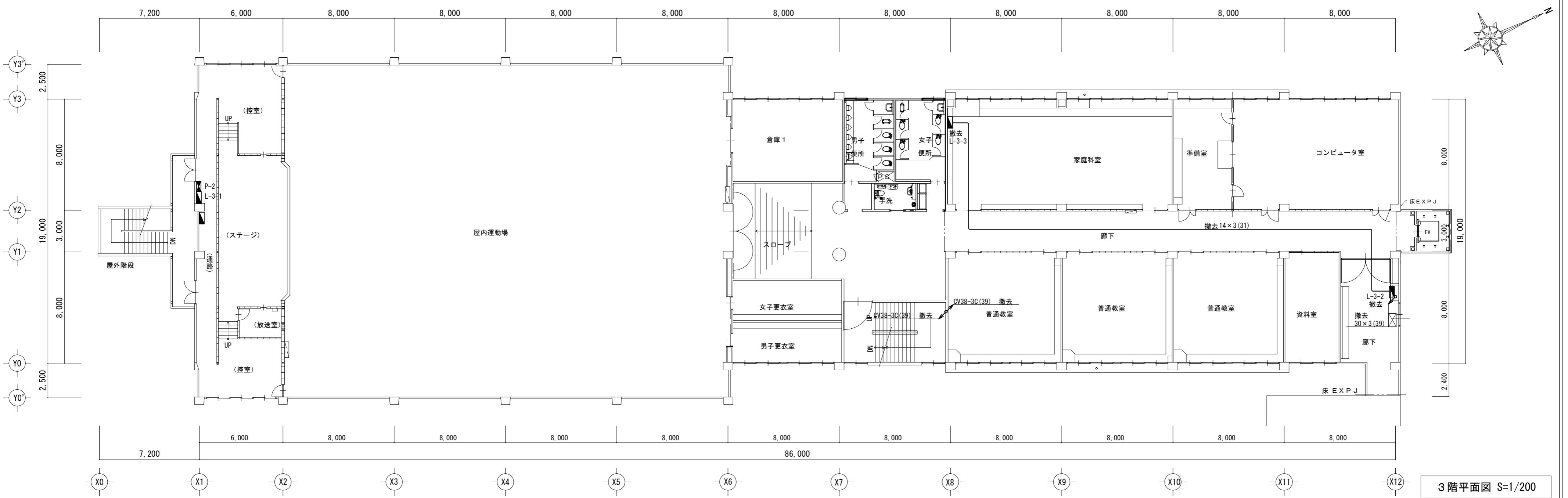
改修前



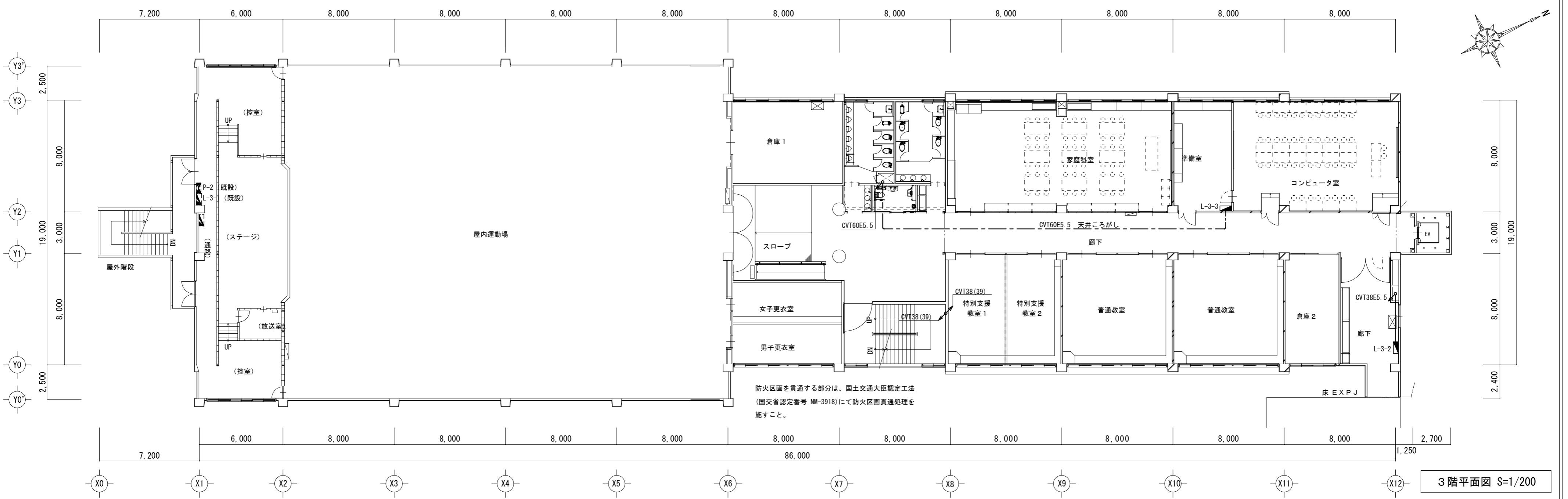
改修後



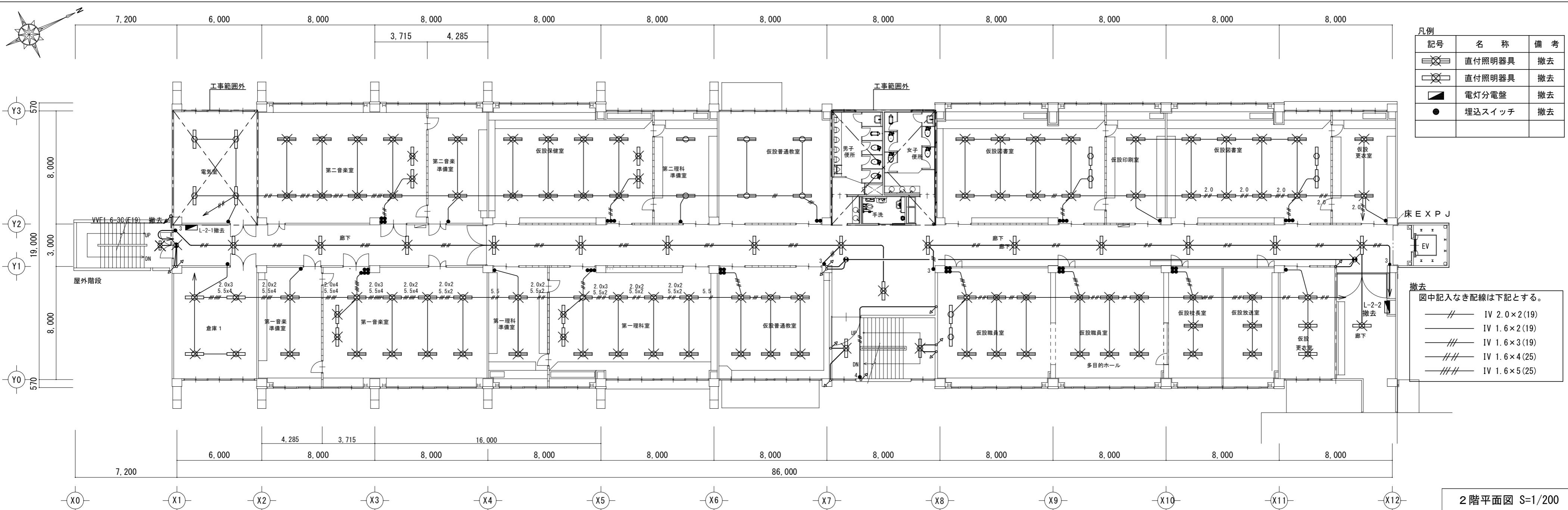
改修前



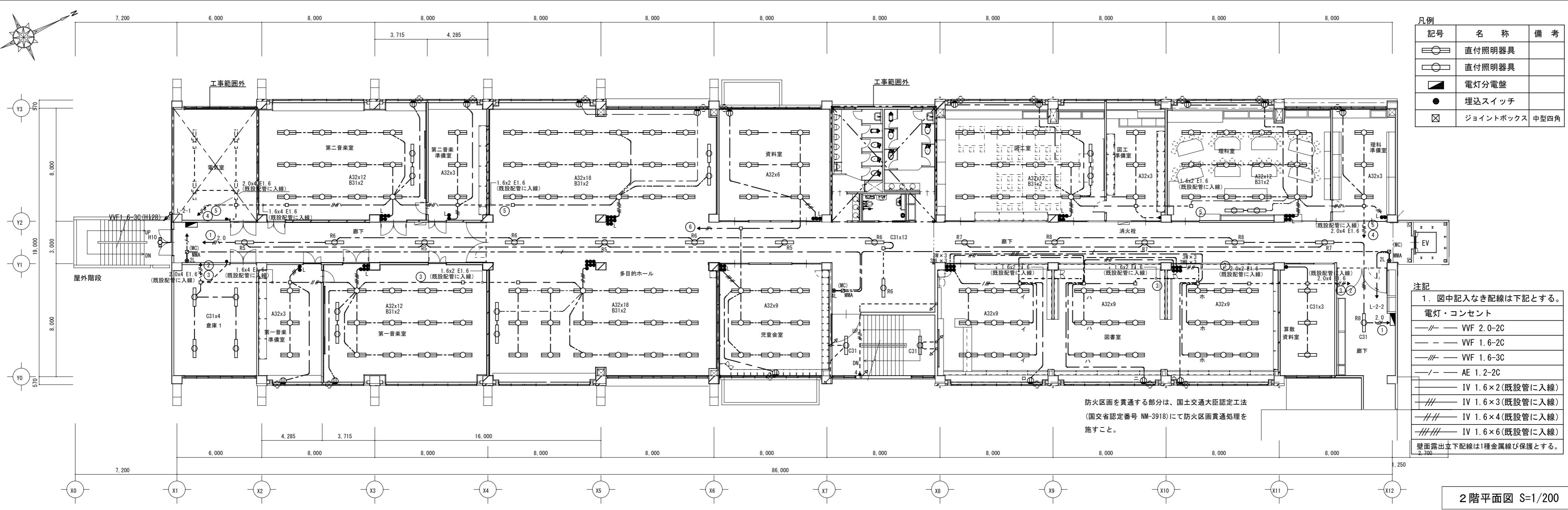
改修後



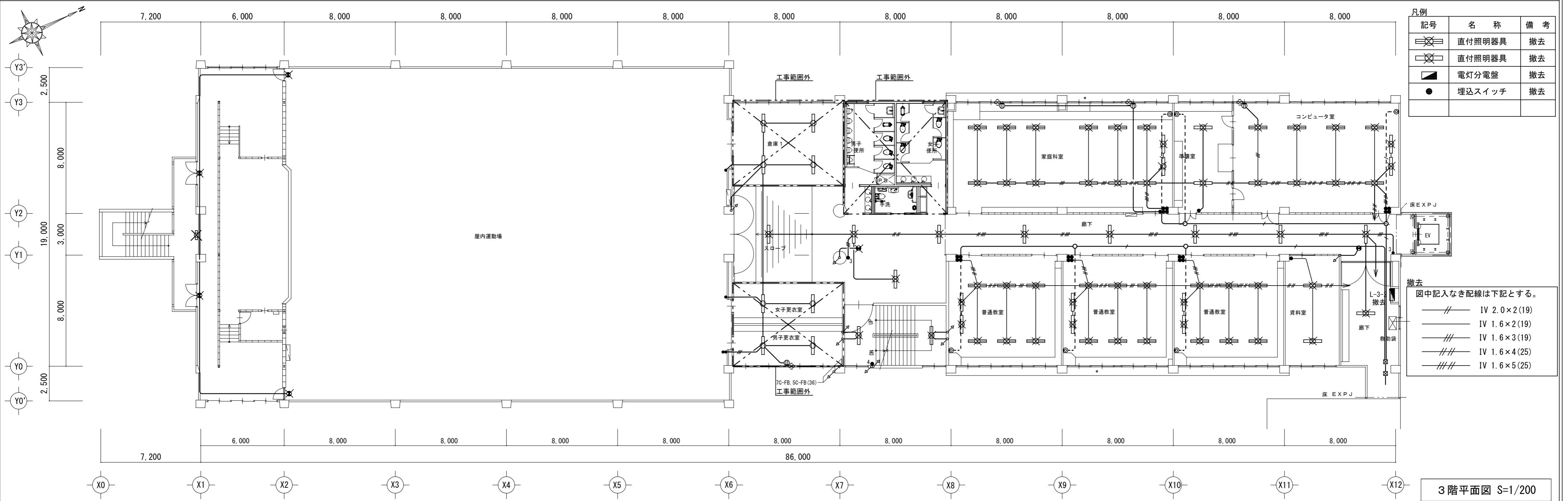
改修前



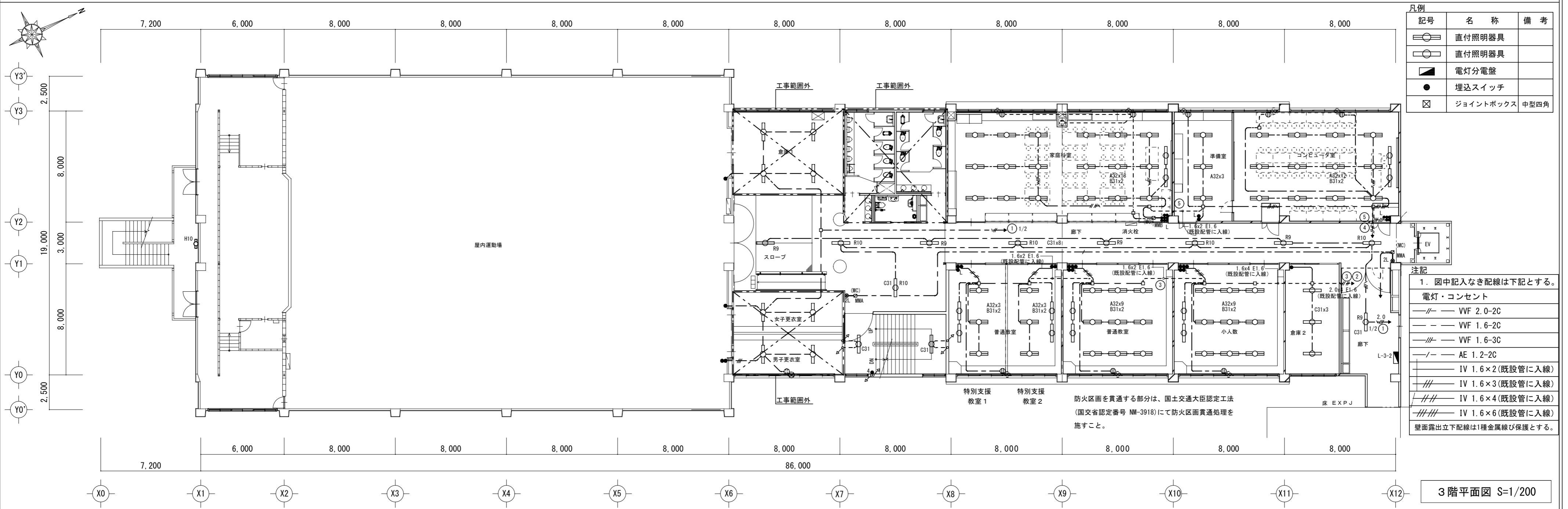
改修後



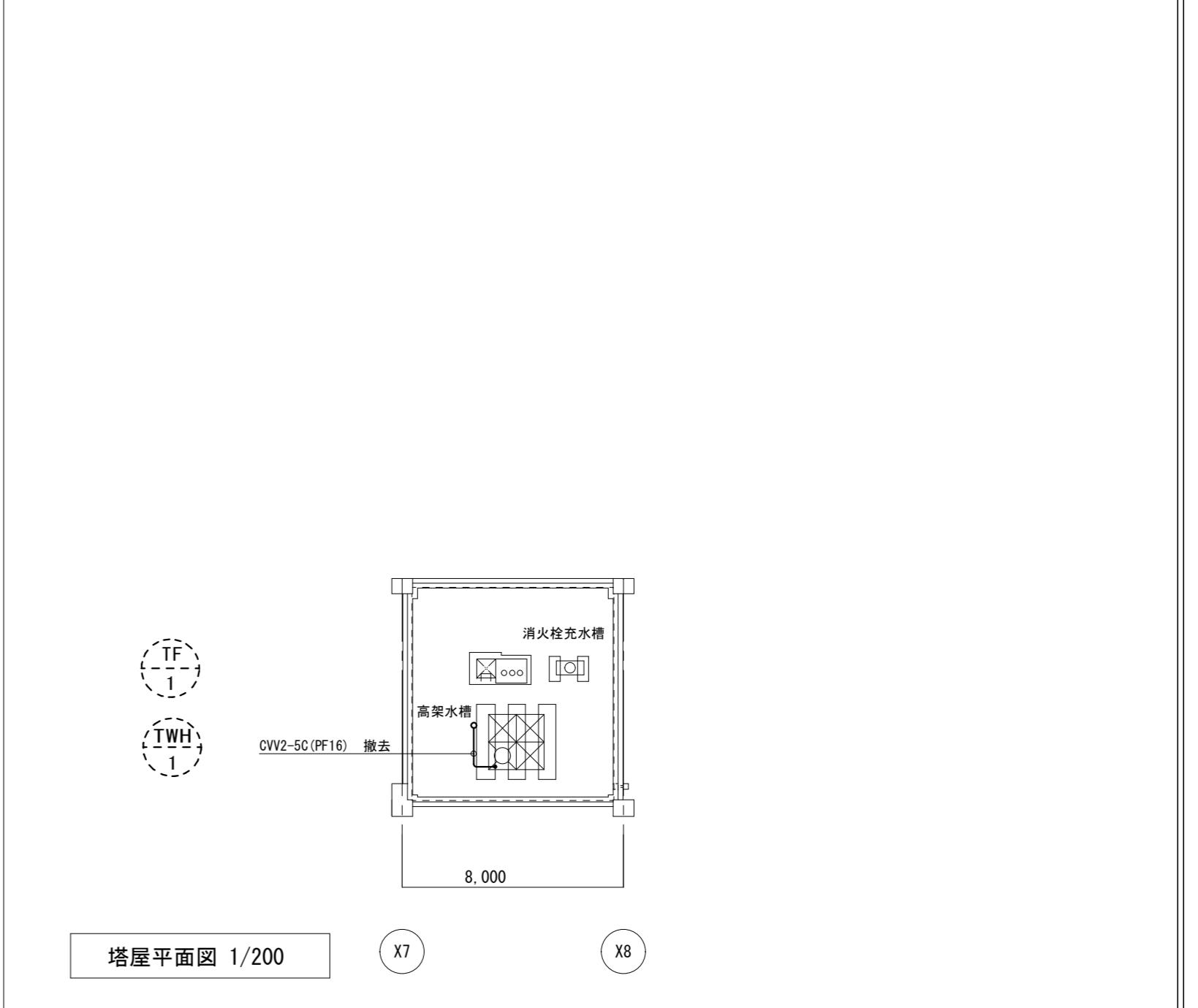
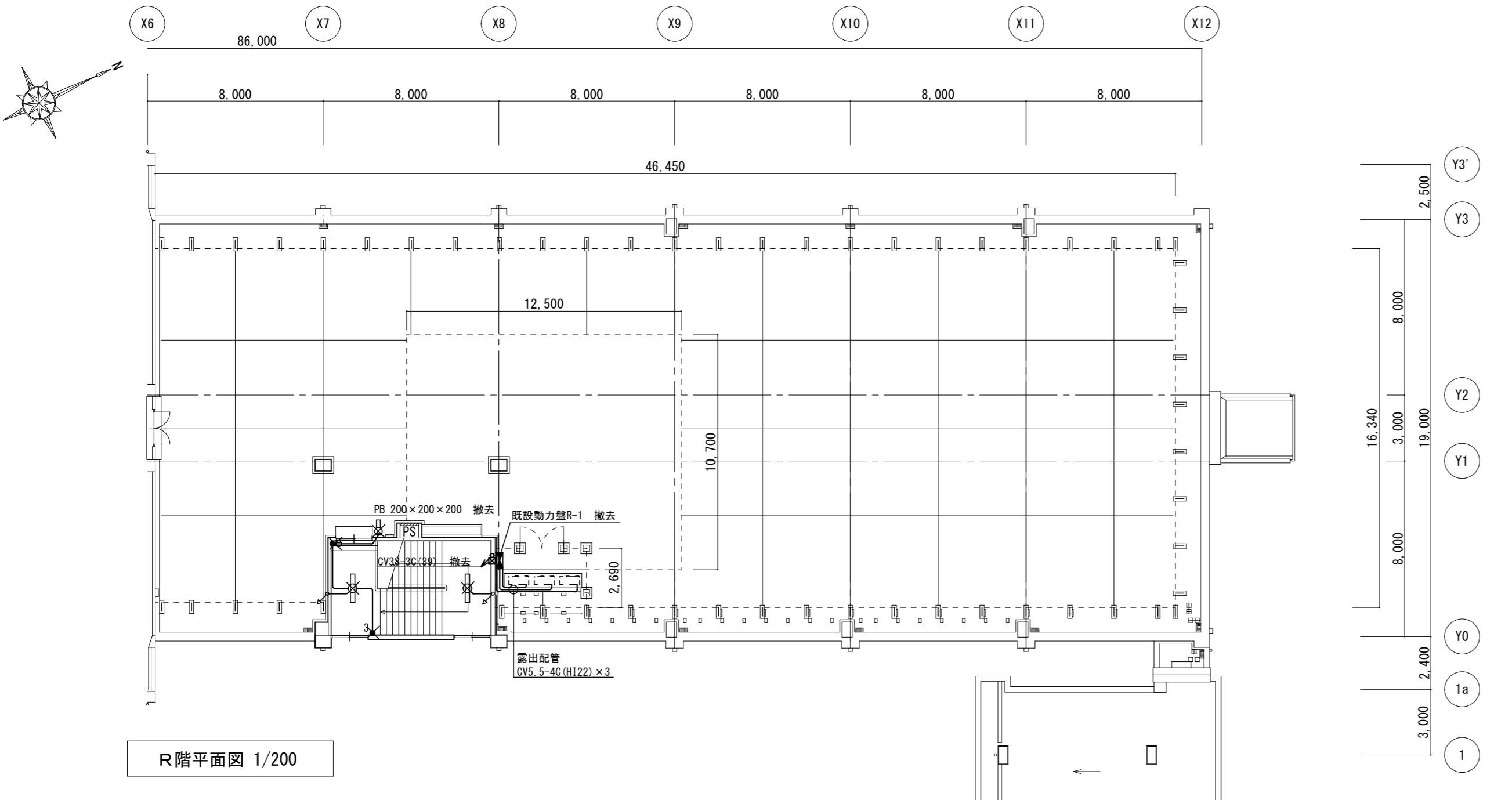
改修前



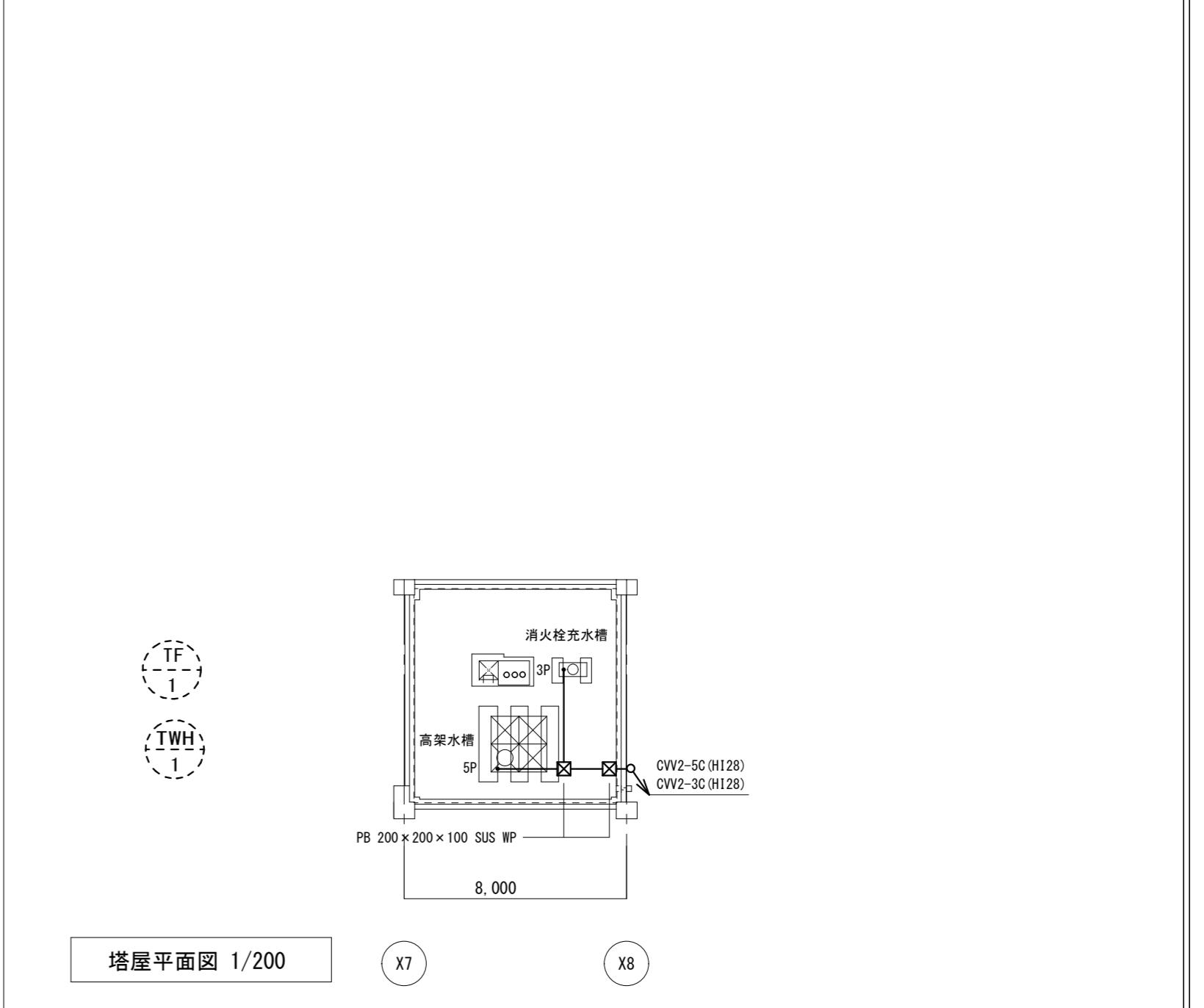
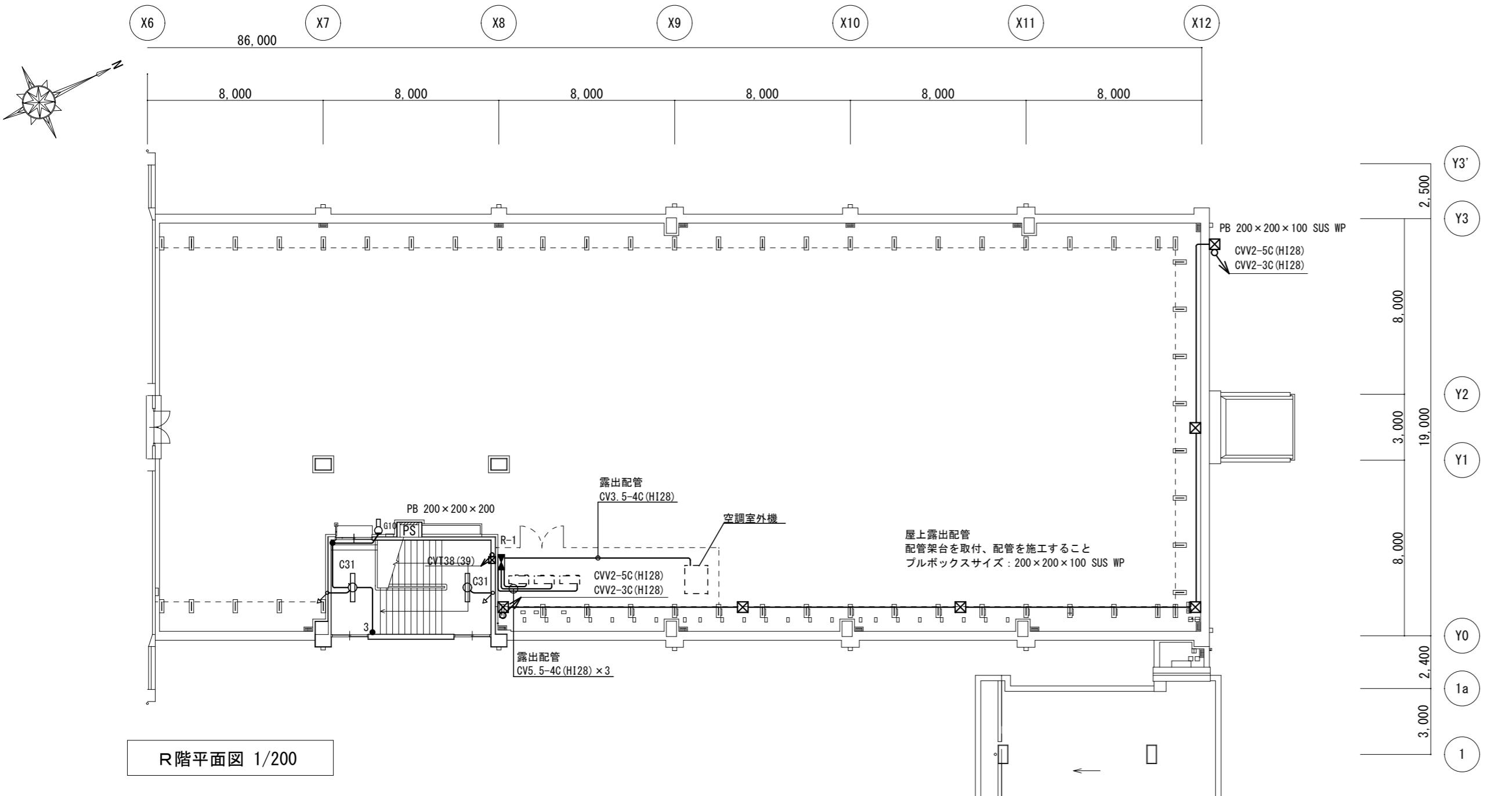
改修後



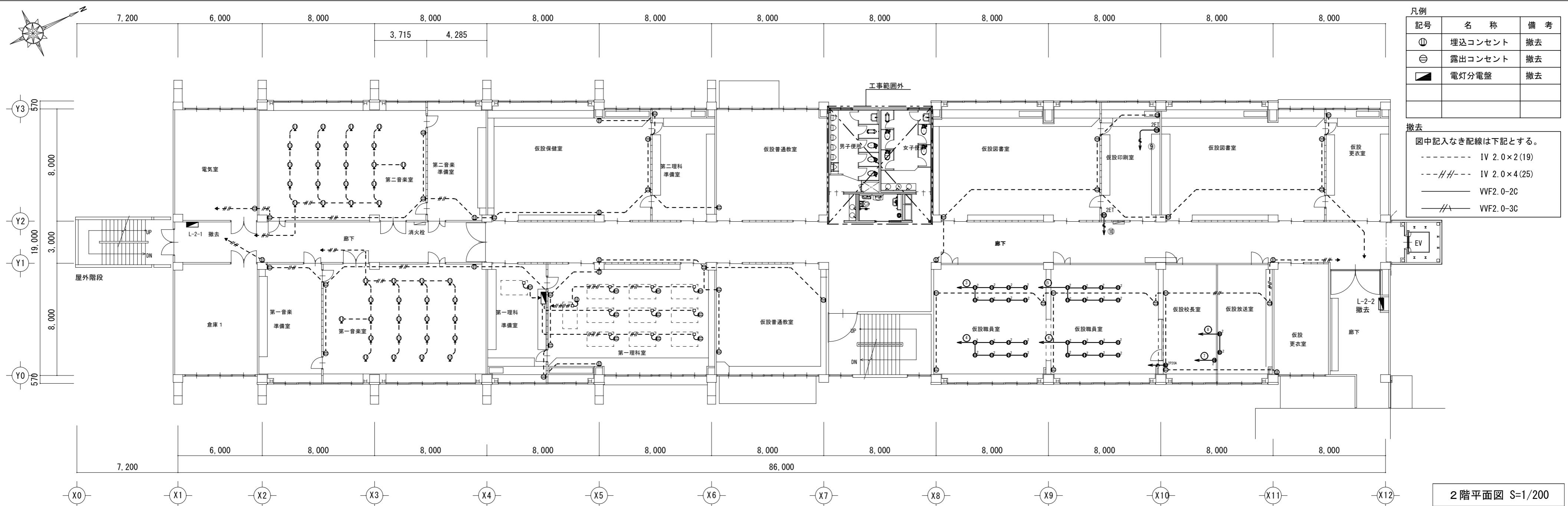
改修前



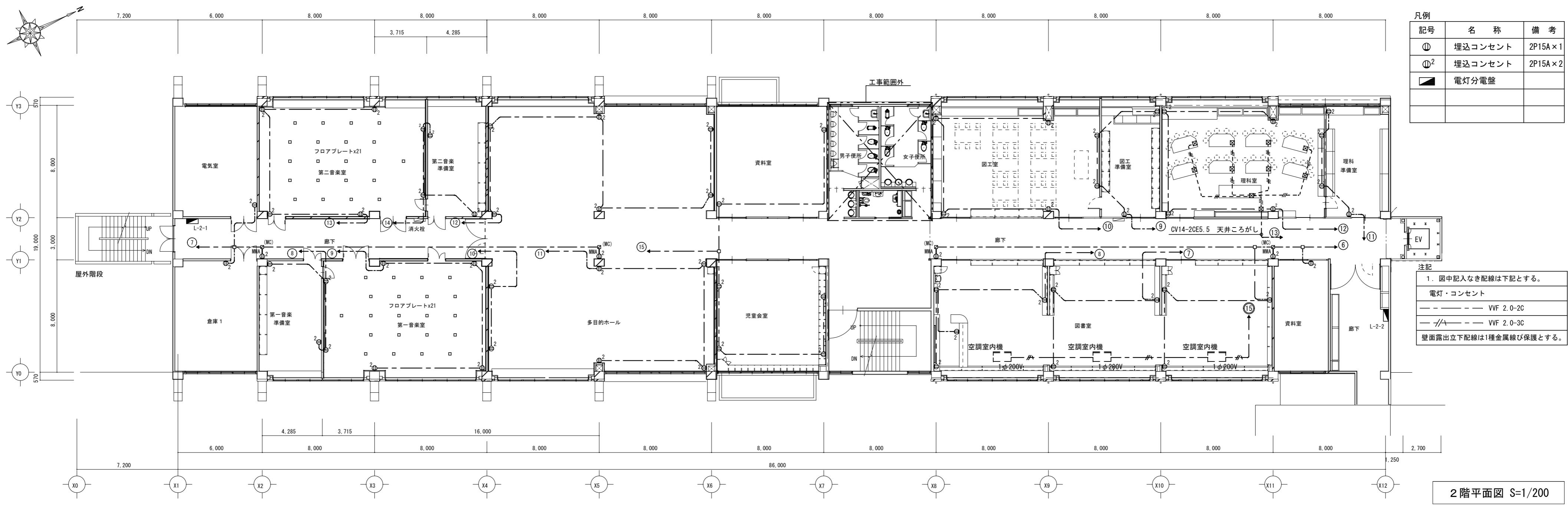
改修後



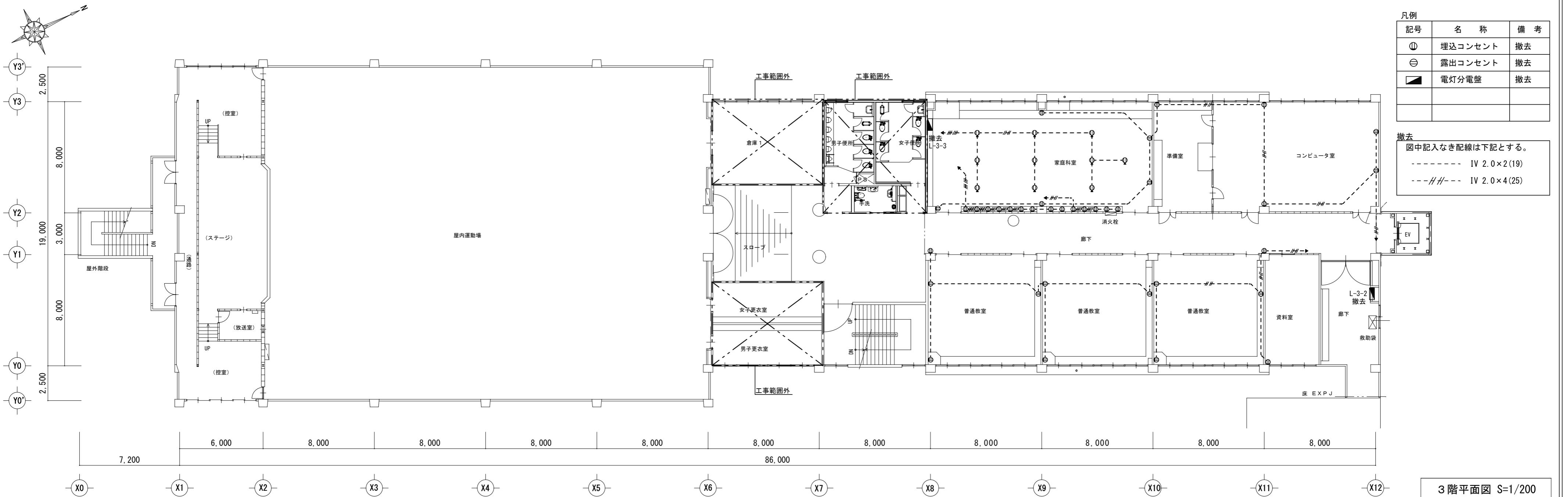
改修前



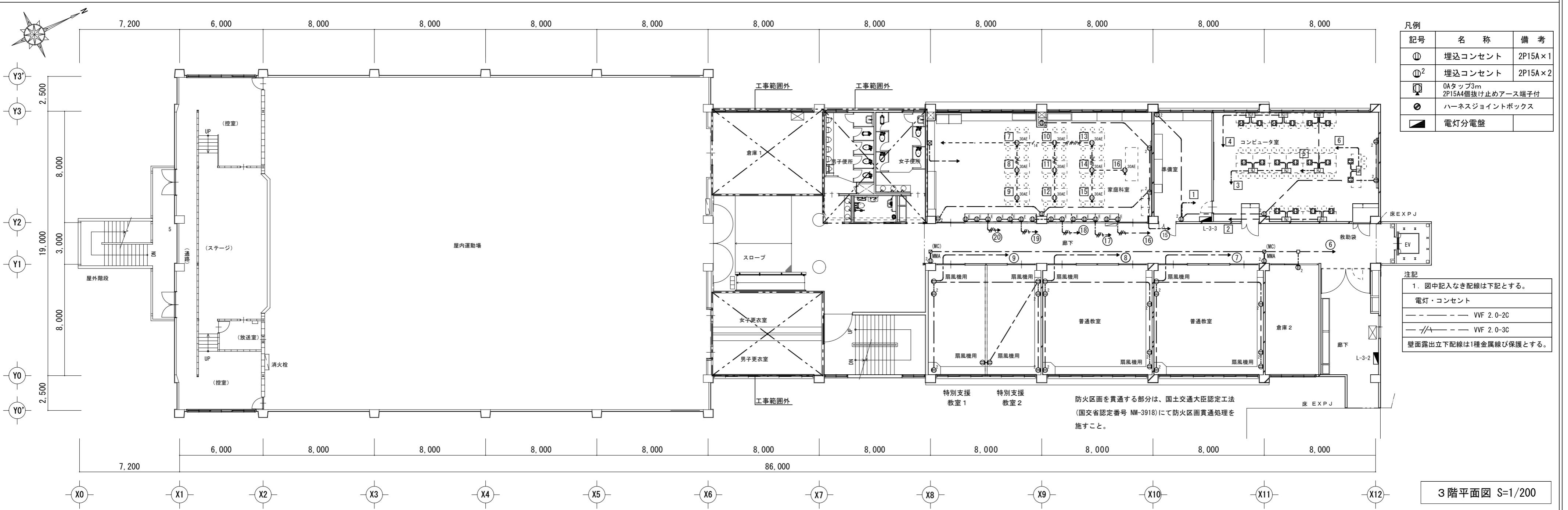
改修後

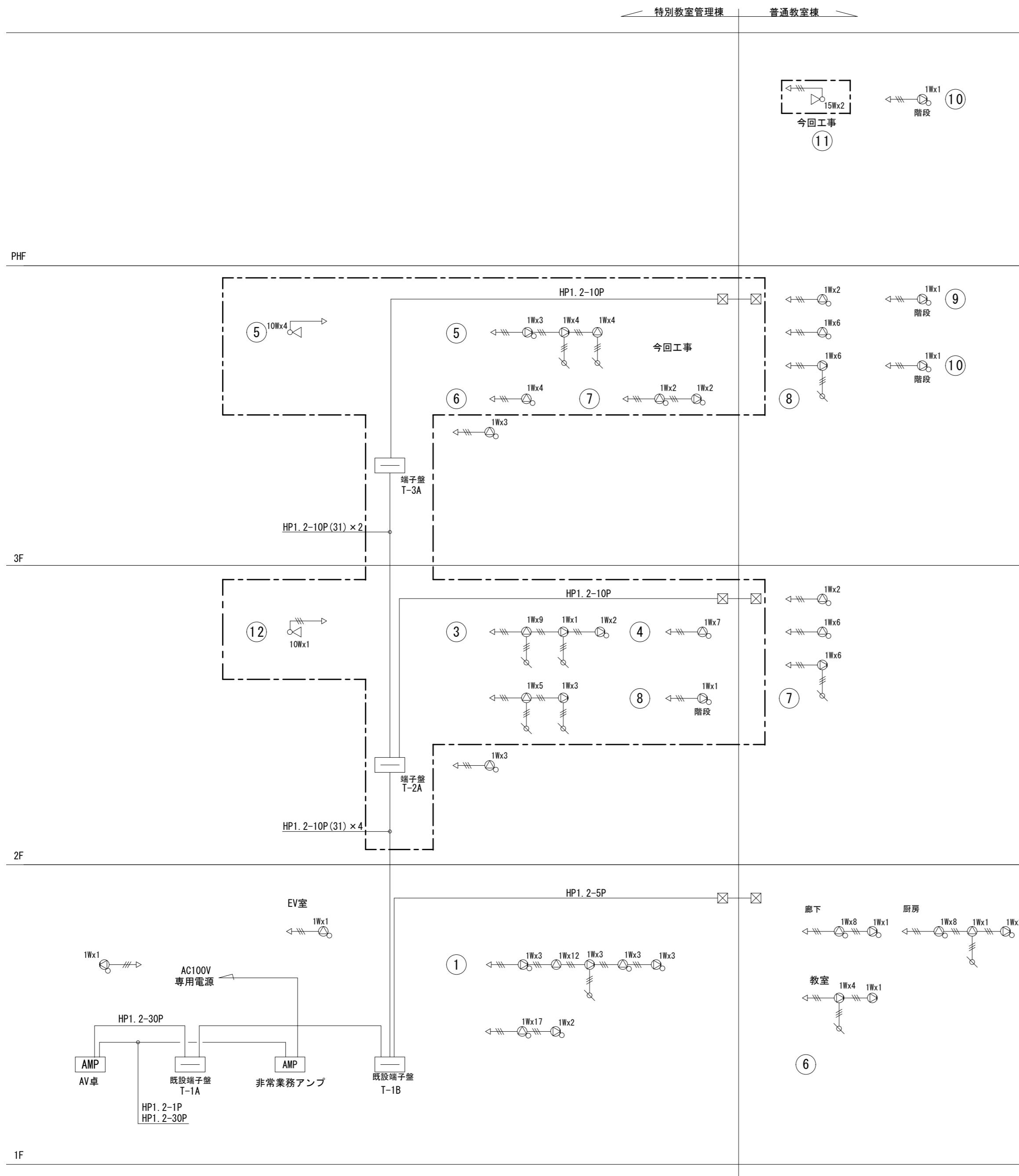


改修前



改修後





非常放送回路番号表

番号	名 称
1	西棟 1階 教室・廊下
2	西棟 2階 教室・廊下
3	西棟 3階 教室・廊下
4	西棟 階段
5	体育館
6	北棟 1階 教室・廊下
7	北棟 2階 教室・廊下
8	北棟 3階 教室・廊下
9	北棟 東階段
10	北棟 西階段
11	運動場
12	外部非常階段
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

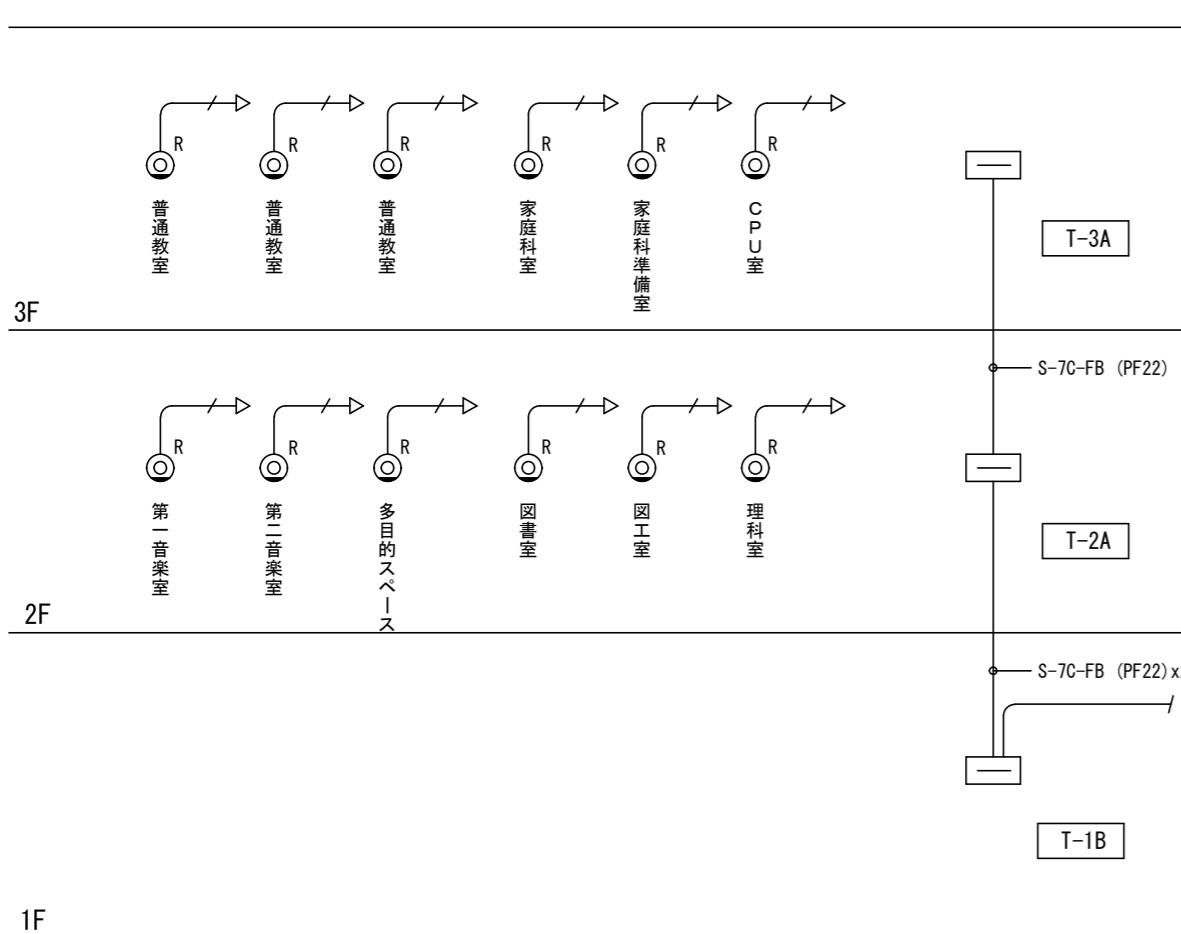
一般放送回路番号表

番号	名 称
1	西棟 1階
2	西棟 2階
3	西棟 3階
4	北棟 1階
5	北棟 2階
6	北棟 3階
7	体育館
8	屋上
9	
10	

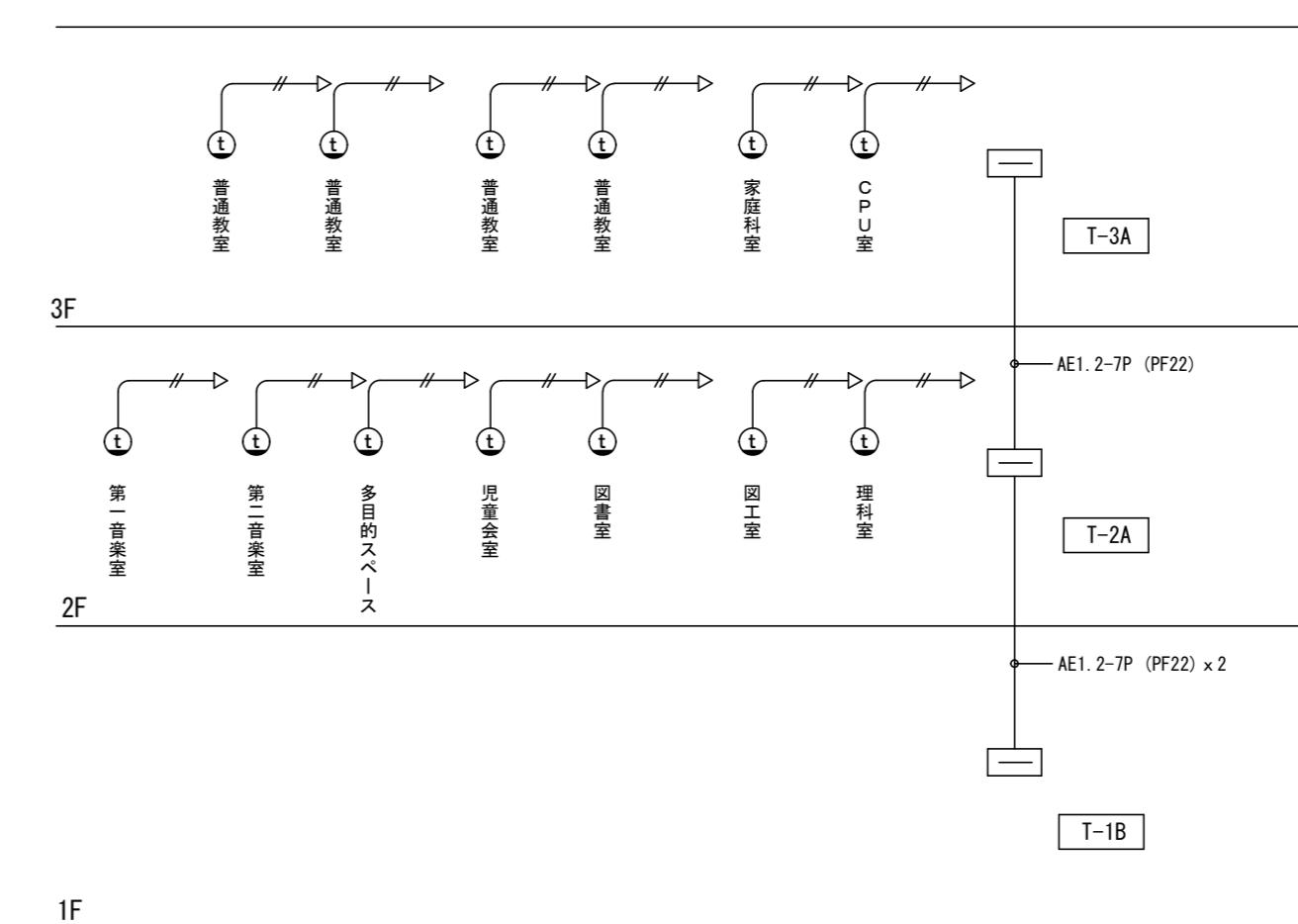
放送区域 スピーカー名称・容量	特別教室管理棟	普通教室棟	計	入力容量計
スピーカー 1W	92	56	148	1W × 148 = 148W
スピーカー 3W				
スピーカー 10W	6		6	10W × 6 = 60W
スピーカー 15W		2	2	15W × 2 = 30W
合計				238W

合計238Wで放送室の360W非常放送アンプに取替

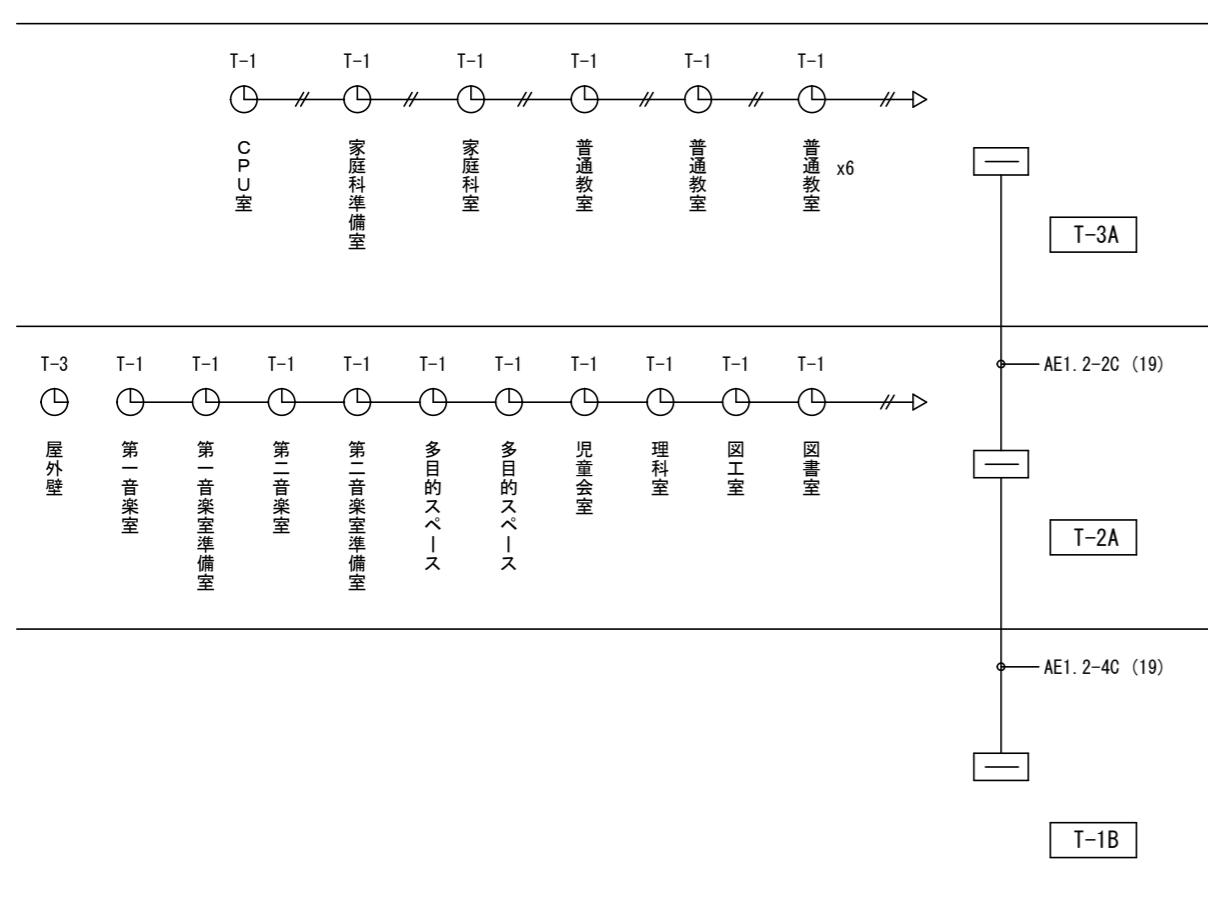
記号	名 称	備 考
Ⓐ	天井埋込型スピーカ	
Ⓑ	天井埋込型スピーカ	アッテネータ付
Ⓒ	壁掛型スピーカ	
Ⓓ	壁掛型スピーカ	アッテネータ付
Ⓔ	アッテネータ	
Ⓕ	ホーンスピーカ	
Ⓖ	ブルボックス	
Ⓗ	端子盤	



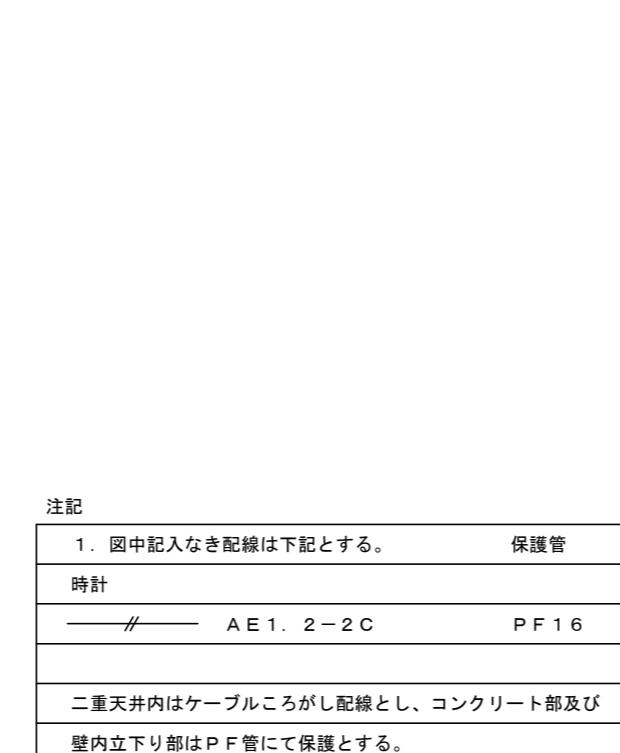
テレビ共聴設備系統図



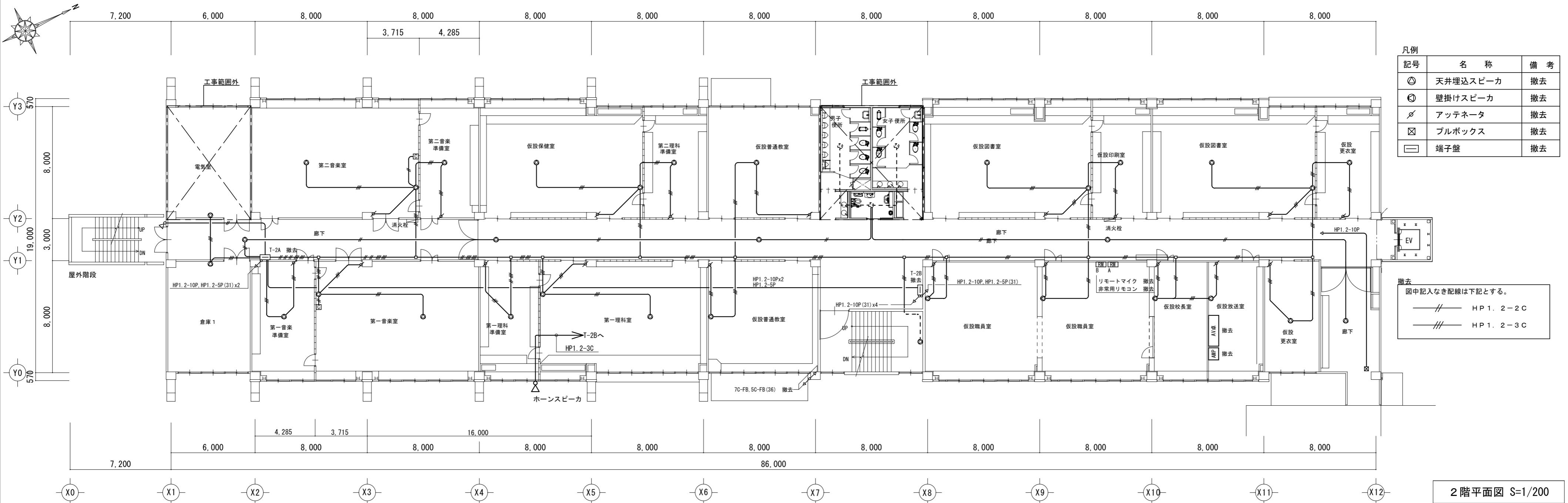
インターホン設備系統図



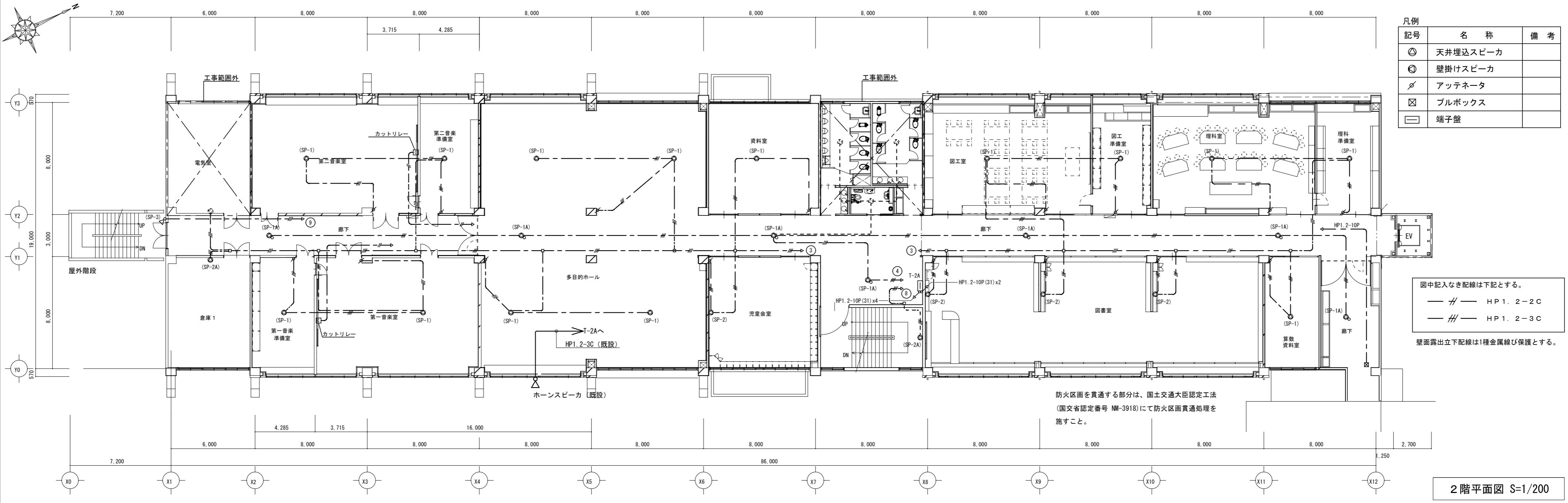
電氣時計設備系統図



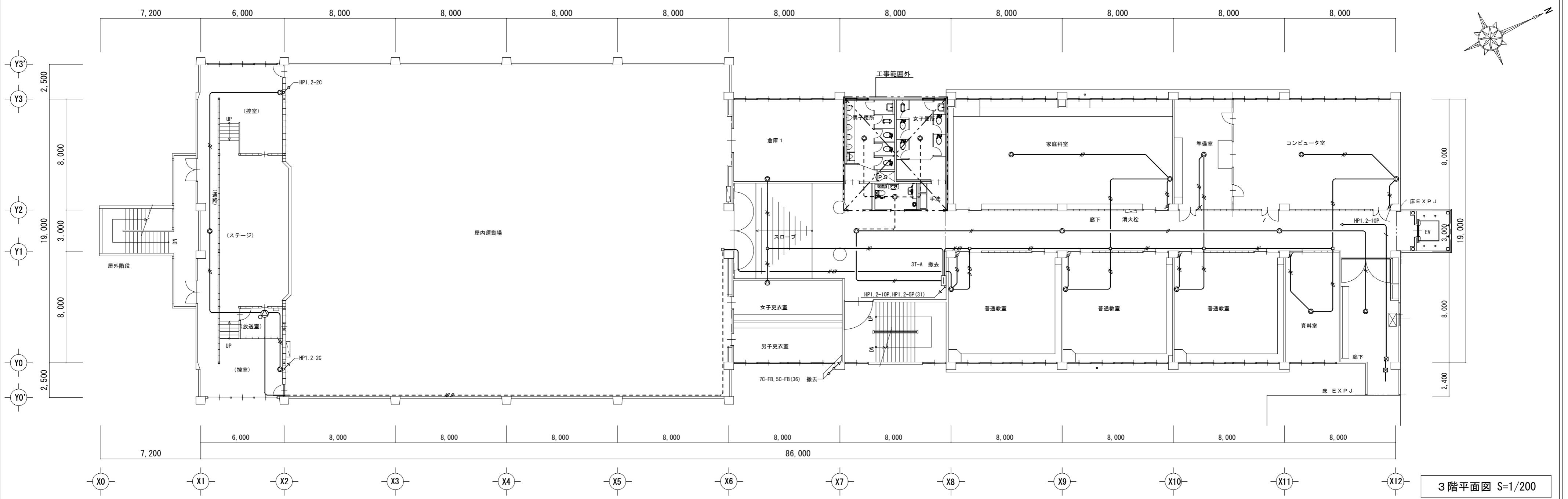
改修前



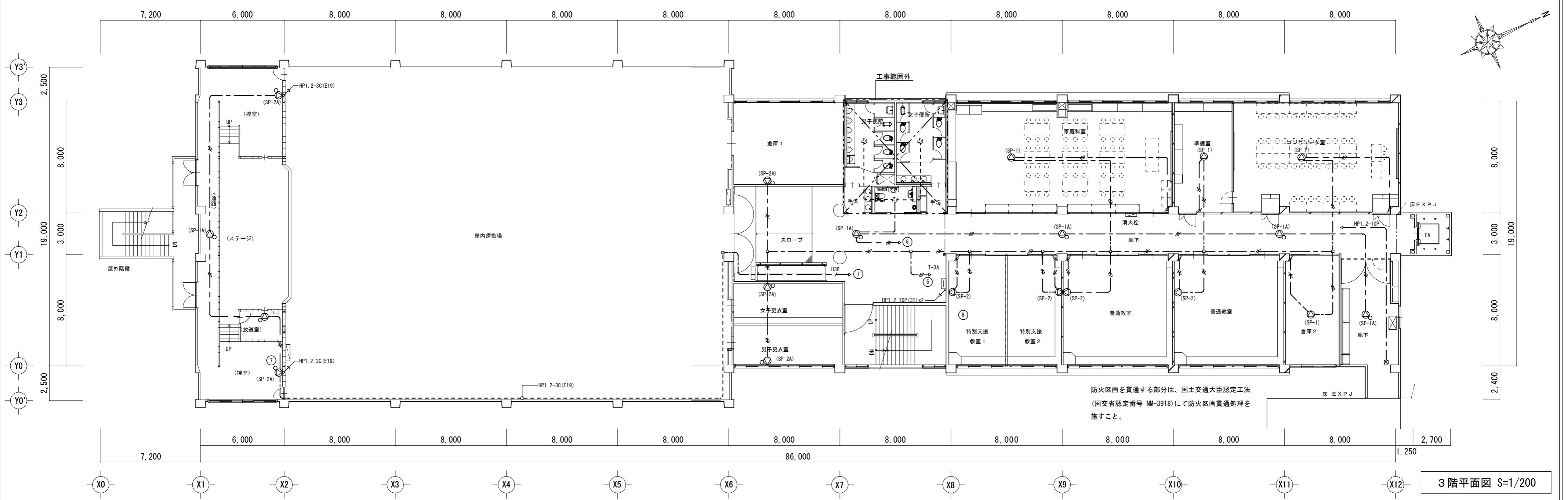
改修後



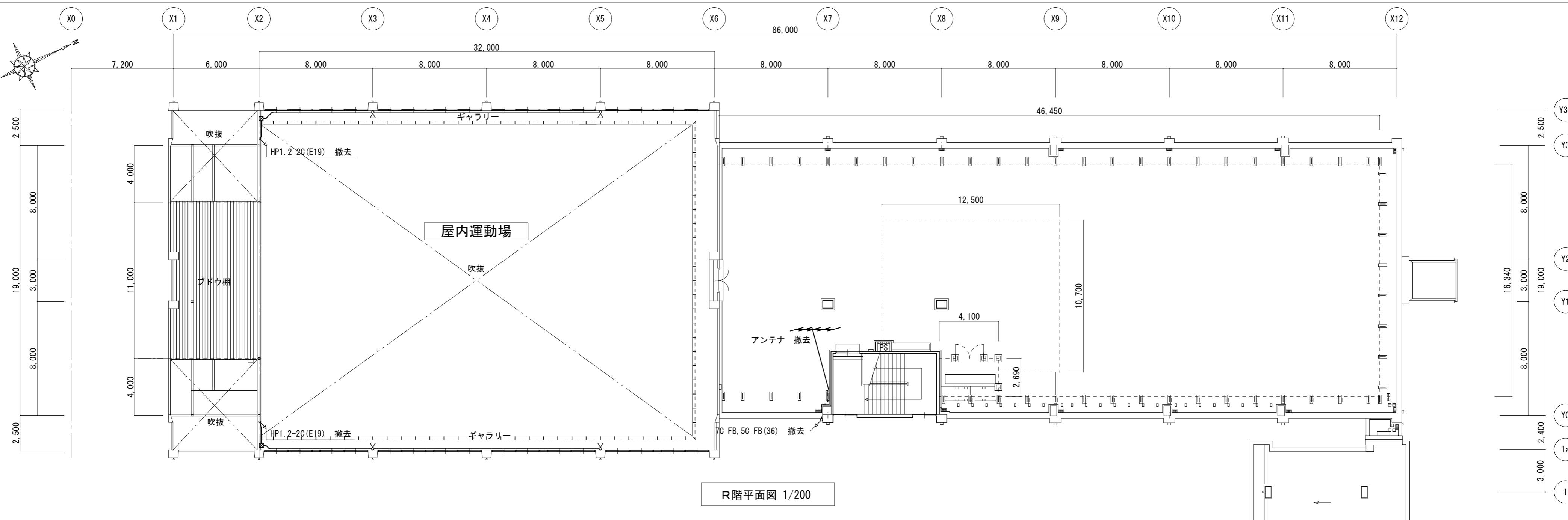
改修前



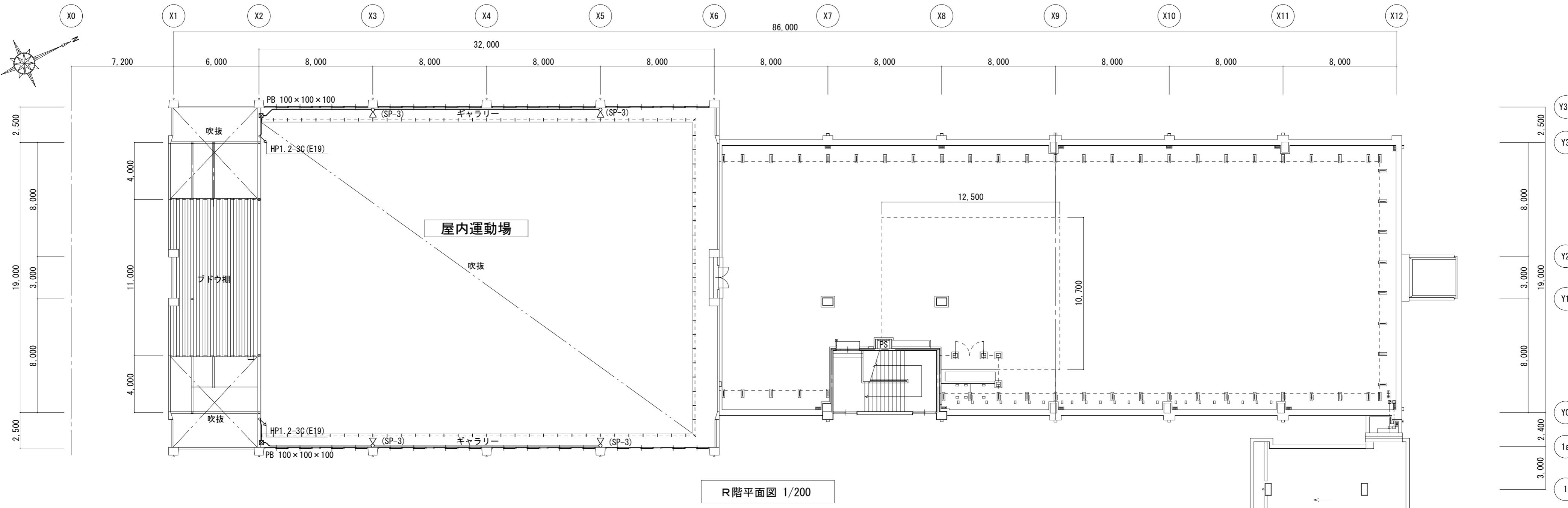
改修後



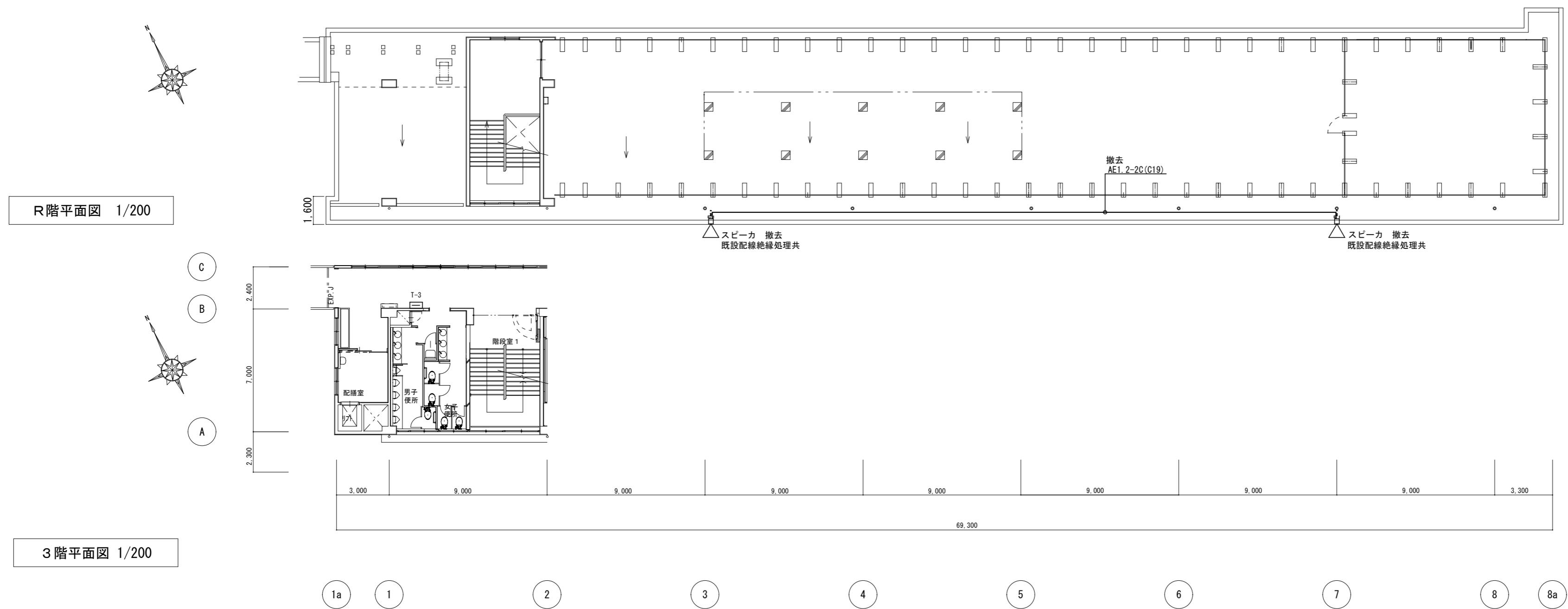
改修前



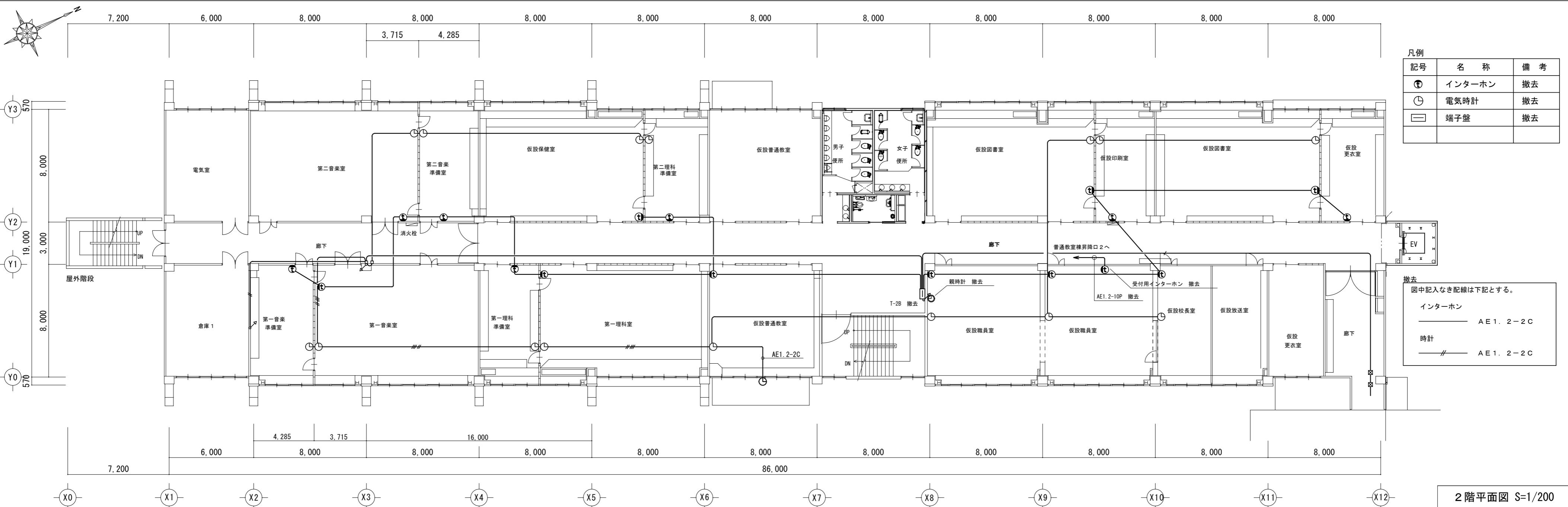
改修後



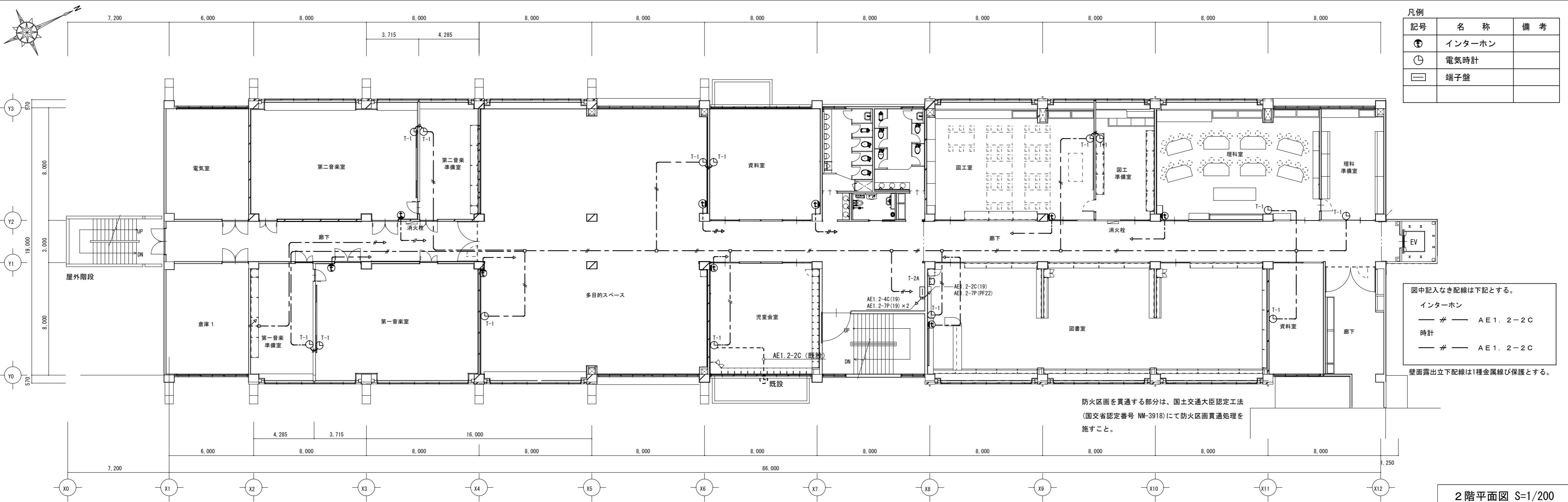
改修前



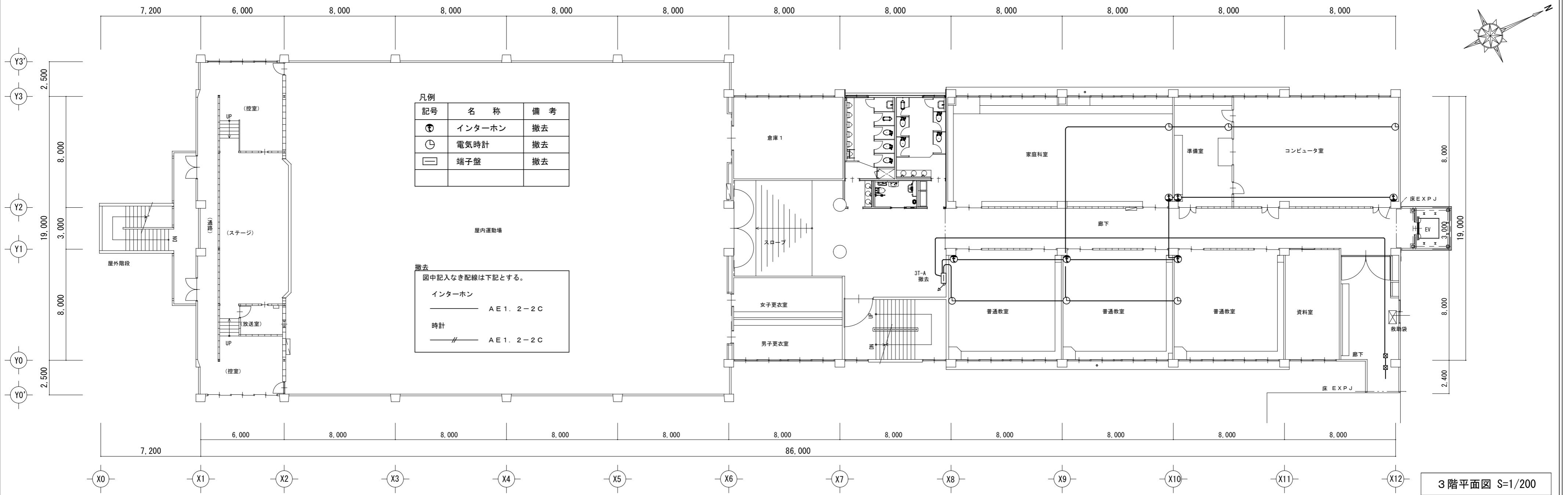
改修前



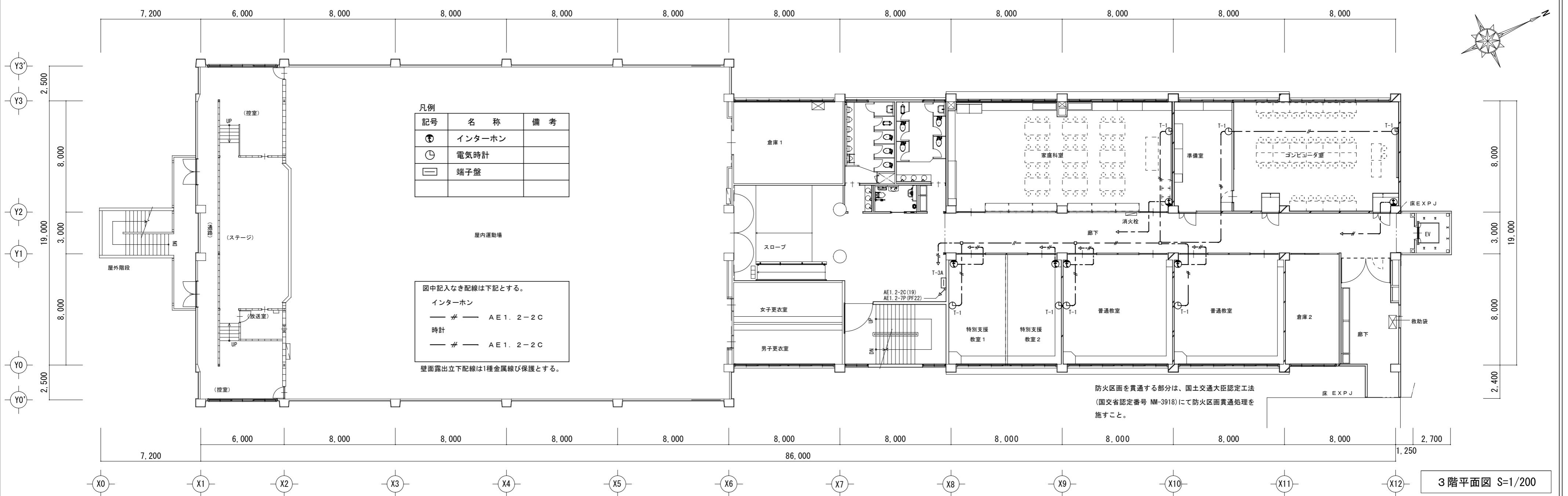
改修後



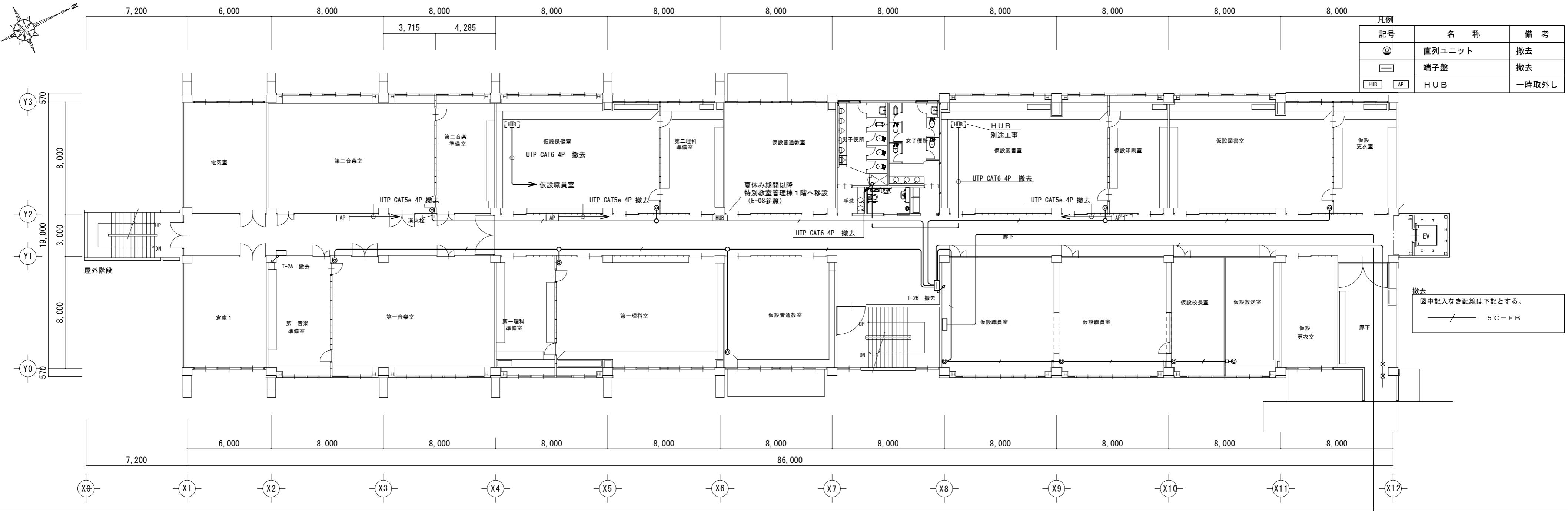
改修前



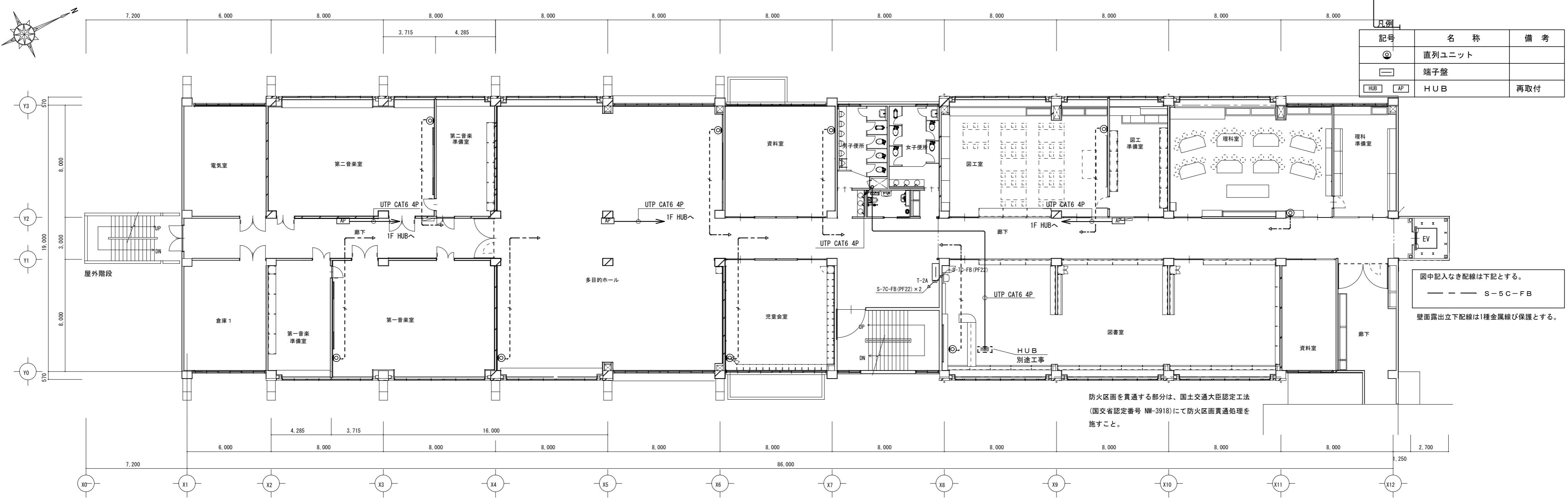
改修後



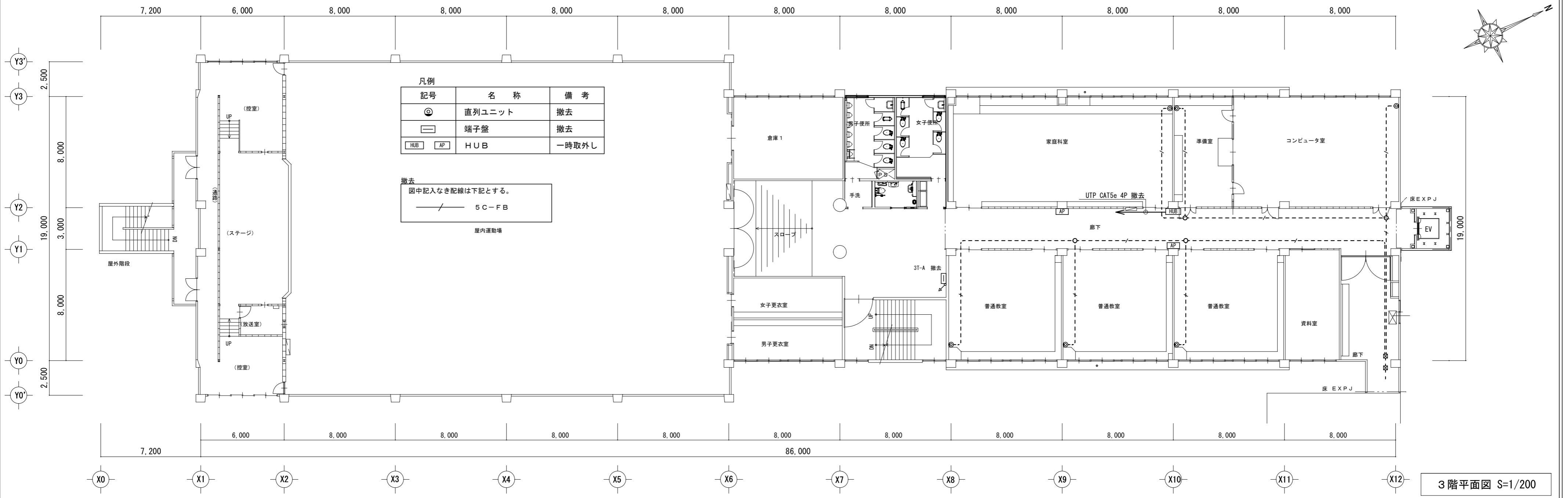
改修前



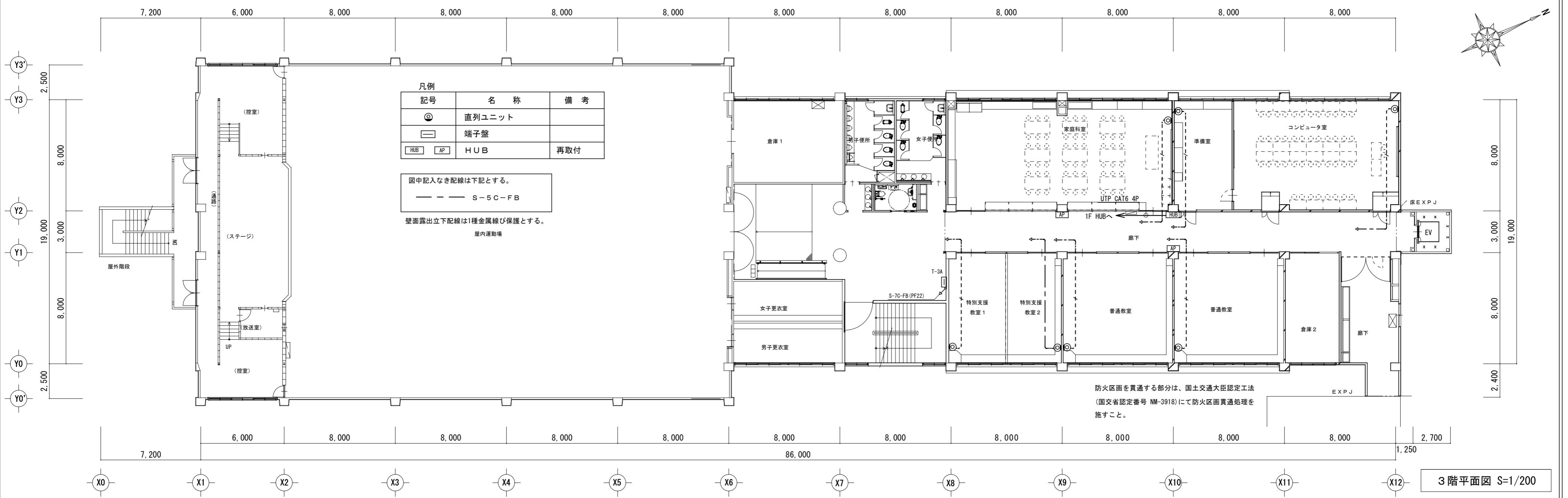
改修後

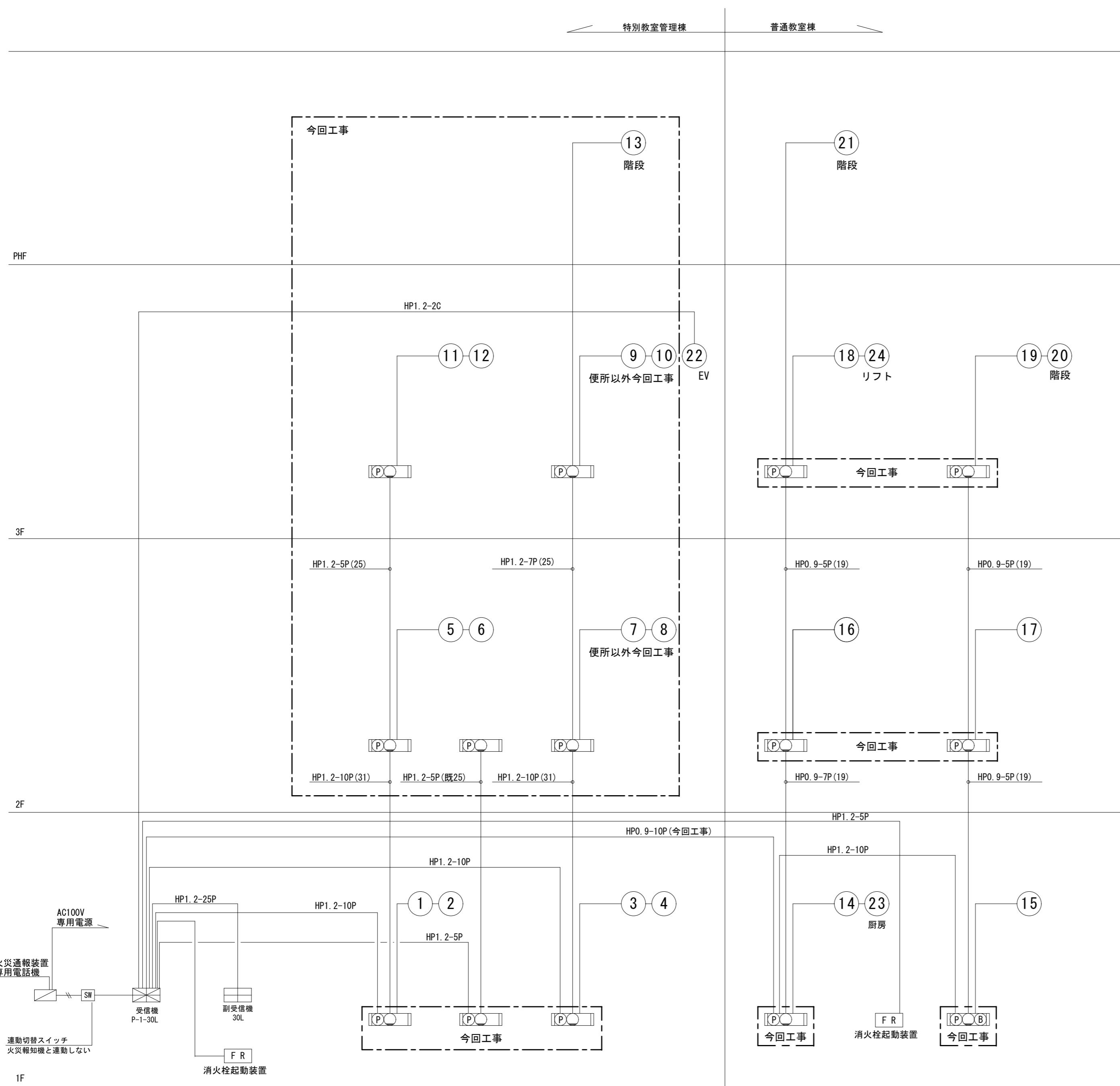


改修前



改修後





自動火災報知設備系統図

防災アンプと自火報連動し、既設ベルは撤去のこと。
表示灯は、消火ポンプ起動時はフリッカすること。
表示灯の電源は、屋内消火栓ポンプより供給すること。

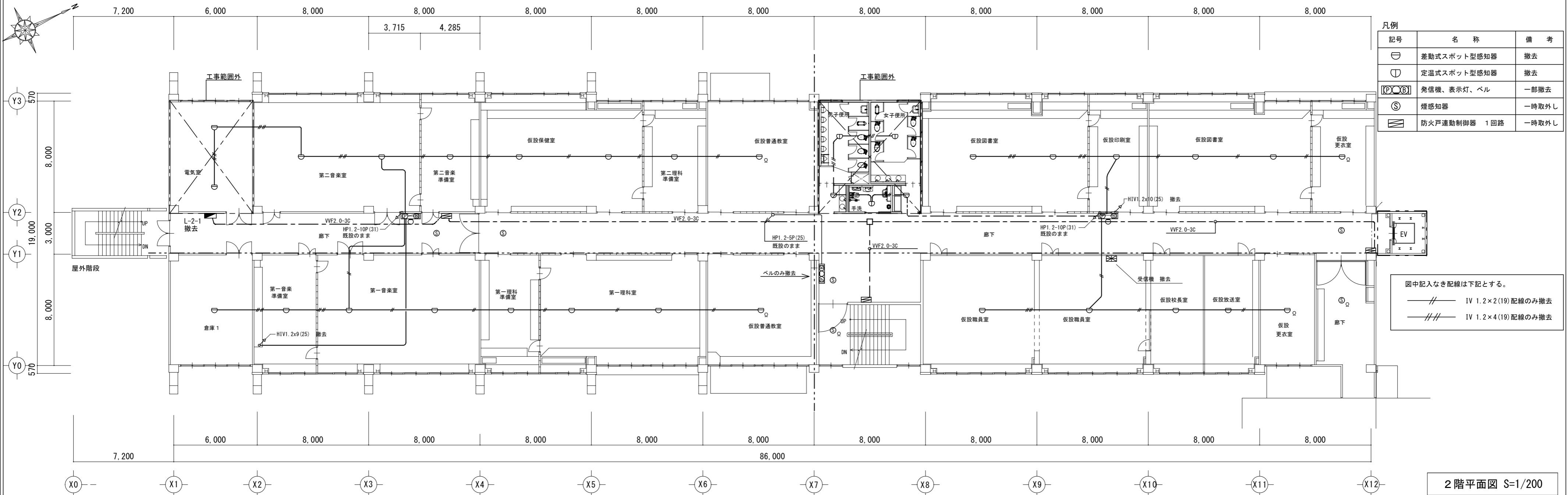
凡 例 表

記号	名称	備考
	受信機 P型 1級 30窓（既設）	壁掛型
	副受信機 30回線（既設）	
	消火栓組込	
(P)	P型1級発信機	
	表示灯	
	煙感知器 2種	
	差動式スポット型感知器 2種	
	定温式スポット型感知器 1種防水	
	定温式スポット型感知器 特種	
	終端抵抗器	
	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
	警戒区域番号	

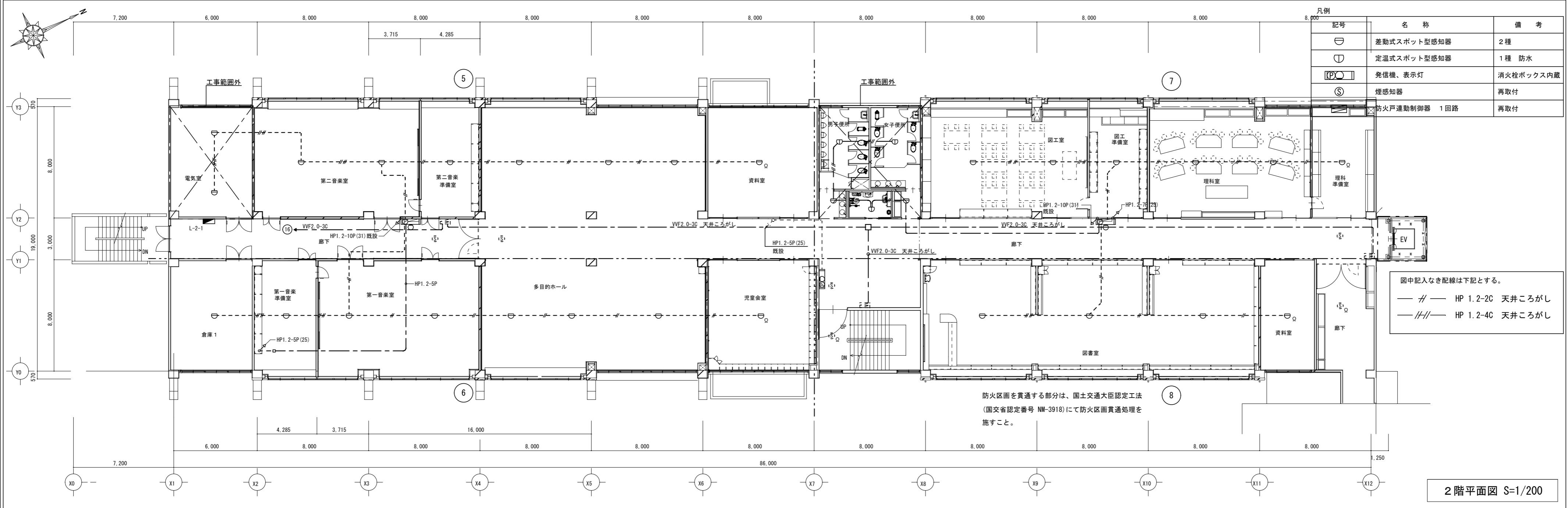
P型1級30窓 受信機警 戒区域一覽表

番号	名 称		
1	西校舎	1階	南西
2	西校舎	1階	南東
3	西校舎	1階	北西
4	西校舎	1階	北東
5	西校舎	2階	南西
6	西校舎	2階	南東
7	西校舎	2階	北西
8	西校舎	2階	北東
9	西校舎	3階	北西
10	西校舎	3階	北東
11	体育館	南	
12	体育館	北	
13	西校舎	階段	
14	北校舎	1階	東
15	北校舎	1階	西
番号	名 称		
16	北校舎	2階	東
17	北校舎	2階	西
18	北校舎	3階	東
19	北校舎	3階	西
20	北校舎	東階段	
21	北校舎	西階段	
22	特別教室管理棟 EV		
23	普通教室棟 厨房		
24	北校舎	リフト	
25			
26			
27			
28			
29			
30			

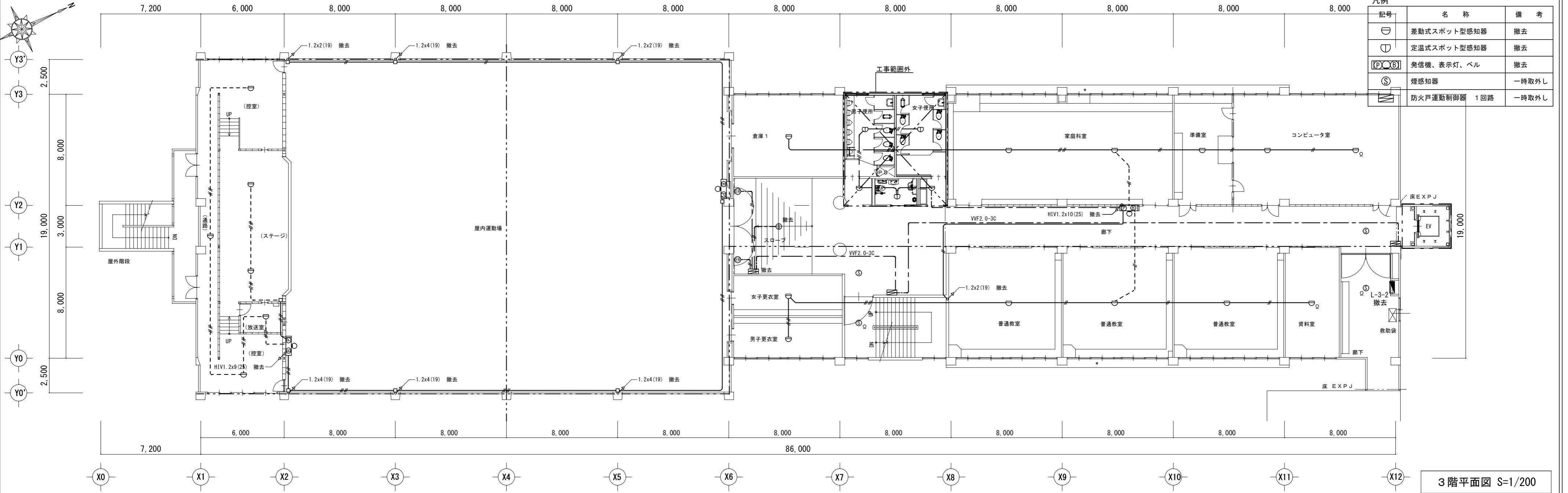
改修前



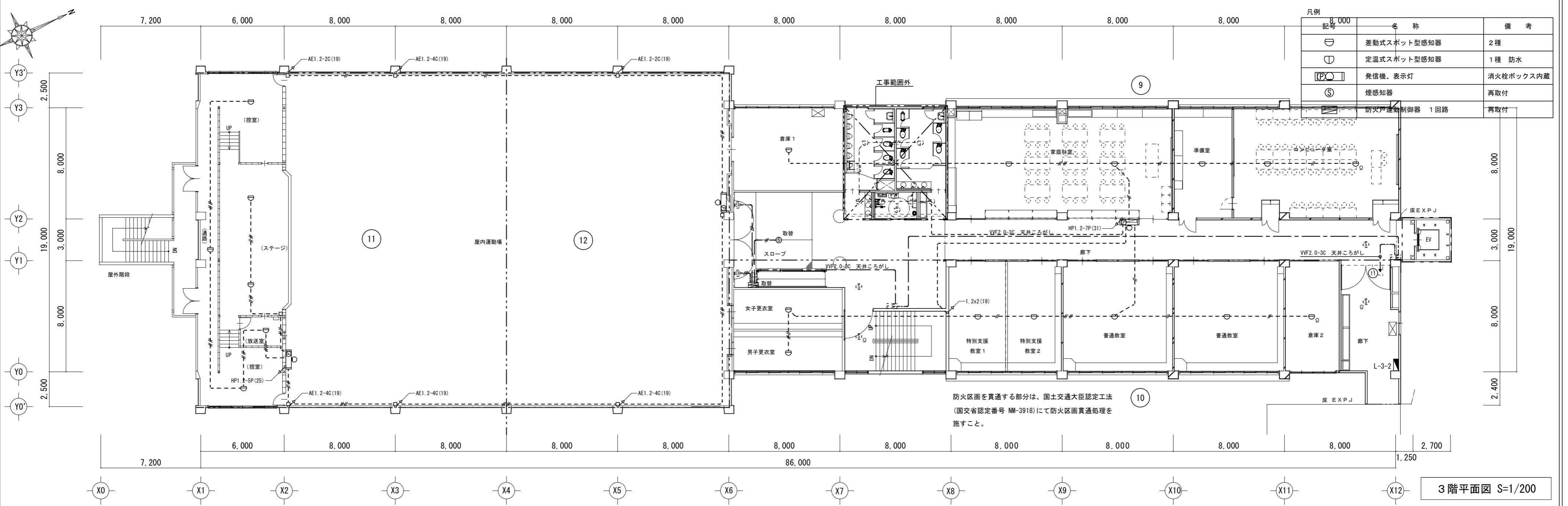
改修後



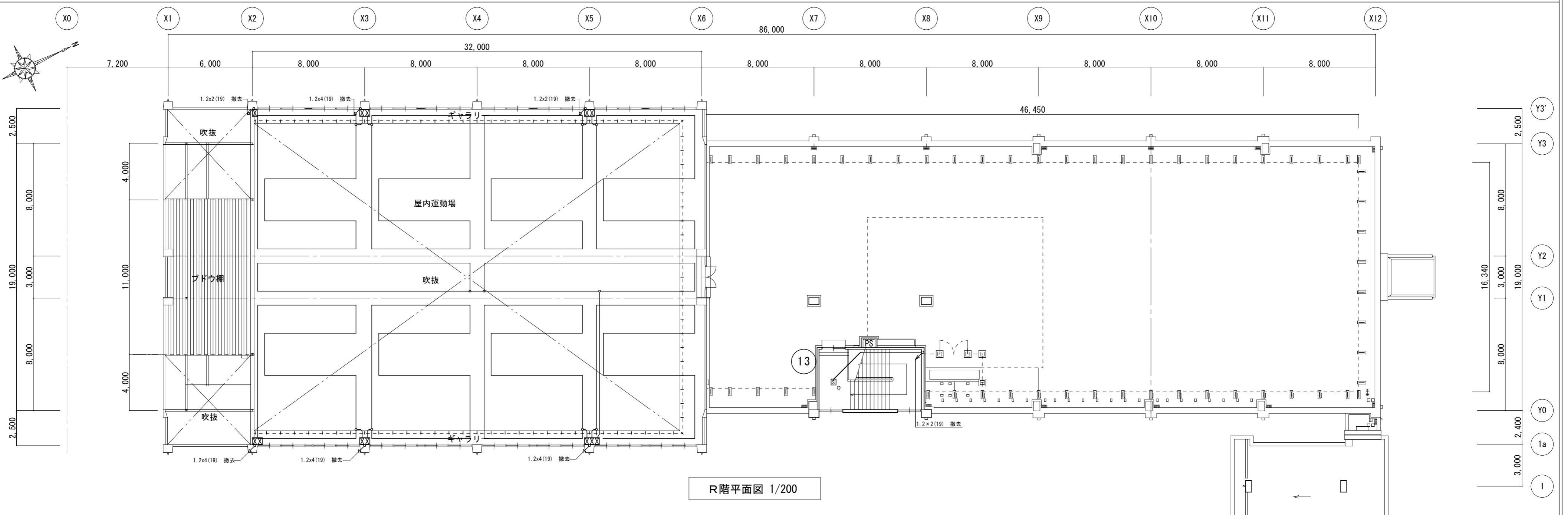
改修前



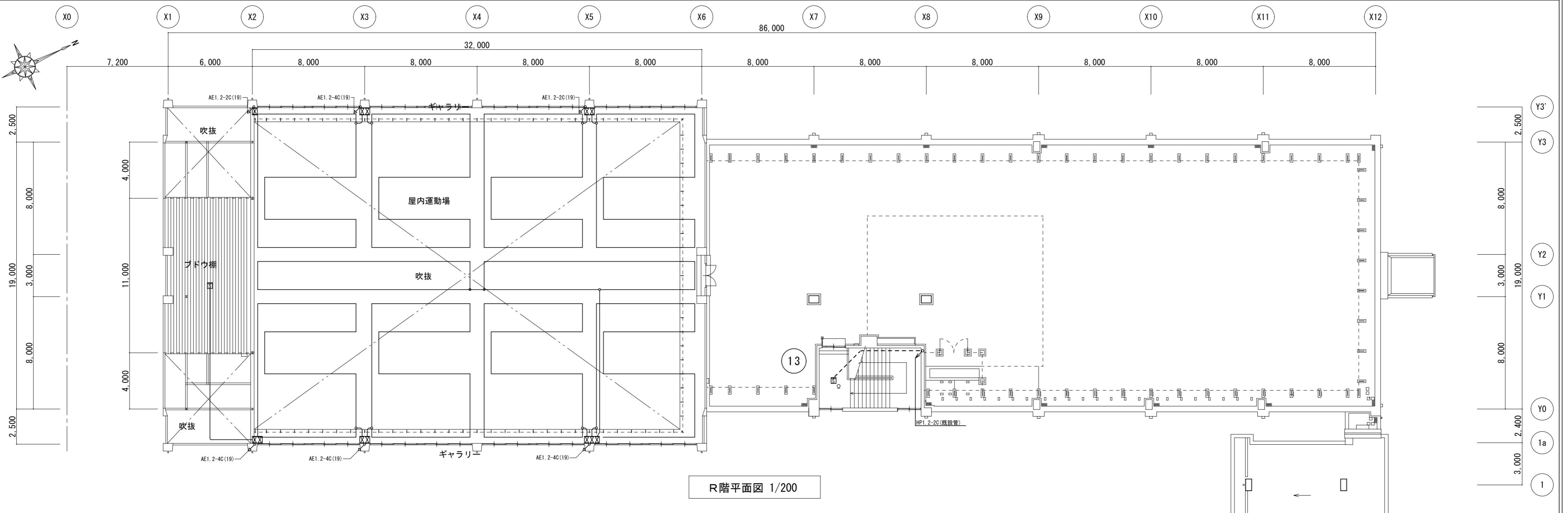
改修後



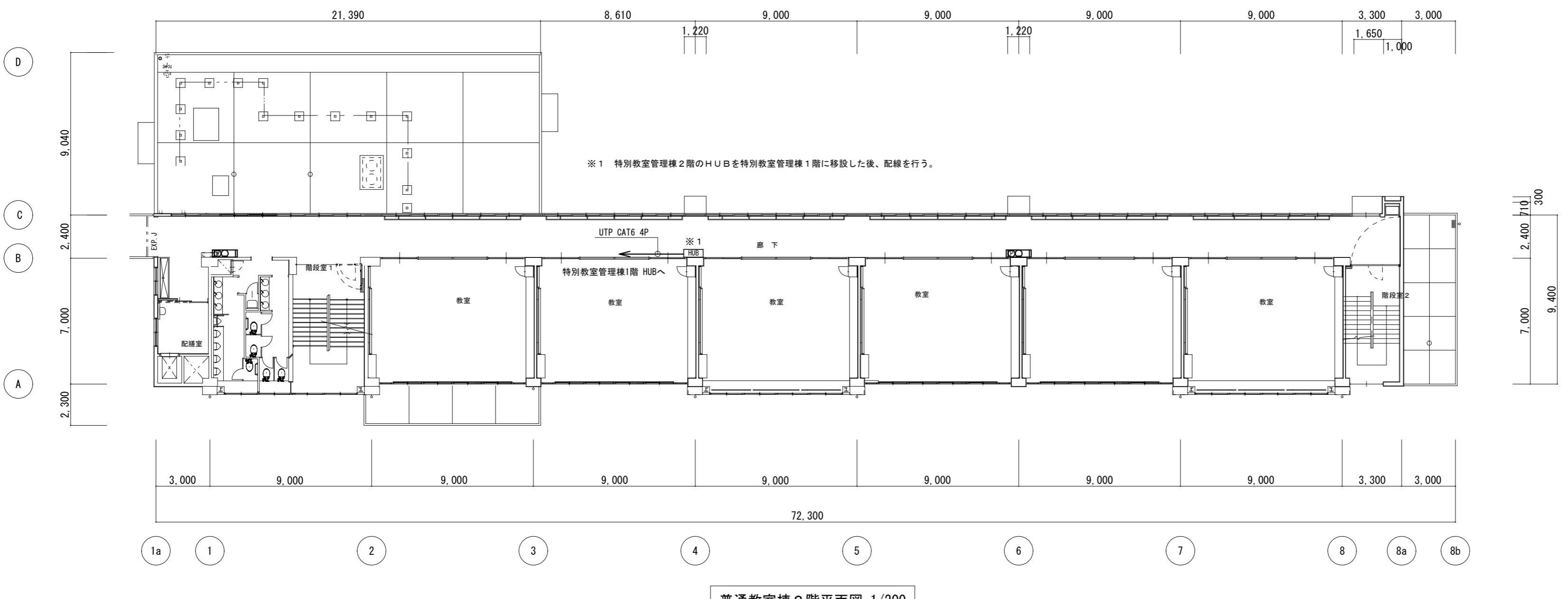
改修前



改修後

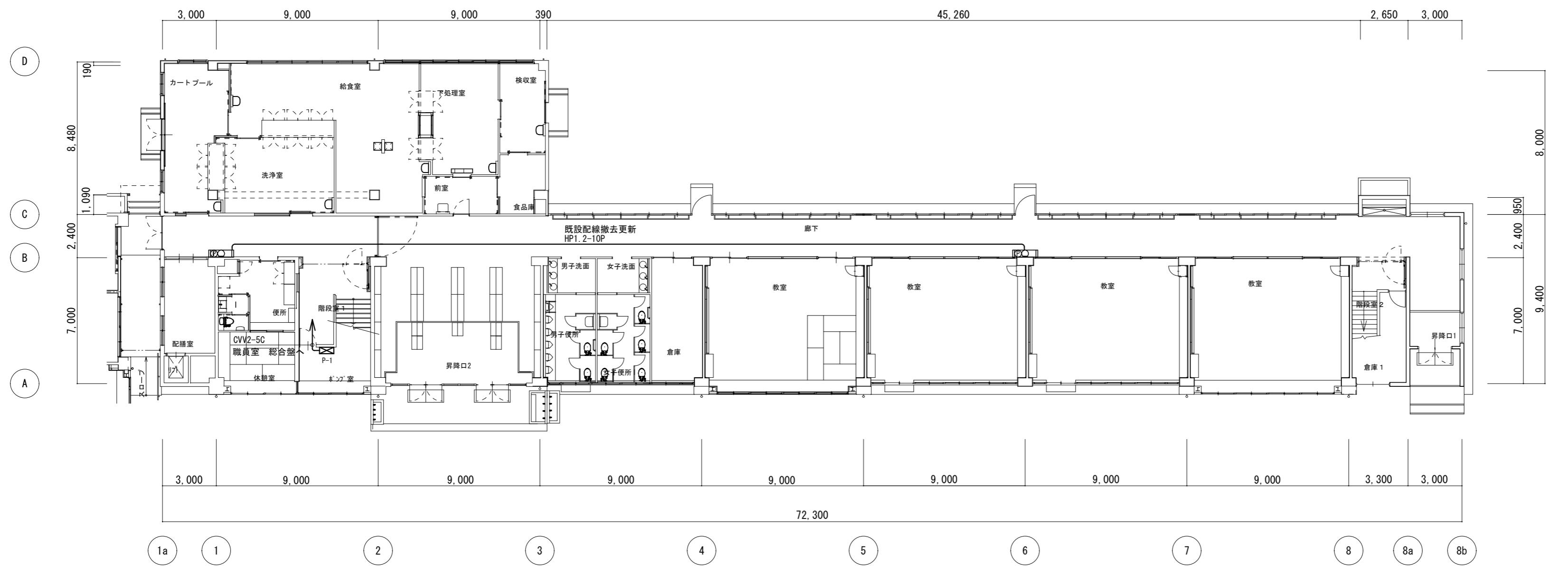


普通教室棟 2 階



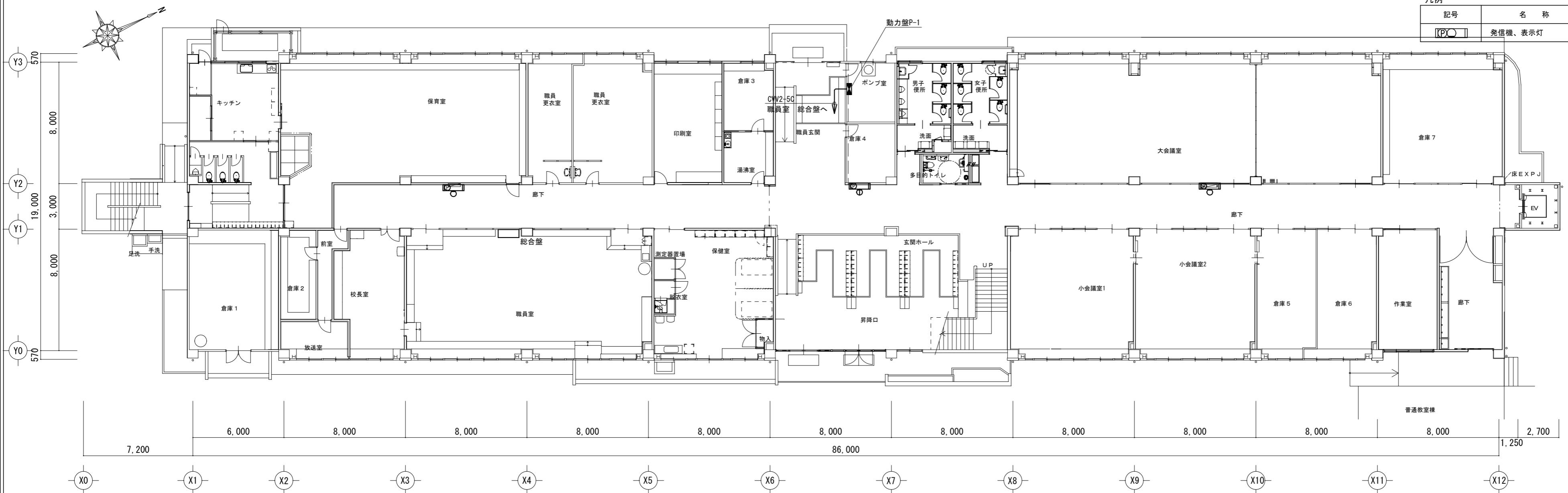
普通教室棟 2 階平面図 1/200

普通教室棟 1 階

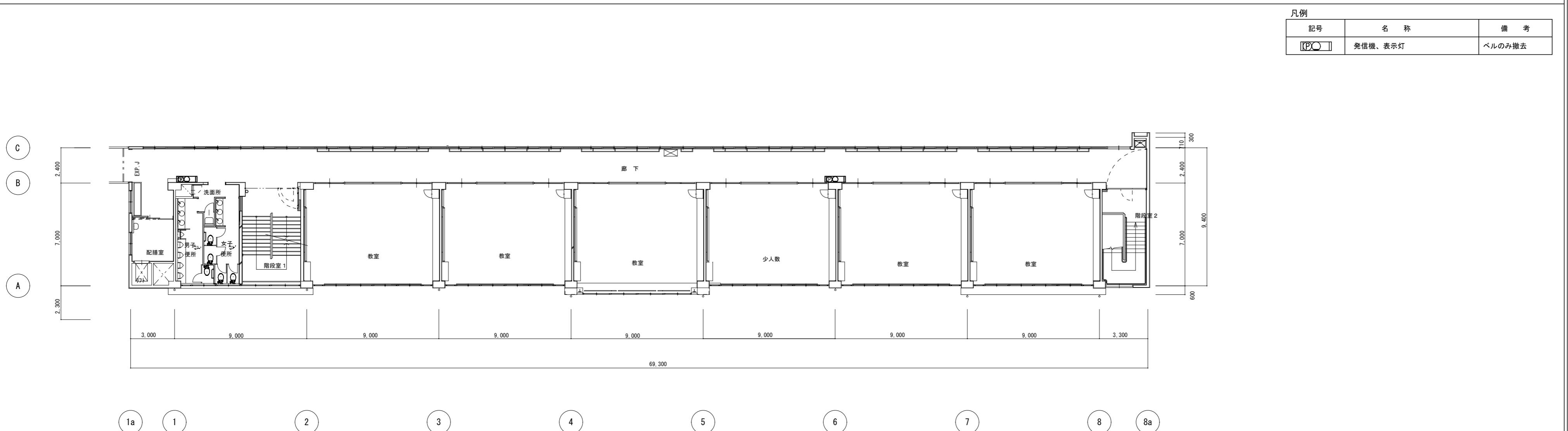


普通教室棟 1 階平面図 1/200

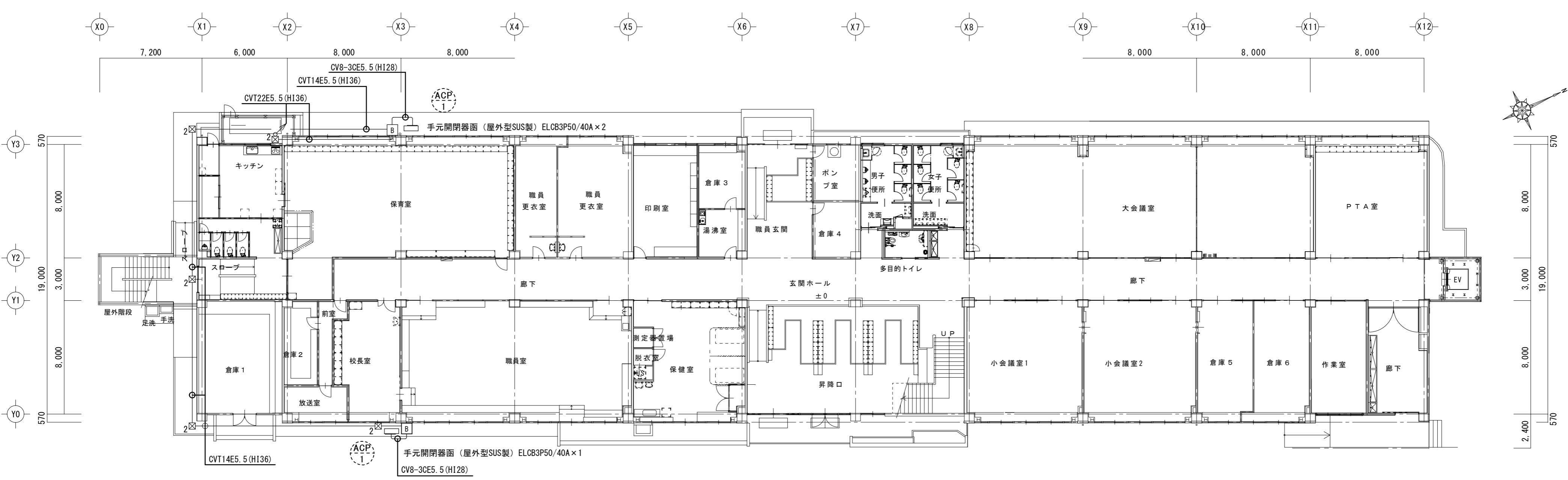
特別教室管理棟 1階



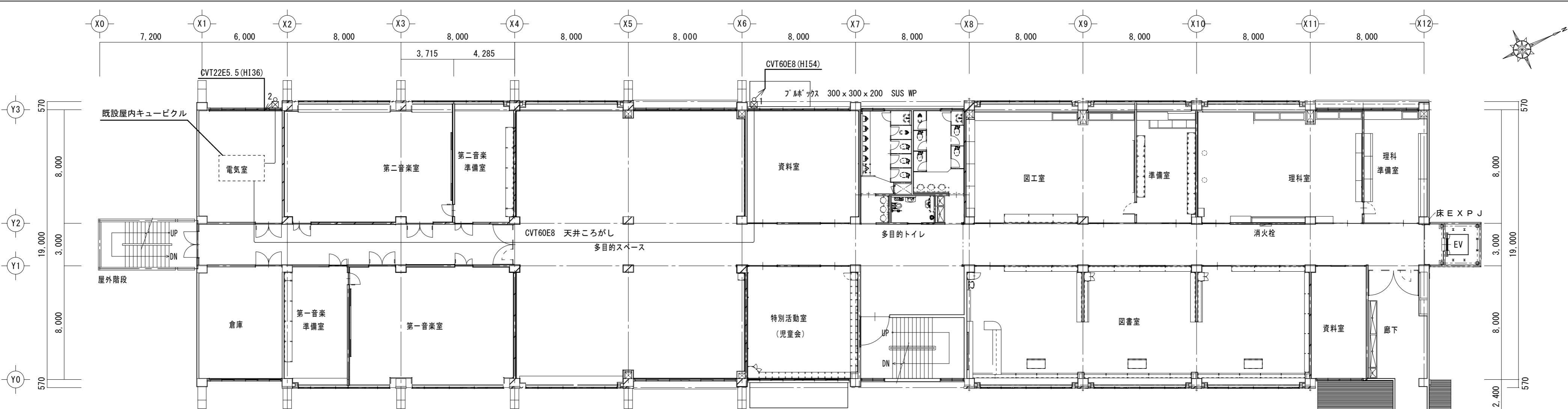
普通教室棟 3階



1階平面図 1/200



2階平面図 1/200

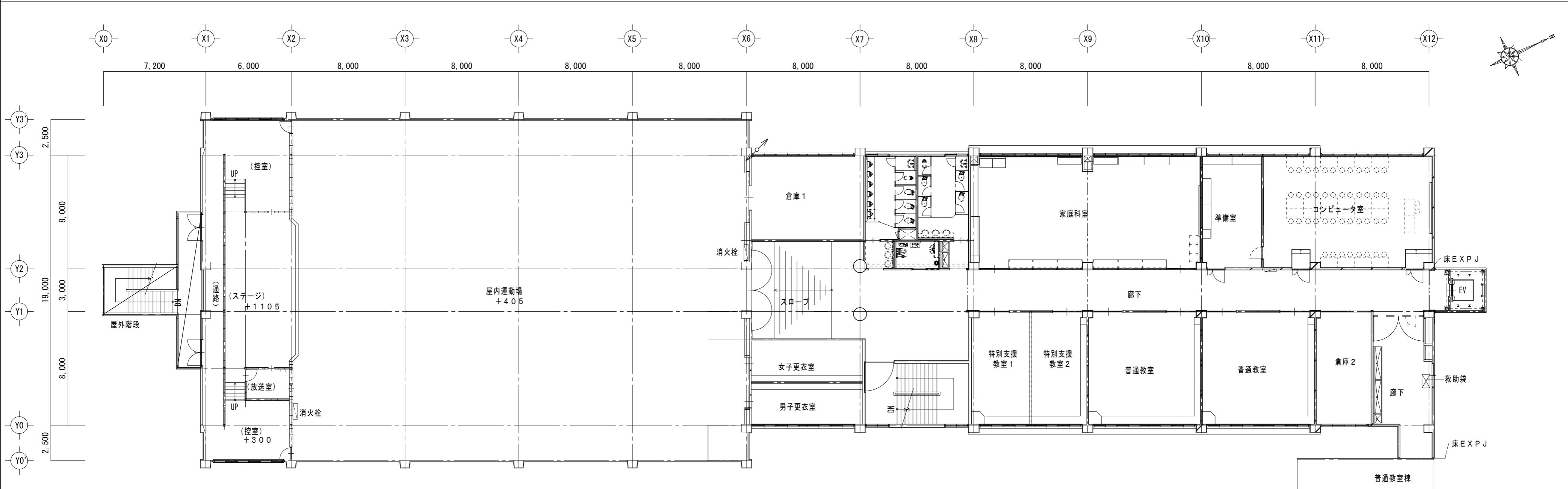


(凡例)

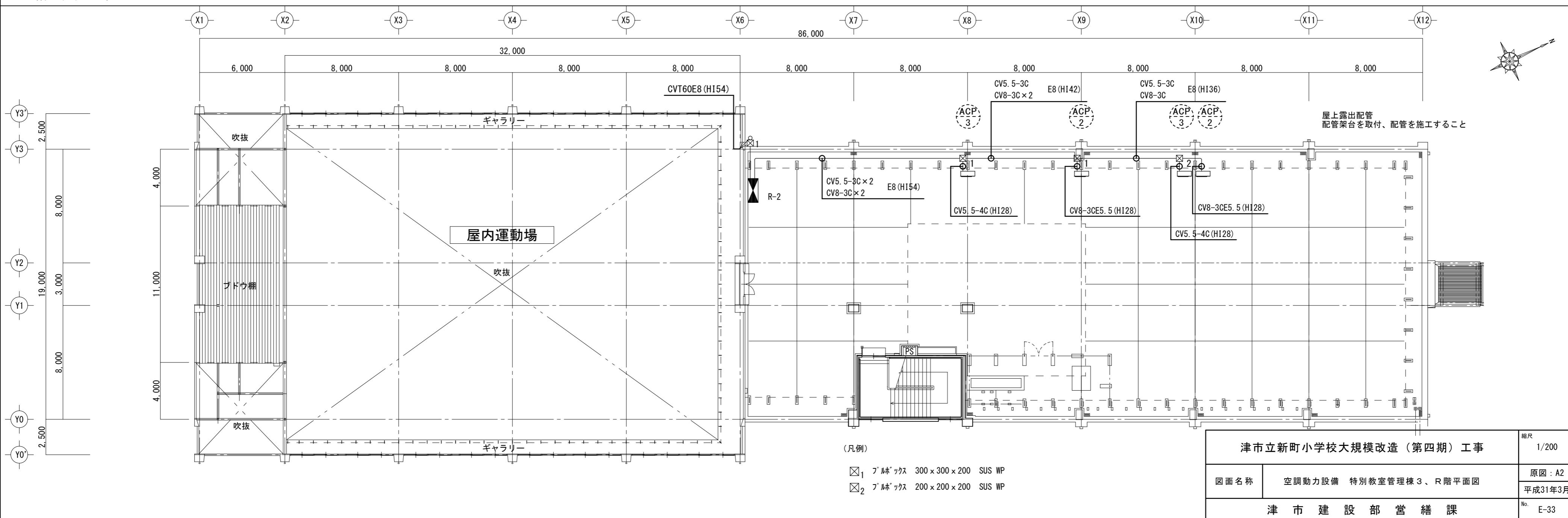
□1 フルボックス 300×300×200 SUS WP
 □2 フルボックス 200×200×200 SUS WP

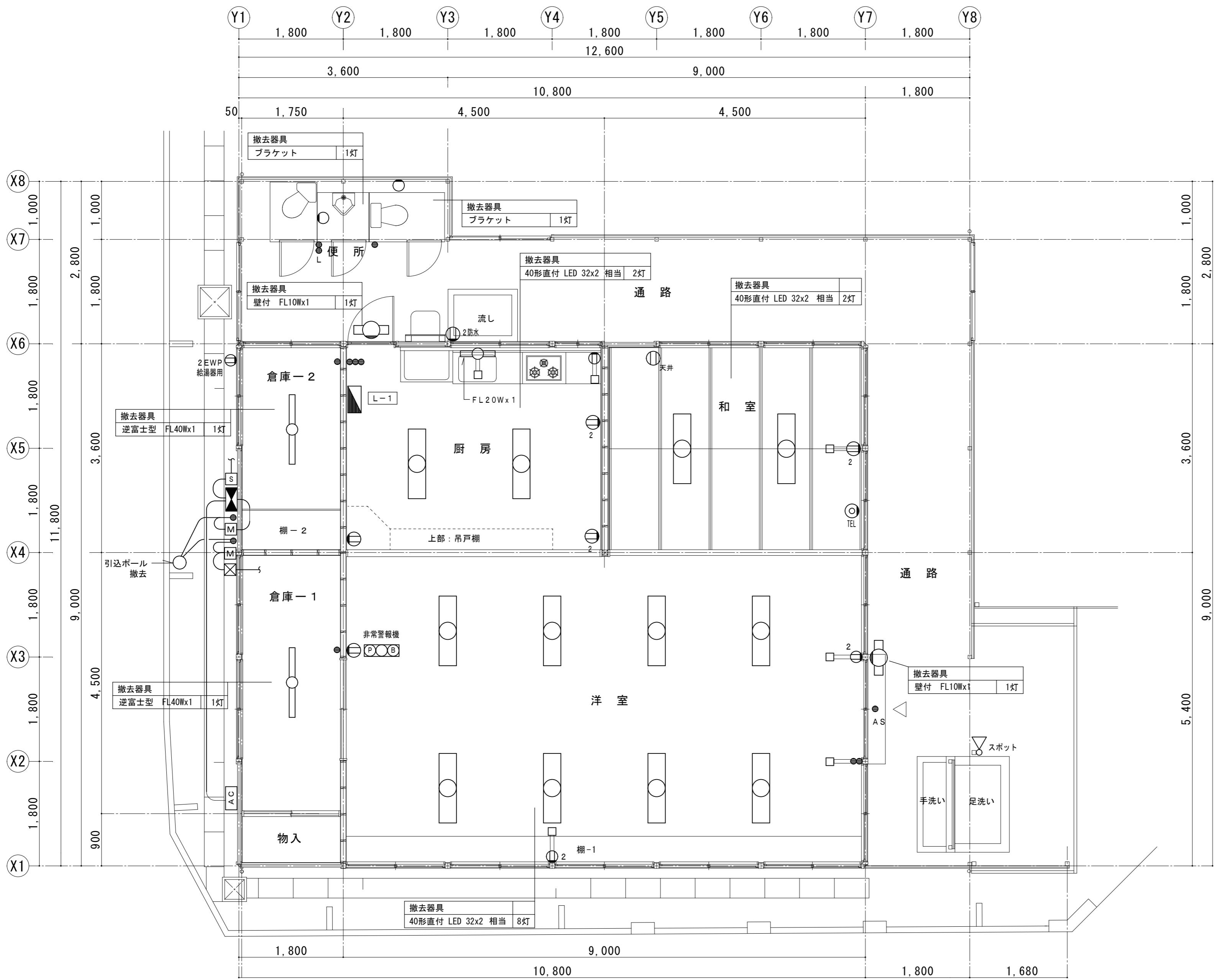
津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事		縮尺 1/200
図面名称	空調動力設備 特別教室管理棟1、2階平面図	
		原図：A2 平成31年3月

3階平面図 1/200



R階平面図 1/200





参考

平面図 1:50 ※配管及び配線は可能な限り分別し、撤去とする。

機械設備工事特記仕様書		(11) 発生材の処理等 ■建設工事に準じる		(23) その他		工事細目	
1 工事名称	津市立新町小学校大規模改修（第四期）工事	1) 引渡しを要するもの ()	1) 使用機械	9 (1) 配管材料	部分的に配管種類を変更する場合は、図面内に明記すること。		
2 工事場所	津市 八町三丁目 地内	2) 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。	2) 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。	■ 水管	■ 水道用硬質塩化ビニルライニング钢管 JWHA K116 (一般: SGP-VB 地中: SGP-VD)		
3 建造概要	消施令の適用 7 項	3) 特別管理産業廃棄物 ()	3) 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。	■ フランジ付硬質塩化ビニルライニング钢管 WSP 011 (一般: SGP-FVA, FVB 地中: SGP-FVD)			
4 通用基準	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による	4) 処理方法 ()	4) 測定機器の校正記録	※ 繋ぎ手はコアラ型とします。			
	国交省大官房官庁舎総務部監修	5) 現場内において再利用を図るもの □ 発生土 □ その他 ()	5) 測定に立ち使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。	※ 繋ぎ手は100Aはね又はフランジ接合、125A以上は			
	「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」	6) 再資源化を図るもの (□ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊)	6) フランジ接合（工場加工）とする。	■ フランジ接合 (工場加工) とする。			
	「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」	7) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものについても書を作成し、監督員へ提出すること。	7) 繋ぎ手は100Aはね又はフランジ接合、125A以上は	■ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742 (一般: 地上: H1VP)			
	「公共建築設備工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」	8) 引渡しを要しないもの、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に	8) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JWHA G 115 水道用ステンレス鋼管 JWHA G 3448				
	「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」	9) 関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。(※付録B、Dを提出すること。)	9) 地埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。				
5 一般事項	下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 ■印のついたものを適用する。	(12) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない	(13) 施工条件				
	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ確実に施工すること。	1) 施工可能日 □ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし	監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。				
	設計図面に定められた内容、現場の納期・取引台帳等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図面とおりに施工することで将来不具合が発生する場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とおりの施工であっても上記の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。	2) 施工可能時間帯 □ 指定なし □ 指定あり (時 ~ 時)	工事の施工に当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び処理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。				
	他工事の取り合いで、必ず当工事関係者にて協議し、円滑な工事進捗に努めるところ。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。	(14) 構成工期	10) フロン回収及び充填				
	1) 提出図書 ■建設工事に準じる	1) 発生材の処理等 ■建設工事に準じる	1) フロン回収及び充填				
	1) 工事書類 : 施工計画書・施工要領・施工用図・機器使用票・機器明細図・工程表・施工図等	2) 工事完成図書 : 品質確認書類・工事日報・安全・訓練実施記録・竣工報告書(4部原寸、A3(見開き)2部)・機器完結図(ファイル等)部)・保守に関する説明書(取扱説明書・保証書)2部	2) フロン回収及び充填				
	2) 工事完成図書 : 品質確認書類・工事日報・安全・訓練実施記録・竣工報告書(4部原寸、A3(見開き)2部)・機器完結図(ファイル等)部)・保守に関する説明書(取扱説明書・保証書)2部	3) 建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態まで完了していること。 ■ 指定なし □ 指定あり (平成 年 月 日)	3) フロン回収及び充填				
	(15) 仮設工事	4) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない	4) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない				
	構内既存の施設 ■建設工事に準じる	5) 施工条件	5) 施工条件				
	1) 便所 □ 利用できる □ 利用できない	1) 施工可能日 □ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし	1) 施工可能日 □ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし	6 工事種目	給排水衛生設備工事	■ 屋外排水設備工事	■ 屋外排水設備工事
	2) 工事用水 □ 利用できる(有償) □ 利用できる(無償) □ 利用できない	2) 施工可能時間帯 □ 指定なし □ 指定あり (時 ~ 時)	2) 施工可能時間帯 □ 指定なし □ 指定あり (時 ~ 時)		■ 屋内給水設備工事	■ 衛生器具設備工事	■ 消火設備工事
	3) 工事用電力 □ 利用できる(有償) □ 利用できる(無償) □ 利用できない	3) 防護シート等による養生 □ 適用する □ 適用しない	3) 防護シート等による養生 □ 適用する □ 適用しない		■ 給湯設備工事	■ 屋内ガス設備工事	■ 屋内ガス設備工事
	※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料	4) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない	4) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない		■ 淨化槽設備工事	■ 機器設備工事	■ 换気設備工事
	5) 本工事に含まれる。	5) 施工条件	5) 施工条件				
	(16) 足場 ■建設工事に準じる	6) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない	6) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない				
	1) 内部足場 □ 脚立 □ 脚手架 □ 足場板	7) 工事概要	7) 工事概要	7	給排水衛生設備工事	■ 本工事は図示のごく量水器以降を工事範囲とし、受水槽、揚水ポンプ、高架水槽による重力給水方式により、所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10Kを使用する。	■ 本工事は図示のごく量水器以降を工事範囲とし、受水槽、揚水ポンプ、高架水槽による重力給水方式により、所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10Kを使用する。
	2) 外部足場 □ A種 □ B種 □ C種 □ D種 □ E種 □ F種	8) 防護シート等による養生	8) 防護シート等による養生		■ 本工事は、汚水、雑排水を合流方式とし、敷地内最終樹に至る配管、樹を勾配に十分留意し設置するものとする。	■ 本工事は、汚水、雑排水を合流方式とし、敷地内最終樹に至る配管、樹を勾配に十分留意し設置するものとする。	■ 本工事は、汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	3) 防護シート等による養生 □ 適用する □ 適用しない	9) 電気温水器	9) 電気温水器		■ 衛生器具設置工事	■ 衛生器具設置工事	■ 衛生器具設置工事
	※ 設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の性能を有する足場とし、足場の立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。	10) 建築材料等	10) 建築材料等		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	1) 便所 □ 利用できる □ 利用できない	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とするほか別記載の指定資材及び参考見本メーカー又はこれらと同等品以上とする。	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とするほか別記載の指定資材及び参考見本メーカー又はこれらと同等品以上とする。		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	2) 工事用水 □ 利用できる(有償) □ 利用できる(無償) □ 利用できない	2) 本工事に使用する建築材料等は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同品番以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律(グリーン購入法)を考慮し、再生品などの環境に優しい(環境物品)の検討に努める。	2) 本工事に使用する建築材料等は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同品番以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律(グリーン購入法)を考慮し、再生品などの環境に優しい(環境物品)の検討に努める。		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	3) 工事用電力 □ 利用できる(有償) □ 利用できる(無償) □ 利用できない	4) 電気温水器	4) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	4) 本工事に含まれる。	5) 本工事に含まれる。	5) 本工事に含まれる。		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	(17) 建築材料等	6) 電気温水器	6) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とするほか別記載の指定資材及び参考見本メーカー又はこれらと同等品以上とする。	7) 電気温水器	7) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	2) 品質が求められる水温以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。	8) 電気温水器	8) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	3) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。	9) 電気温水器	9) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	4) 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料	10) 電気温水器	10) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	5) 本工事に含まれる。	11) 電気温水器	11) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	(18) 建設副産物	12) 電気温水器	12) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	1) 請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」(建設資材を搬入する場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物を搬出する場合)を施工計画書に記入し監督員に提出する。	13) 電気温水器	13) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	2) 消火器や係員用消防設備等設置届出書	14) 電気温水器	14) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	3) 書類の作成(機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入)を行うこと。	15) 電気温水器	15) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	(4) 品質管理	16) 電気温水器	16) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	工事施工に關して、着手前・施工途中・施工後の自主検査を実施すること。	17) 電気温水器	17) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。	18) 電気温水器	18) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。
	(5) 出来形管理	19) 電気温水器	19) 電気温水器		■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式により屋外樹に接続放流する。	■ 本工事は汚水、雑排水を合流方式

※ 横走り管の吊り間隔		
鋼管	100A以下 125A以上	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	1m 以下 2m以下
鉛管		1.5m以下
鉄管		標準図による

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔			
支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鉄管			
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔
基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
※ 液管・ガス管共吊りの場合は
液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事	矩形ダクト	□ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC, SGCC) 錫金付着Z18以上
		□ ステンレス鋼板 JIS G4305
工法		□ アングルフランジ工法
		□ 共管フランジ工法
形鋼補強		□ スライドオフンフランジ工法
丸ダクト		□ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
		□ スライラダクト
		□ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事	1) 材料	部分的に材料を変更する場合は、図面内に明記すること。
■ ガラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内一般等)		
		保温板、保温帶 JIS A 9504 2号 40K
■ 給水管	■ 排水管	□ 給湯管 □ 温水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管
(屋外等)		
□ 給湯管	□ 温水管	□ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管
□ 冷媒管	□	□
□ ロックウール保温材 保温板、保温帶、プランケット (防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504		
■ 給水管	■ 排水管	□ 給湯管 □ 温水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管 □ 消火管

■ ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等)	保温板 JIS A 9511 3号
□ 給水管	□ 排水管
□ ブライン管	□ 冷水・冷温水管
(屋外等)	□
■ 給水管	□ 排水管
□ ブライン管	■ 給湯管 □ 冷水・冷温水管
	□ 消火管

□ 調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出)			
□ 給水管	□ 排水管	□ 通気管	□ ドレン管
□ ガス管	□ 消火管	□ 油管	□ 冷却水管

2) 保温厚	・ ガラスウール、ロックウール
	保温厚 (mm) 20 25 30 40 50 65
給水・排水・ドレン・給湯	~80A 100A~ - - -
膨張・温水・消防管	100~150A 200A~ -
蒸気管	~25A - 32~50A 65A~ -
冷水・冷温水・冷媒管	- - ~25A 32~200A 250A~
・ ポリスチレンフォーム	
保温厚 (mm)	20 25 30 40 50 65
給水・消火・排水管	~80A 100A~ - - -
冷水・冷温水管	- - ~25A 32~200A 250A~ -
冷水管 (冷水温度2~4°C)	- - ~20A 25A~100A 125A~ -
ブライン管	- - - ~25A 32~80A 100A~
・ 機器ダクト保温厚	
保温厚	
25mm	ダクト (屋内露出 [機械室、書庫、倉庫] 、隠蔽部) 、消音チャンバー・エルボ・膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部 (ロックウール)
50mm	ダクト (屋内露出 [一般居室、廊下]) 、サプライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部 (ロックウール)
75mm	煙導 (ロックウール)

3) 種別 給排水衛生設備配管の保温仕様
1 2 3 4
屋内露出 保温筒 鉄線 合成樹脂カバー
機械室・書庫・倉庫 保温筒 鉄線 原紙 アルミガラスクロス仕上
天井内・P・S内 保温筒 鉄線 アルミガラスクロス粘着テープ
隠蔽内 (ビット内) 保温筒 鉄線 ポリエチレンフィルム 着色アルミガラス
屋外露出 保温筒 鉄線 ポリエチレンフィルム SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サイ管工法、架橋ポリエチレン、ポリブテン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行なう。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)
1 2 3 4 5
屋内露出 保温筒 鉄線 合成樹脂カバー
機械室・書庫・倉庫 保温筒 鉄線 原紙 アルミガラスクロス仕上
天井内・P・S内 保温筒 鉄線 アルミガラスクロス仕上
隠蔽内 (ビット内) 保温筒 鉄線 ポリエチレンフィルム 着色アルミガラス
屋外露出 保温筒 鉄線 ポリエチレンフィルム SUS鋼板仕上

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
■ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様
1 2 3 4 5
冷水・冷温水タンク 鋼板製タンク 保温板 ポリエチレン フィルム 鉄線 SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダ 鋼板製タンク 保温板 ポリエチレン フィルム 鉄線 SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)
温水・膨張・温水 鋼板製タンク 保温板 ポリエチレン フィルム 鉄線 SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)
温水・蒸気ヘッダ 鋼板製タンク 保温板 ポリエチレン フィルム 鉄線 SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)
熱交換器 鋼板製タンク 保温板 ポリエチレン フィルム 鉄線 SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要。

ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様
1 2 3 4 5
長方 屋内露出 一般・廊下 保温板 カラー鉄板
形ダクト 機械室 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ
屋内隠蔽、D・S内 保温板 アルミガラスクロス粘着保温板
屋外露出、多湿箇所 保温板 ポリエチレン フィルム 鉄線 SUS鋼板
スパ 壁面露出 一般・廊下 保温板 カラー鉄板
イラ 機械室 アルミガラスクロス粘着保温板
屋内隠蔽、多湿箇所 アルミガラスクロス粘着保温板
屋外露出、多湿箇所 保温板 ポリエチレン フィルム 鉄線 SUS鋼板
サブライチャンバー、エルボ 保温板 カラスクロス
排煙ダクト長方形 屋内隠蔽 保温板 カラスクロス
排煙ダクト円形 屋内隠蔽 保温板 カラスクロス
煙道 フラッシュ 保温板 カラー鉄板

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帶、1号を使用。
※ 2) 煙道チャンバーは、JIS G 3554 (角甲金網) による面防護金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施した平ラス0号で外面補強したものを使用。

※ 3) 銅亜金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼管の塗装仕様
機材 状態 塗料の種別 塗り回数 備考
白管 露出 調合ペイント 下塗り 中塗り 上塗り 下塗りはさび止めペイント
黒管 露出 調合ペイント 2 1 1 下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工 ダクト保温施工範囲
1. SA 保温あり □ 保温なし □ 固面による □ その他 ()
2. EA 保温あり □ 保温なし □ 固面による □ その他 ()
3. RA 保温あり □ 保温なし □ 固面による □ その他 ()
4. OA □ 保温あり □ 保温なし □ 固面による □ その他 ()
チャンバー内貼施工 □ 内貼あり (mm) □ 内貼なし □ 固面による □ その他 ()

(4) スリーブ工事
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む)

より40mm程度大 (2サイズUP) なるものとする。

箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。

2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密

図示記号

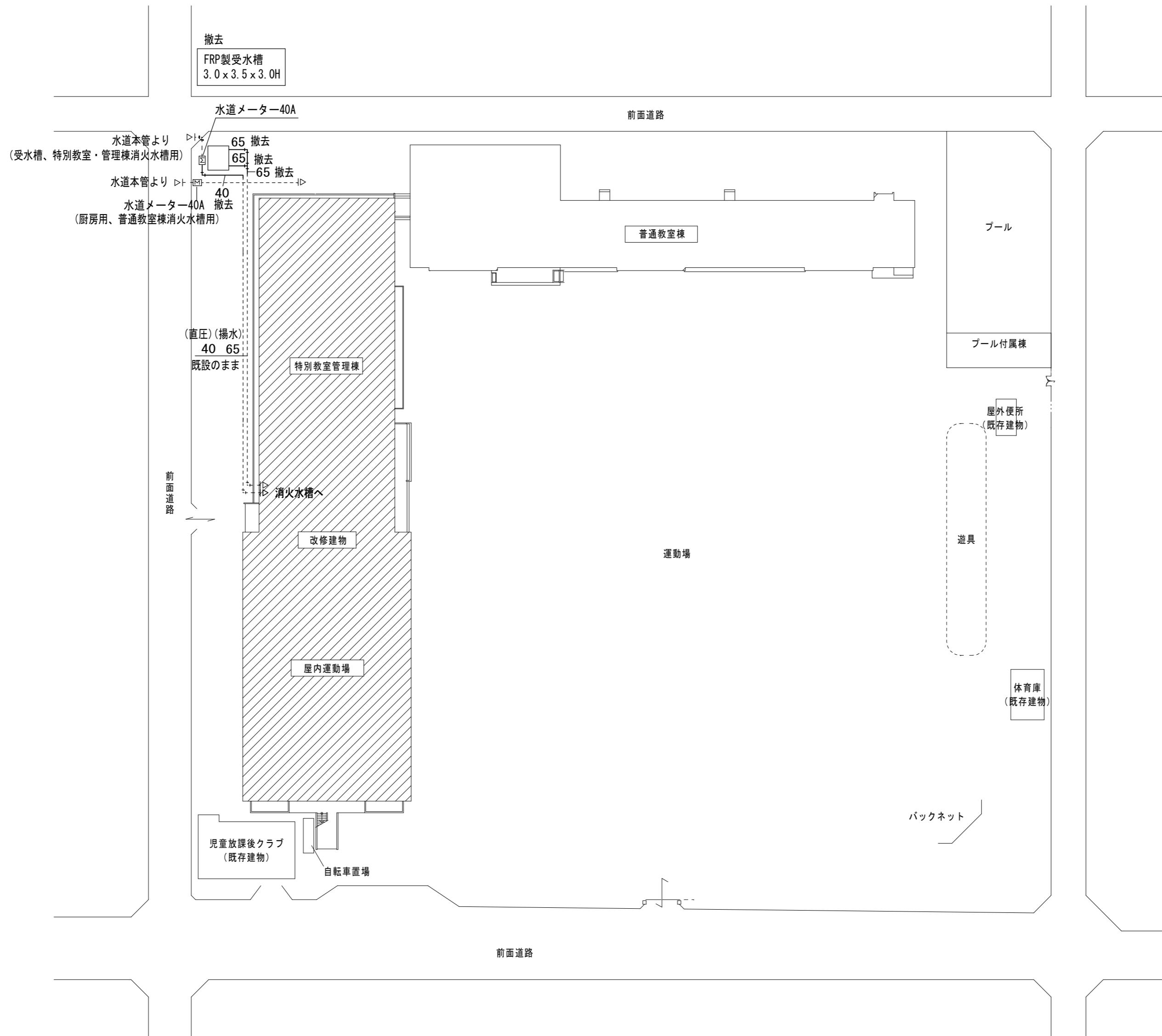
記号	名称	記号	名称
—	給水管	—G—	ガス管
—C—	污水管	—X—	消火管
—	排水管	—R—	冷媒管
-----	通気管	—D—	ドレン管
— —	給湯管	—	排気ダクト
		◎	給水栓
		●	フラッシュバルブ
		○△△	弁類
		○+	ガスコック
		⊖	床上掃除口
		◎	排水金物

衛生機器表

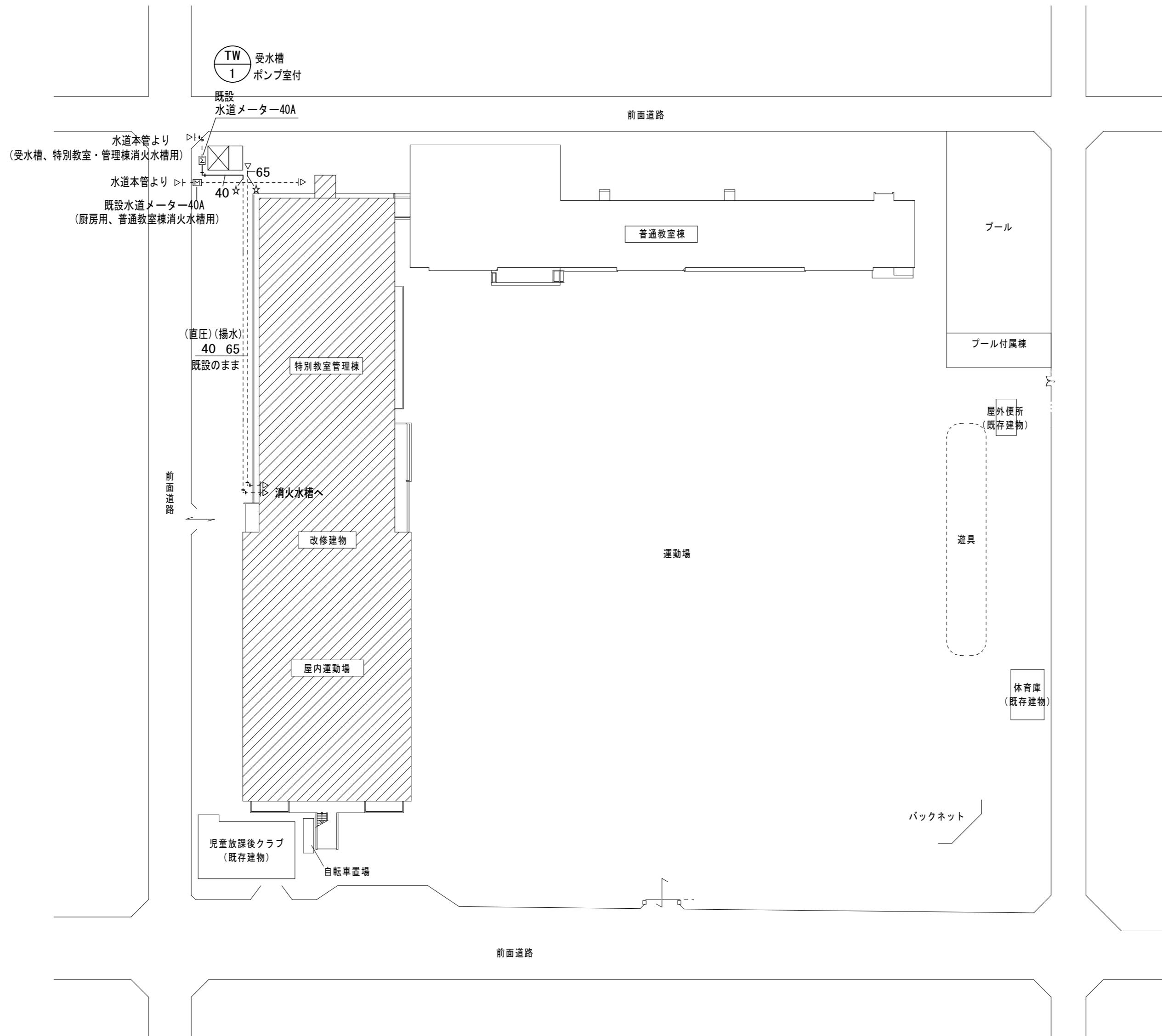
記号	名称	能力・仕様	電源	数量	設置場所
TW-1	受水槽	形式: SUS444製 2槽式パネルタンク(単板)ポンプ室付 耐震 1.5G 仕様: 水槽部 3500(2000+1500) x 3000 x 2000H ポンプ室 3500 x 3000 x 2000H(溶融亜鉛メッキ平架台共) 附属品: 通気口(防虫網付)、電極座(防雨カバー付) x 2、マンホール x 2(内蓋付) ドア(ガラリ付) x 1、ガラリ x 1、内梯子 x 2、外梯子 x 2		1	屋外
TWH-1	高架水槽	形式: SUS444製パネルタンク(単板) 耐震 2.0G 仕様: 2000 x 2000 x 1500H(溶融亜鉛メッキ平架台共) 附属品: 架台 H=1000 通気口(防虫網付)、電極座(防雨カバー付)、マンホール(内蓋付)		1	PH階屋根
TF-1	消火充水槽	形式: SUS製パネルタンク(単板) 耐震 2.0G 仕様: 1000 x 500 x 1000H(溶融亜鉛メッキ平架台共) 附属品: 通気口 50φ(防虫網付)、電極座(防雨カバー付)、マンホール 500角		1	PH階屋根
PW-1	揚水ポンプ	形式: 多段渦巻ポンプ(ナイロンコーティング製) 仕様: 50φ x 280L/min x 30m x 3.7KW(自動交互運転) 附属品: GV、CV、圧力計	3φ 200V	2	屋外
HB-1A	屋内消火栓	形式: 二段形 1号屋内消火栓 埋込形 仕様: 750 x 1350 x 180D 附属品: 消火栓 40φ、消火ホース 40φ x 15m x 2本、40φ用ホース掛け、噴霧切替ノズル 40φ x 13φ		2	3階屋内運動場
HB-1B	屋内消火栓	形式: 二段形 1号屋内消火栓 露出形 仕様: 750 x 1350 x 180D 附属品: 消火栓 40φ、消火ホース 40φ x 15m x 2本、40φ用ホース掛け、噴霧切替ノズル 40φ x 13φ		3	2、3階廊下

衛生器具表

名称	品番	上段 TOTO 下段 LIXIL	2階				3階				屋外	合計
			図工室	図工準備室	理科室	理科準備室	図書室	廊下流し	家庭科室	廊下流し		
洗面器	L210C, TEN77G1(自動単水栓), T6PM1 L-132G, AM-211V1(自動単水栓), LF-4PA						1					1
化粧鏡	YM4560F KF-4560						1	6	6			13
SUS流し	建築工事(排水トラップ附属)	(3)		(4)	(1)		(3)		(3)			(14)
実験台	建築工事(化学水栓、排水トラップ附属)			(9)								(9)
立形泡沫自在水栓	T136SNR13C LF-14F-13	9	3	8	1		9	6	9			45
台付2口化学水栓	T42B LF-102			4	1							5
緊急止水弁付横水栓	TW1R LF-WJ50KQ							2				2
ホーム水栓	T200SNR13C LF-7R-13									7	7	
洗濯機パン	PWSP90J2W PF-9064C, TP-51							2				2
双口ガスコック	ヒューズ付			9	1							10
電気温水器 (飲料・洗い物用)	REKB25A22(25L, 1φ 200V: 2.0kW), RHE708R, RHE22H-50N, TL347CU, TH651						10					10



配置図 1/500

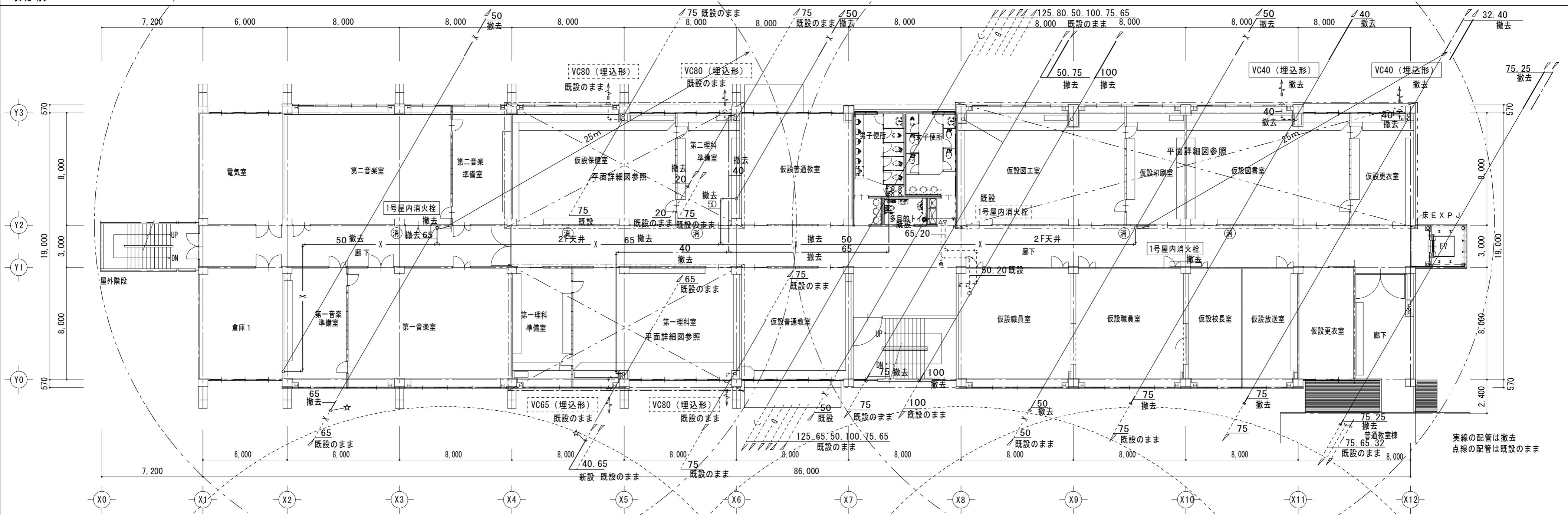


配置図 1/500

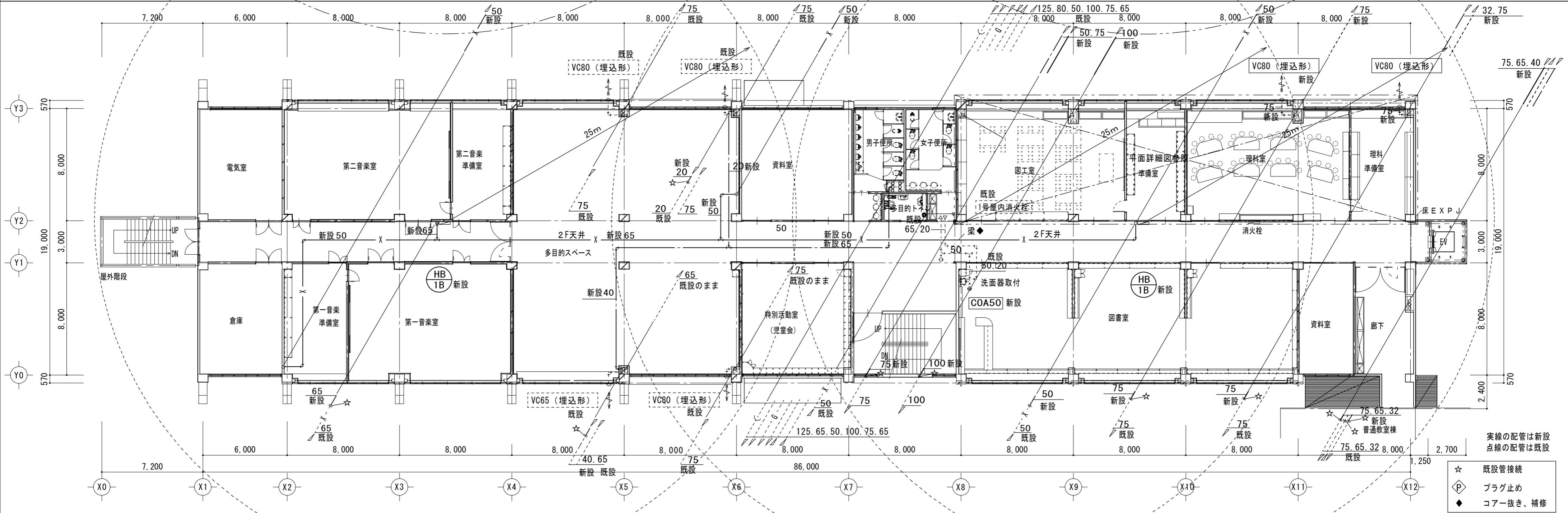
★ 既設管接続

実線の配管は新設
点線の配管は既設

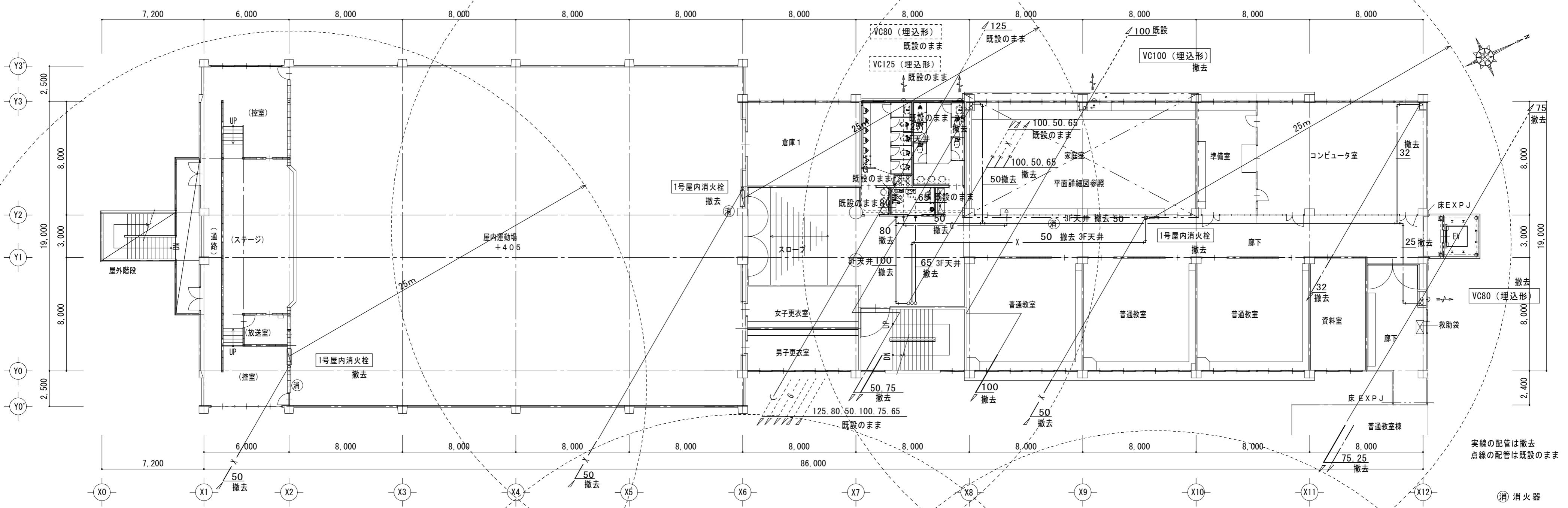
改修前



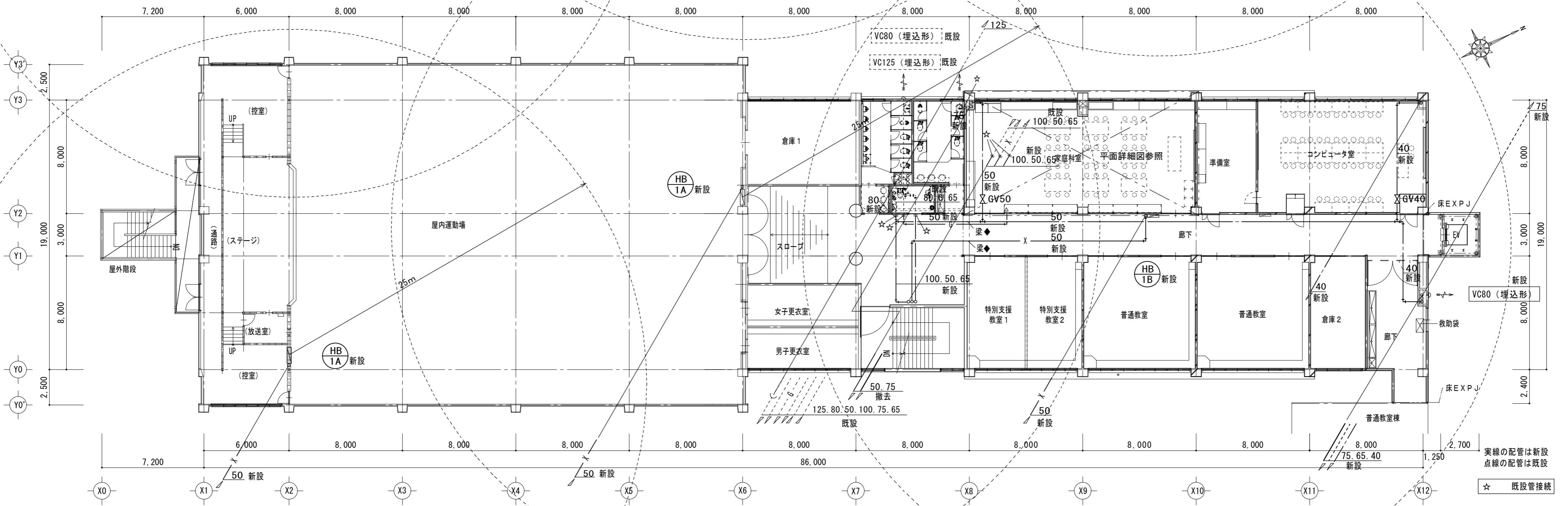
改修後



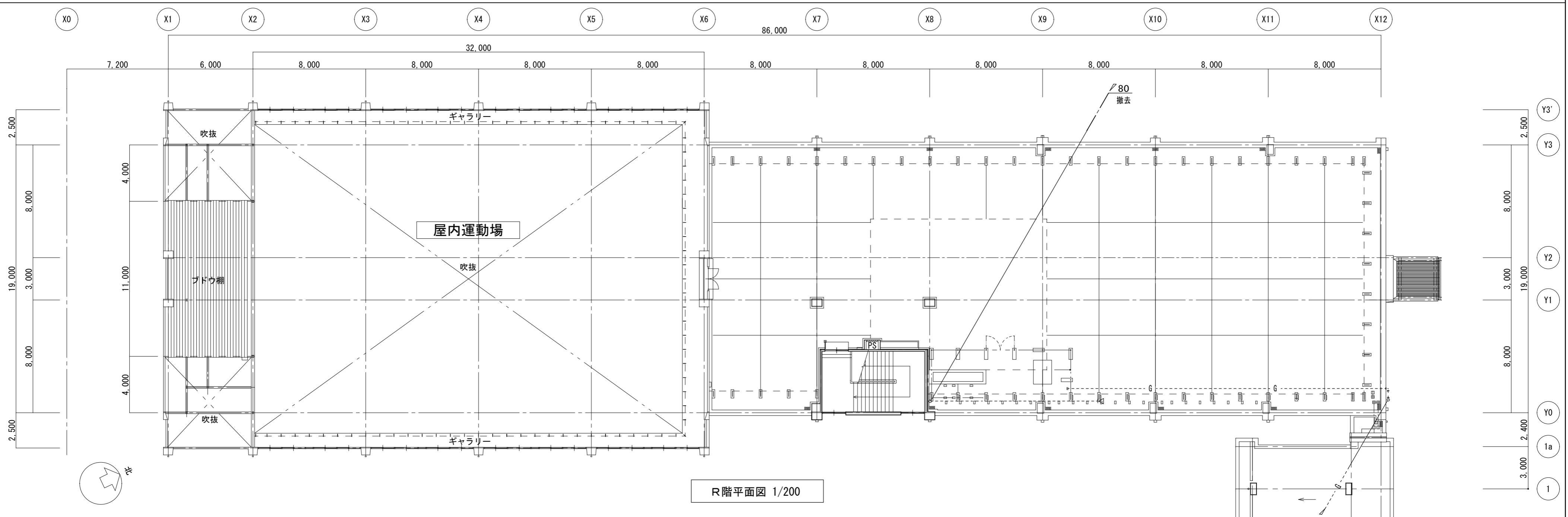
改修前



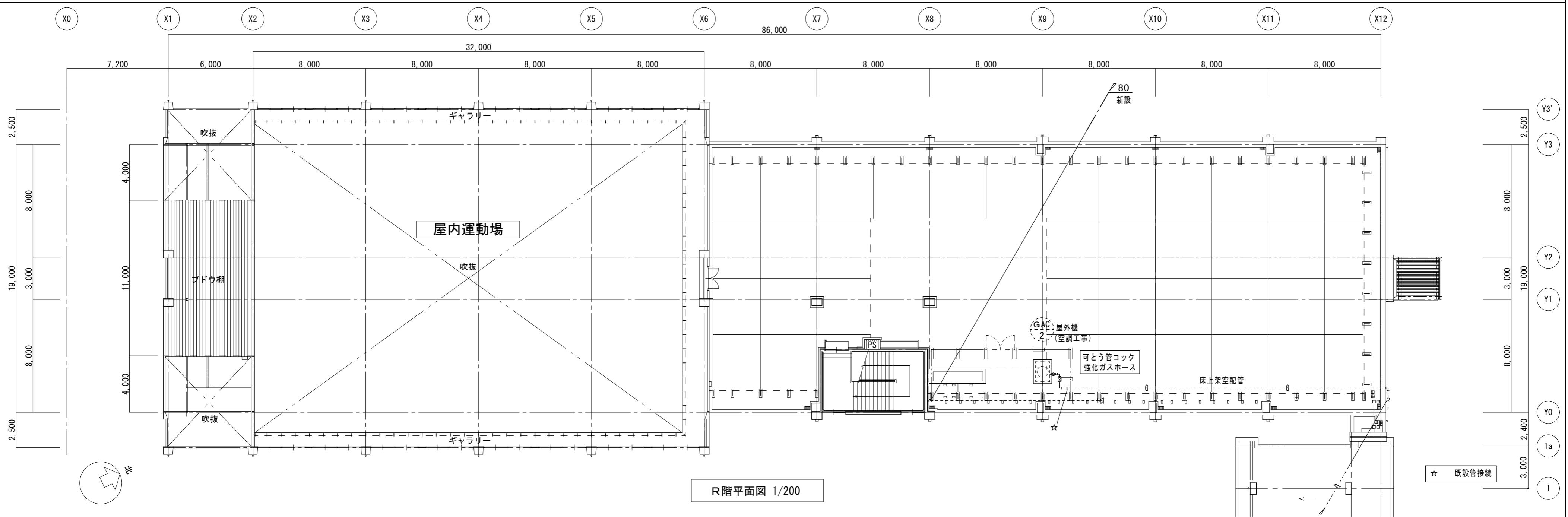
改修後



改修前



改修後



工事名称 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称

縮尺 A2 : 1/200 日付
A3 : 1/282

1

1

担

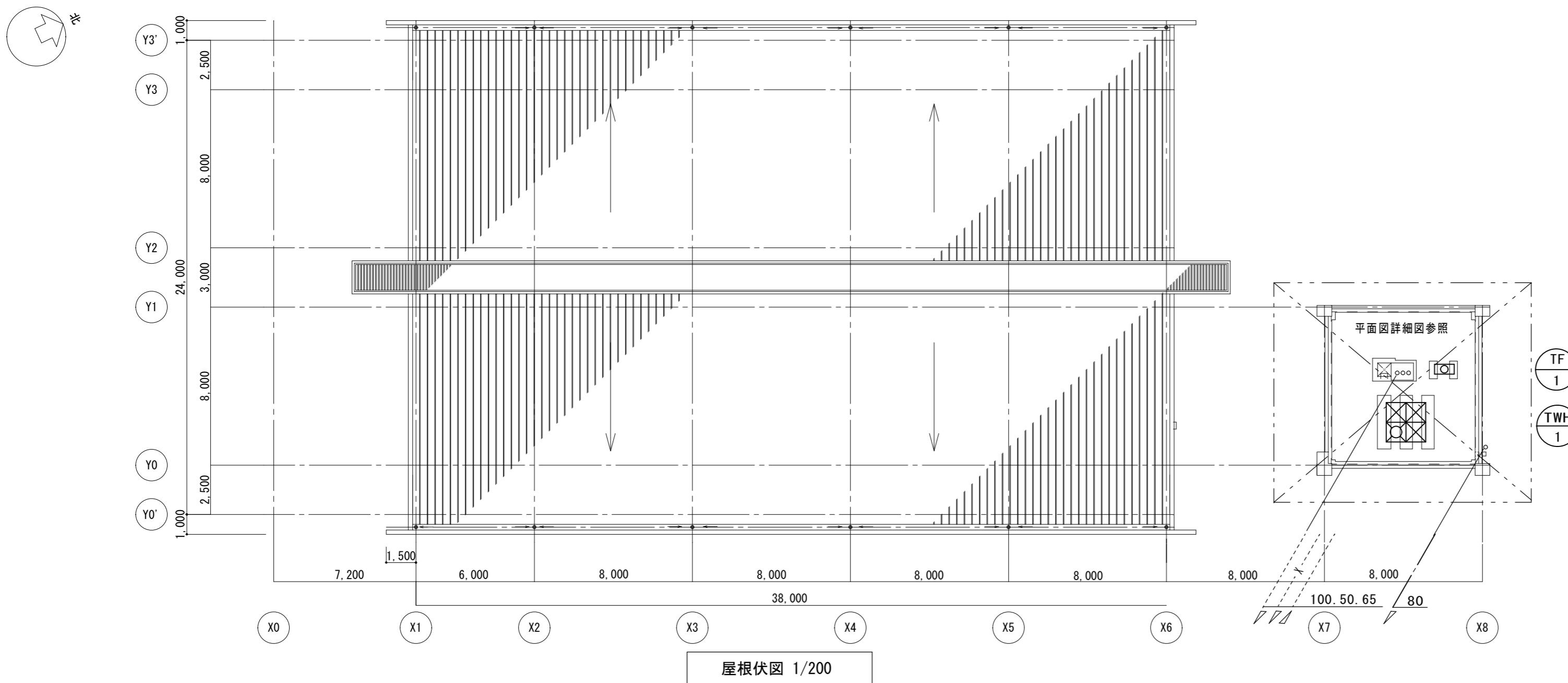
1

藤川設計株式会社

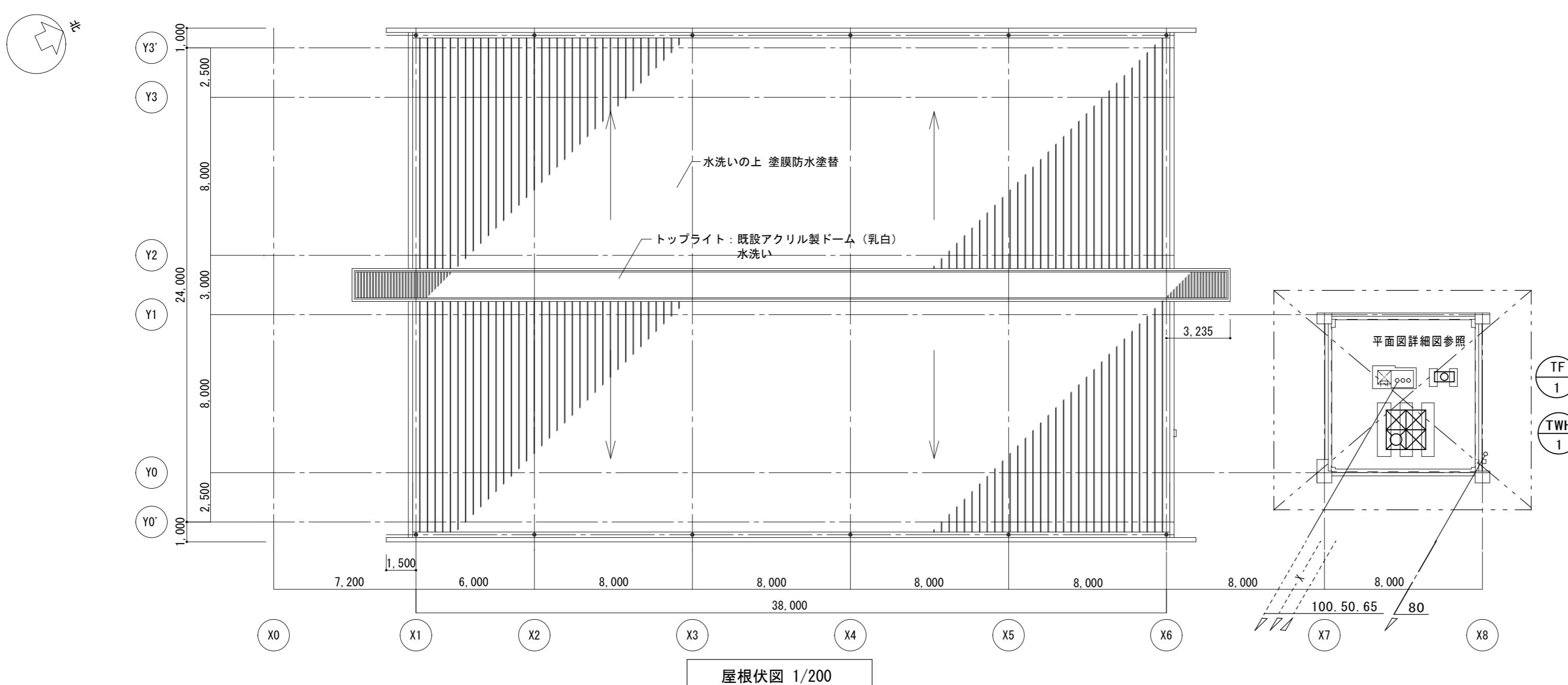
一級建築士登録 222551
田中 富士夫

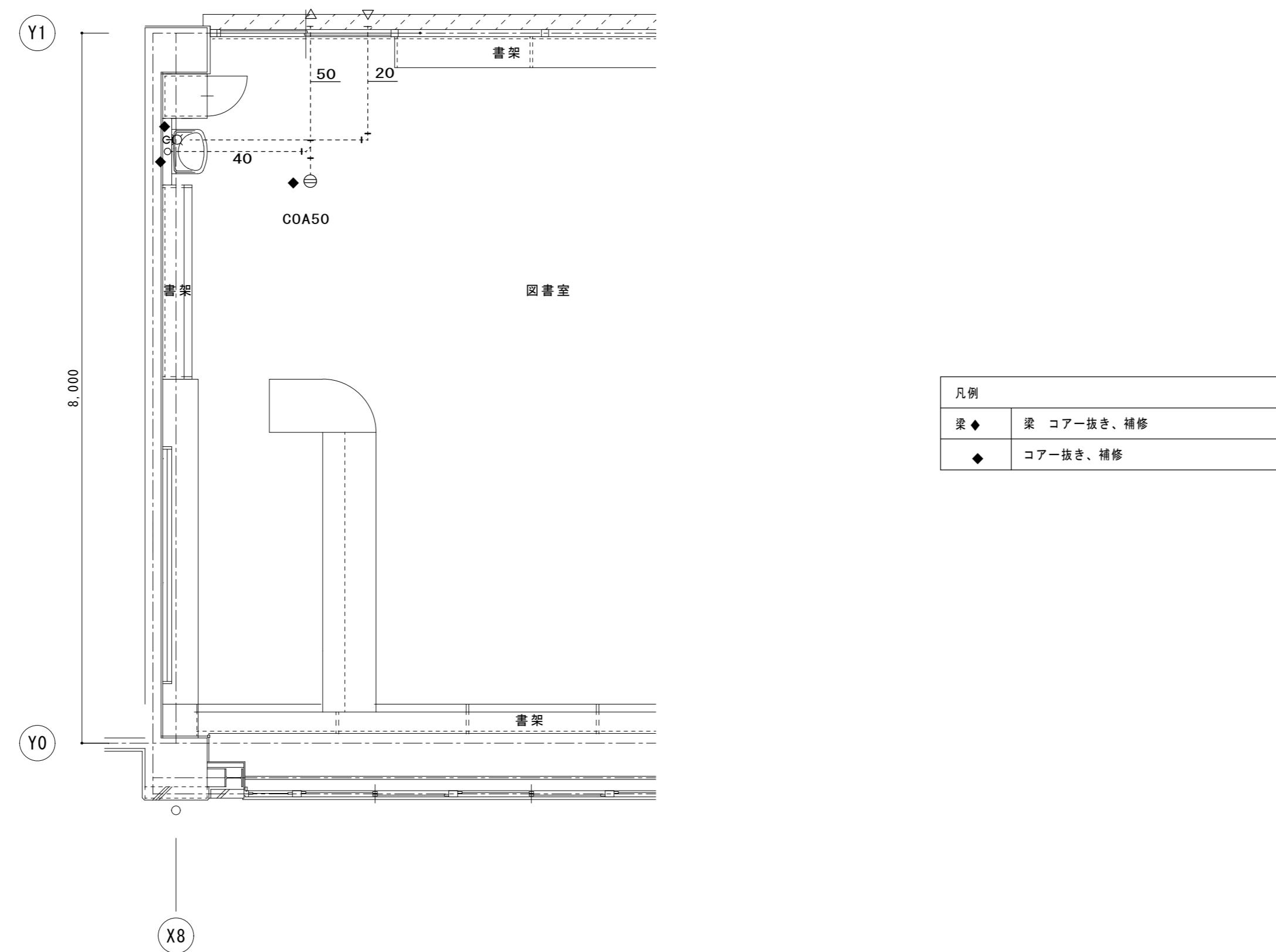
M-08

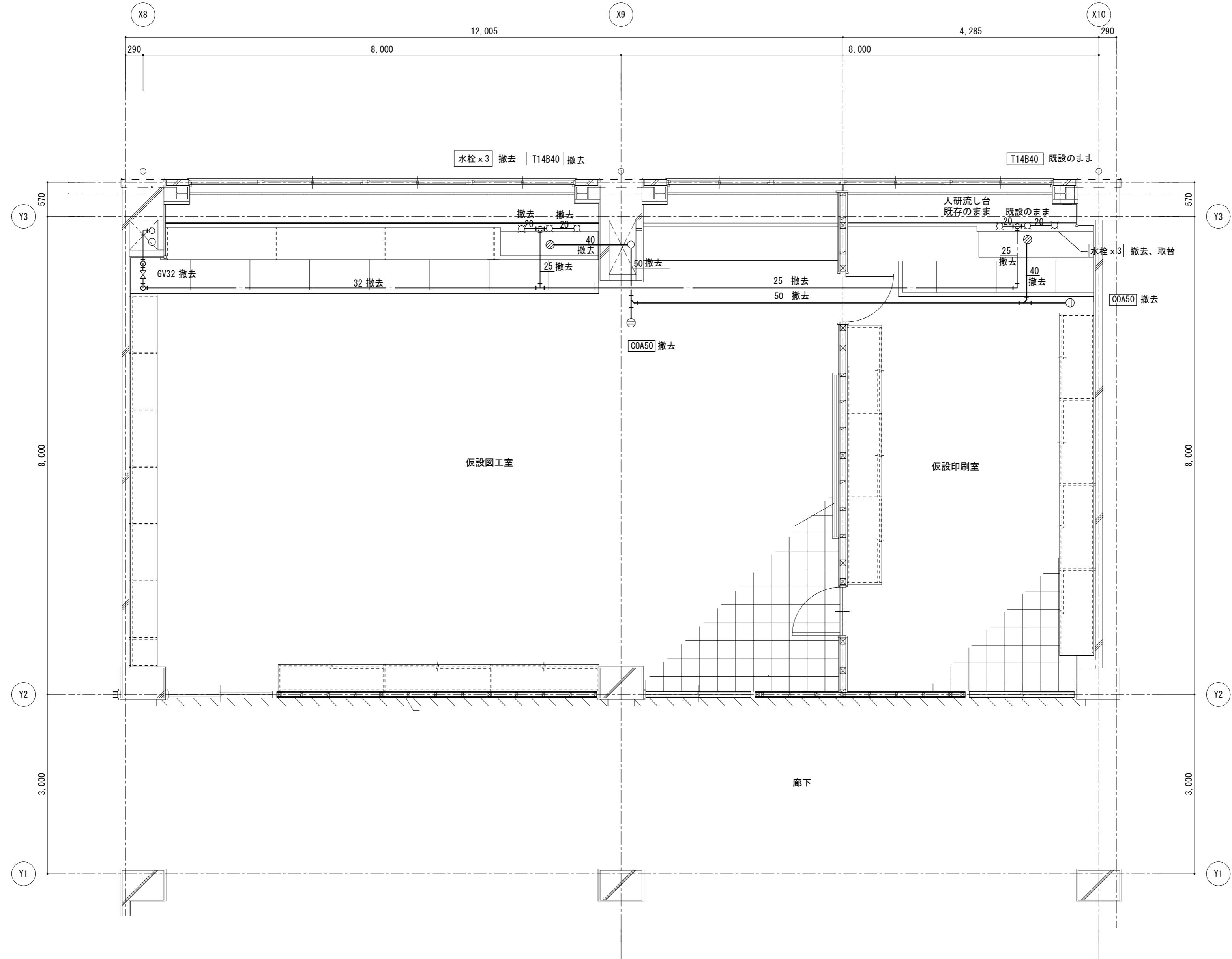
改修前

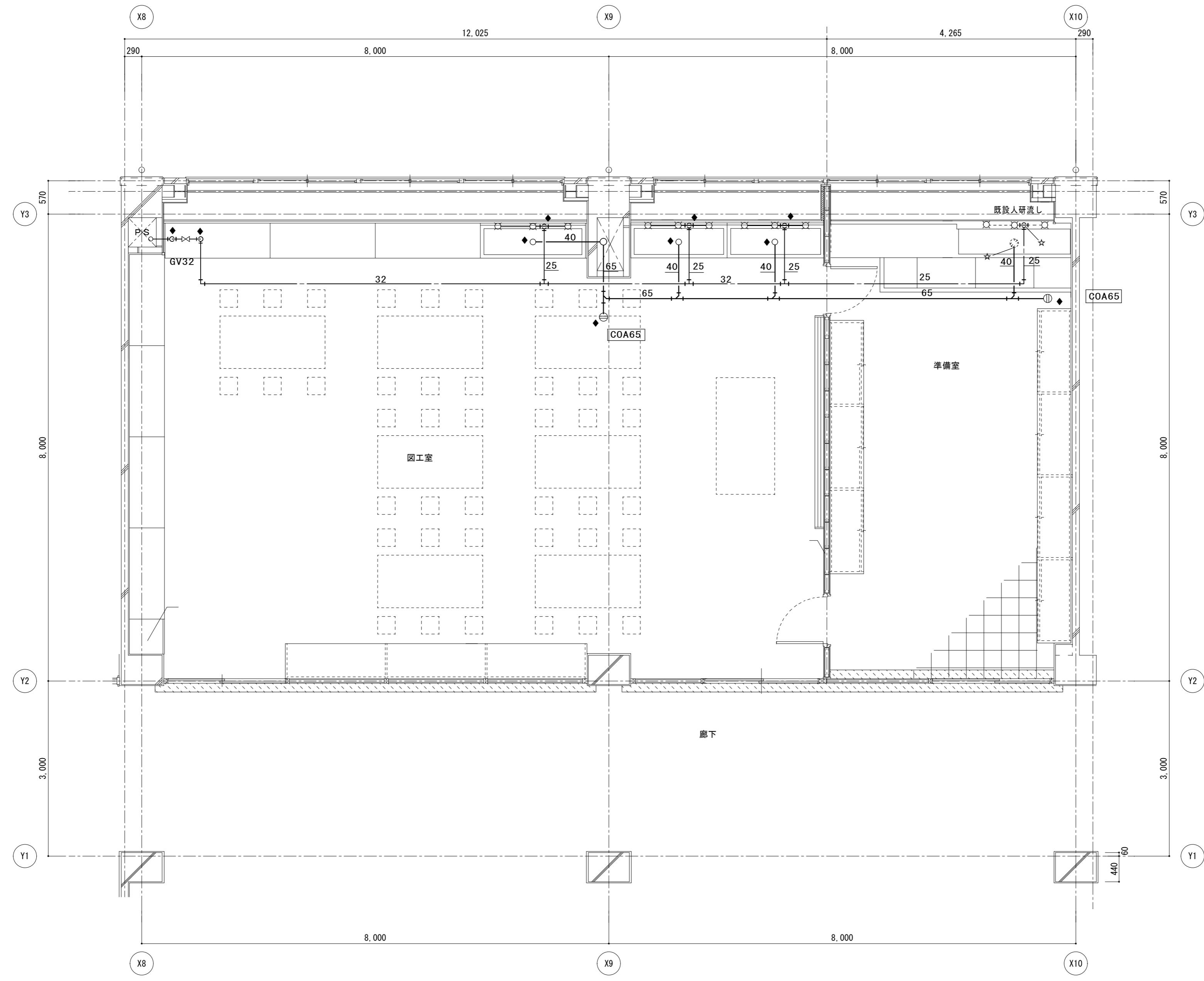


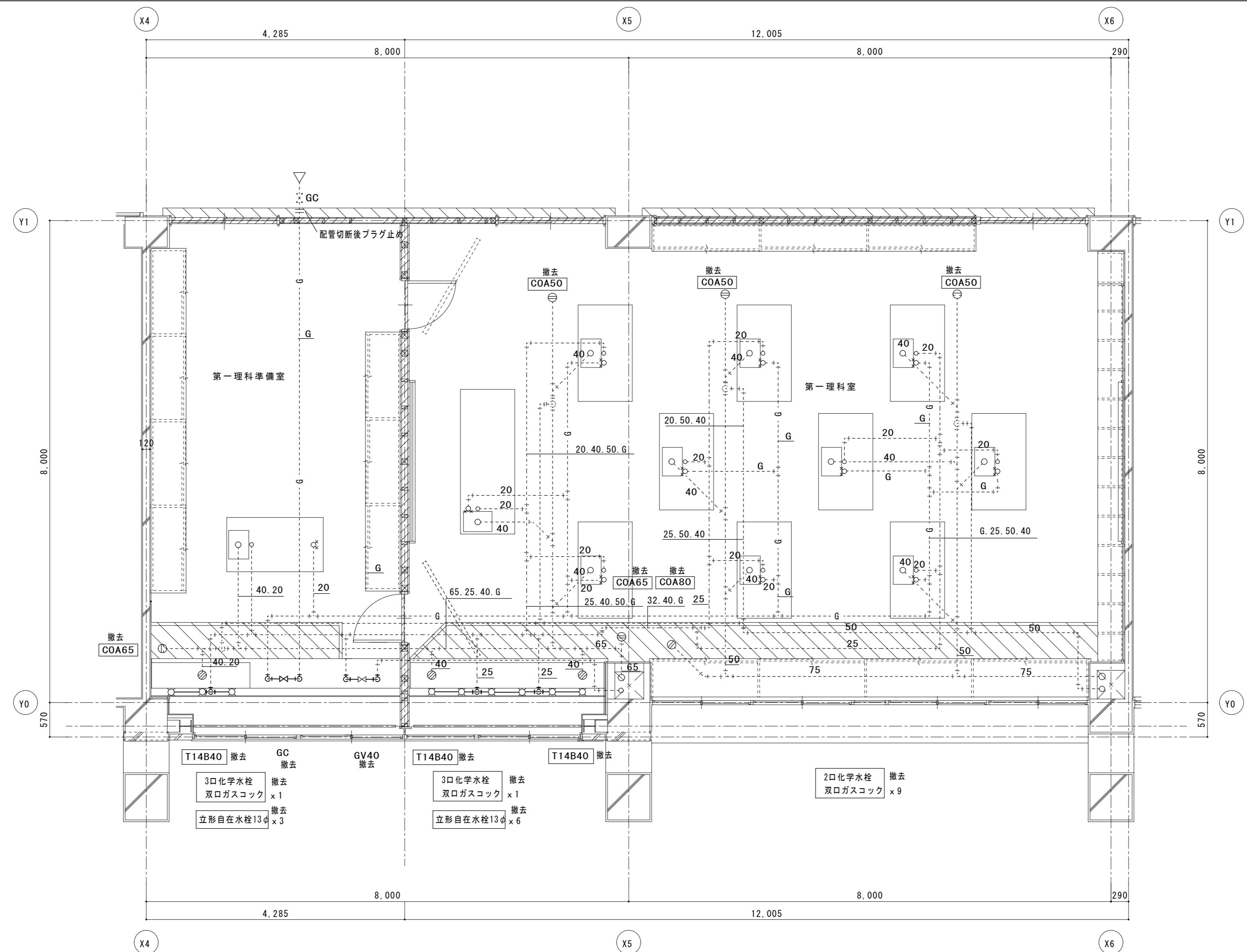
改修後

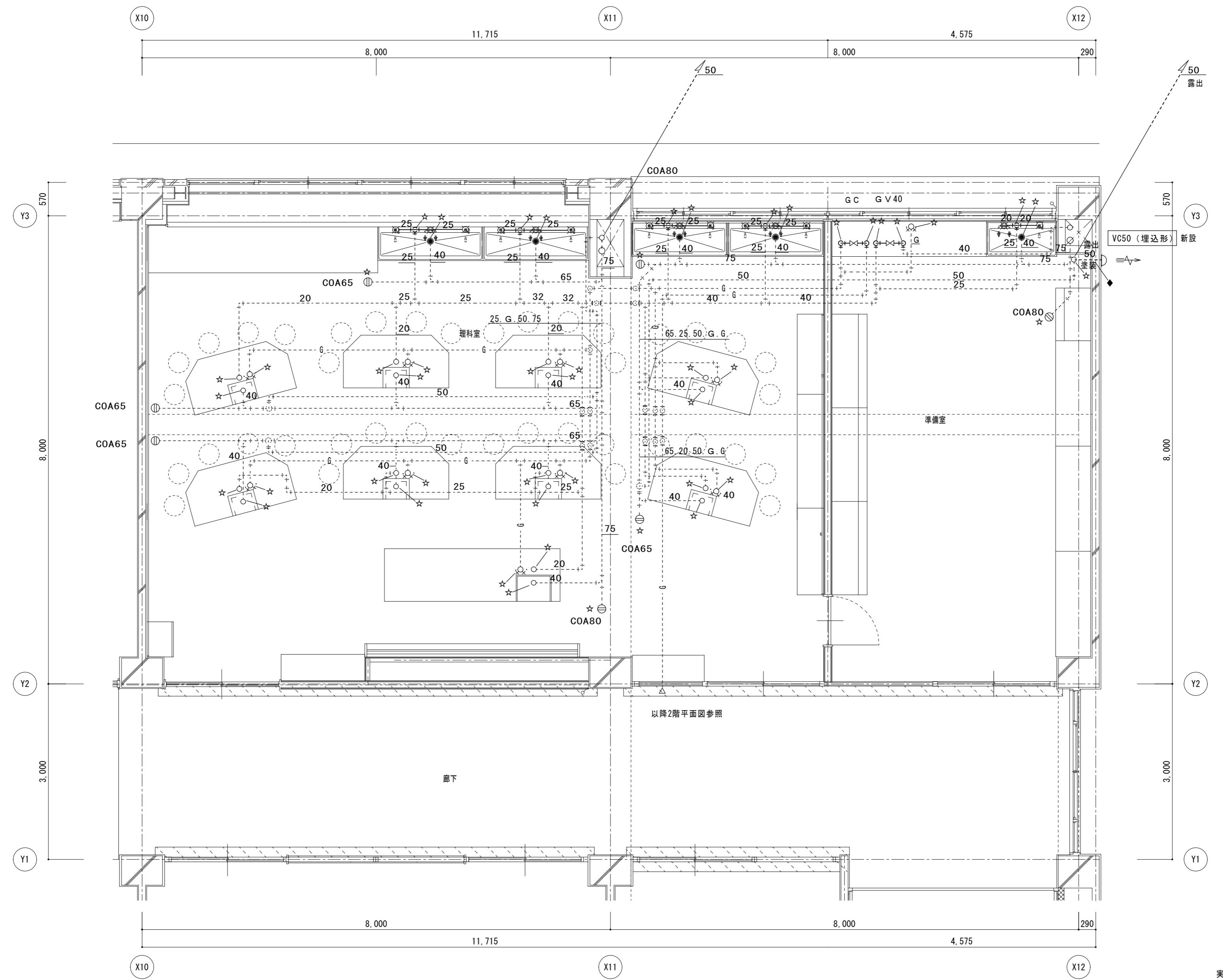








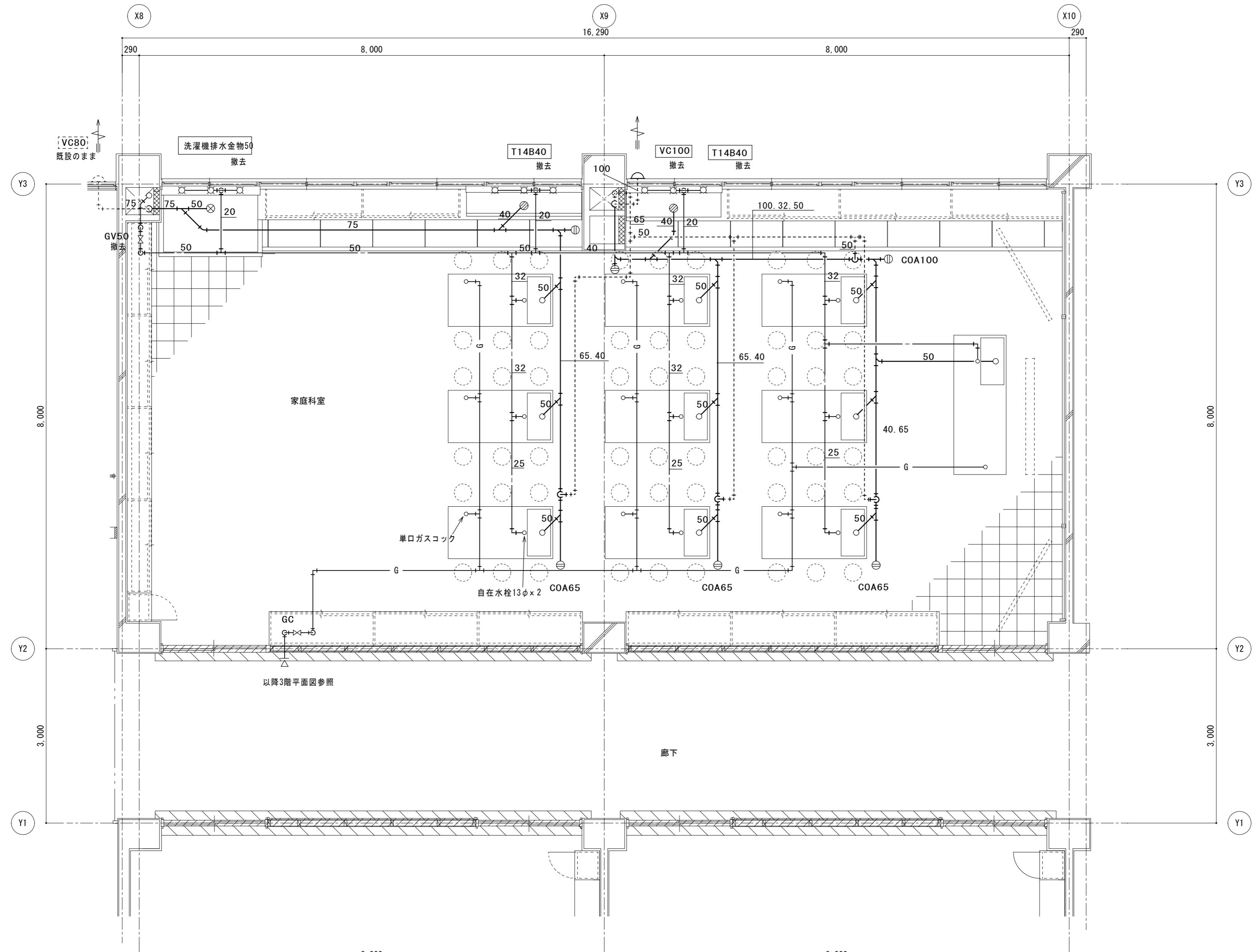




1F天井内より配管、保温、衛生器具取付及び流し台排水トラップまでの接続を行う。

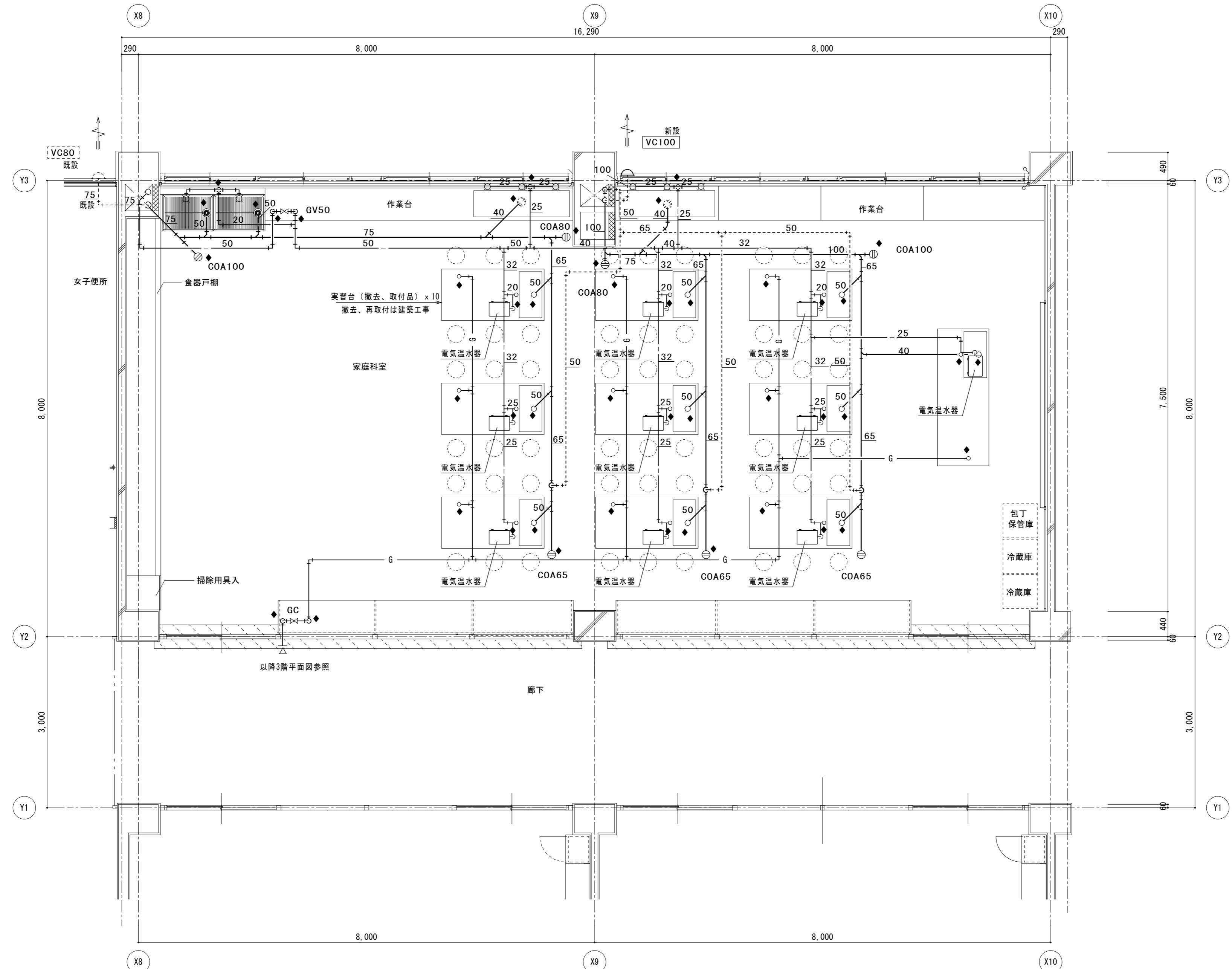
実線の配管は新設
点線の配管は既設

★ 既設管接続
◆ コア抜き、補修



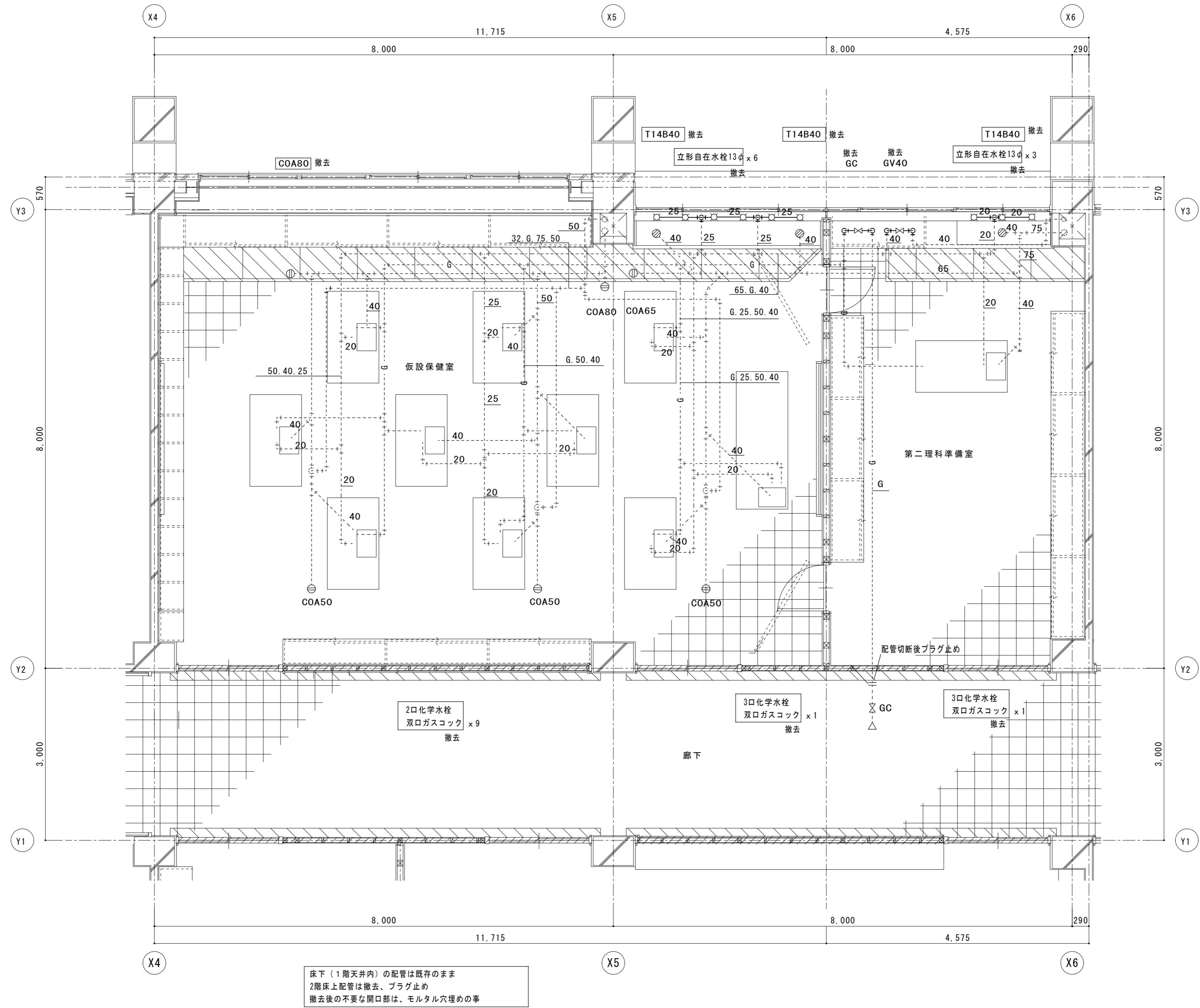
配管はすべて撤去
撤去後の不要な開口部は、モルタル穴埋めの事。

撤去衛生器具表		実習台の撤去は、建築工事
自在水栓13φ	(再使用)	20
立形自在水栓13φ	(撤去、処分)	9
単口ガスコック	(再使用)	10

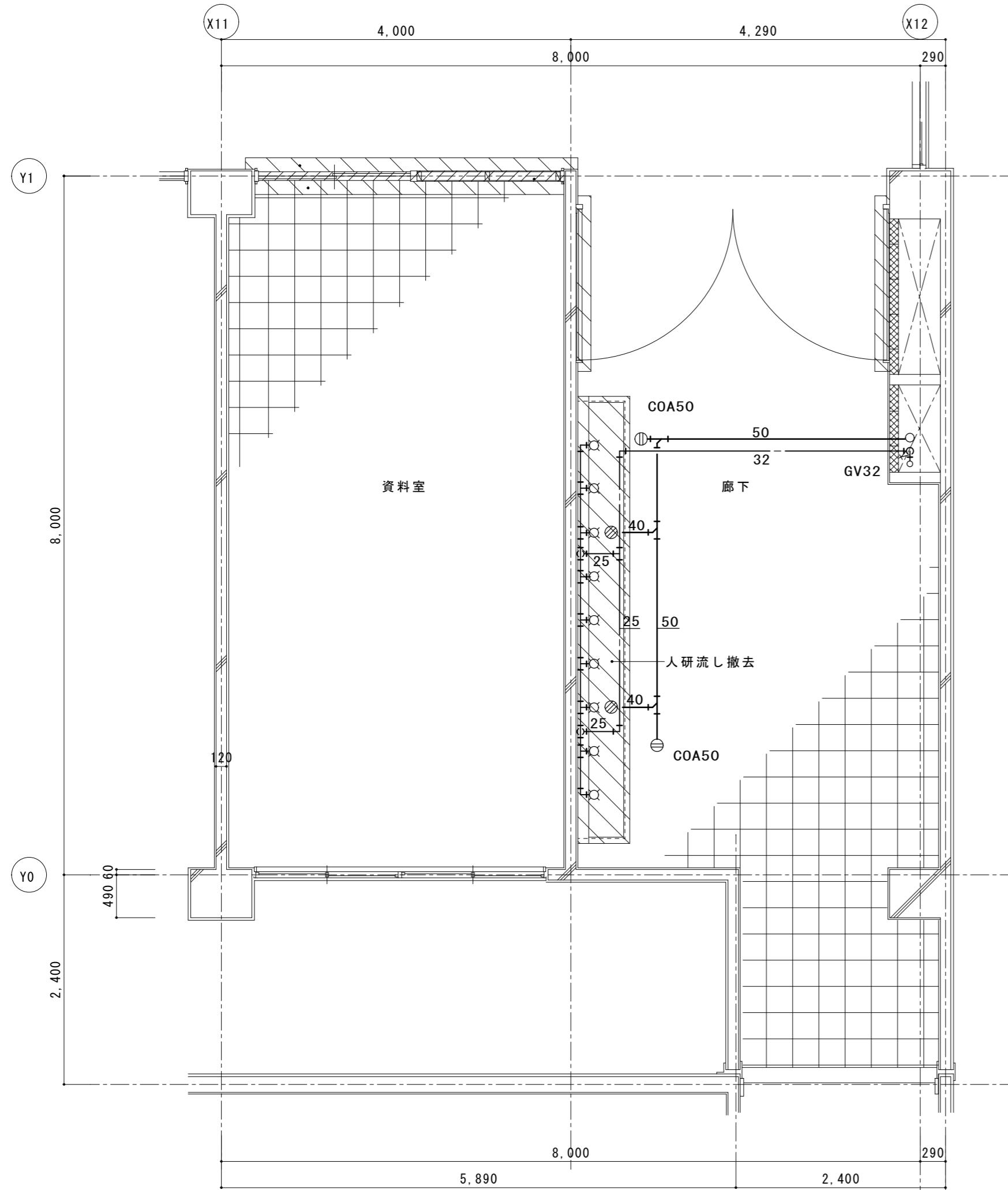


※ 配管はすべて新設

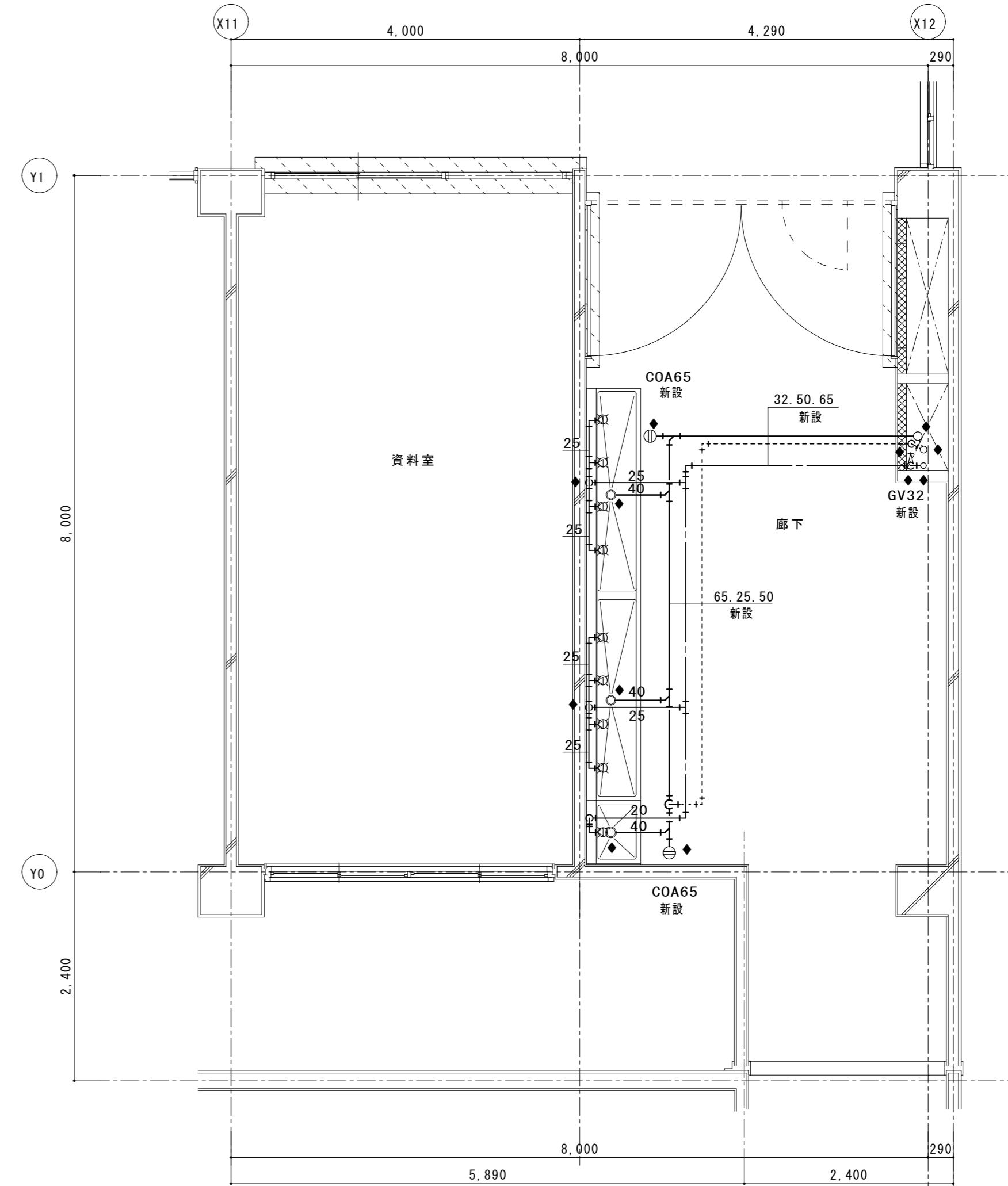
凡例
◆ コア抜き、補修



改修前



改修後



撤去衛生器具表

ホーム水栓13φ	8
化粧鏡 450 × 600	4

撤去後の不要な開口部は、モルタル穴埋めの事。

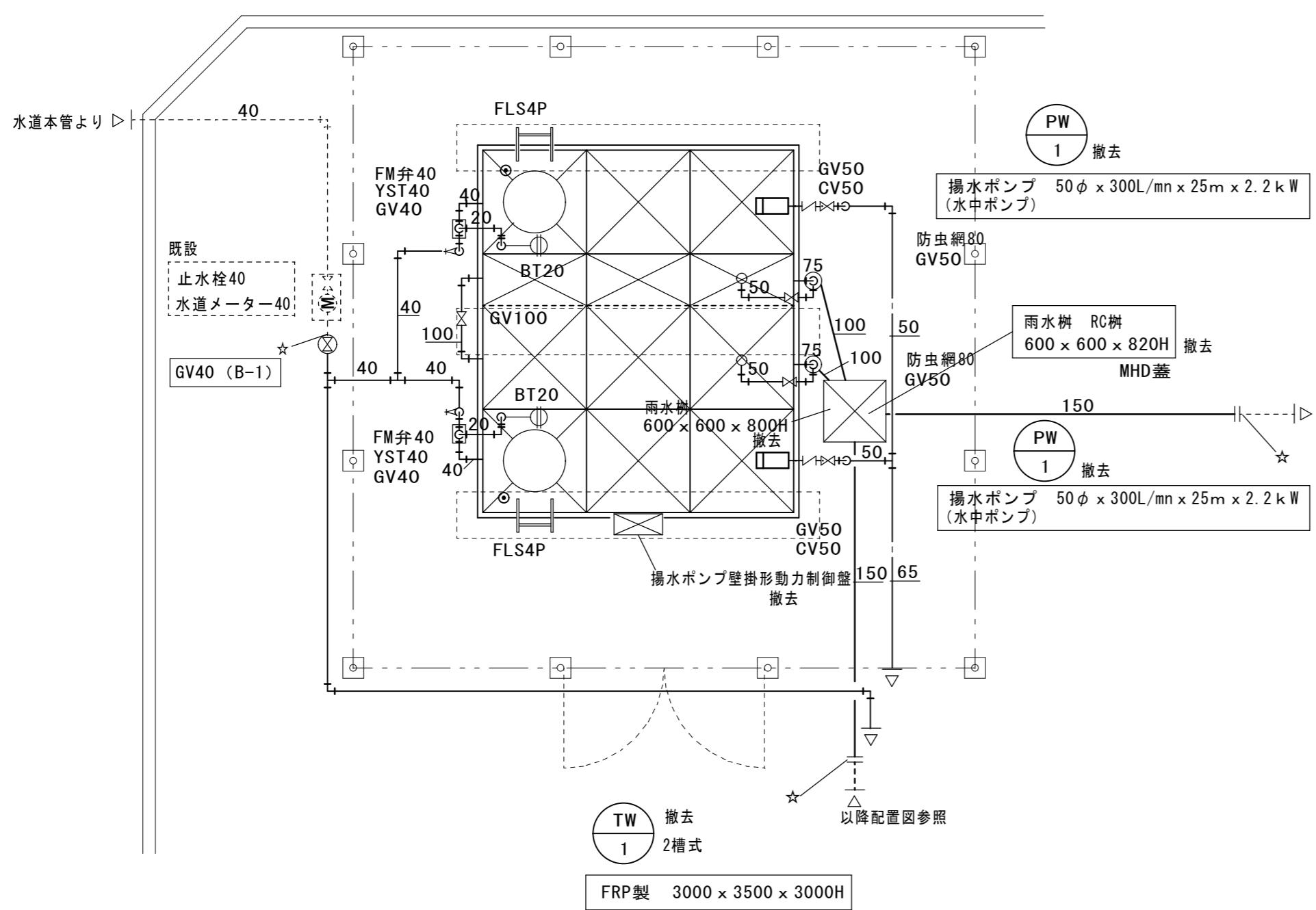
実線の配管は、すべて撤去

凡例

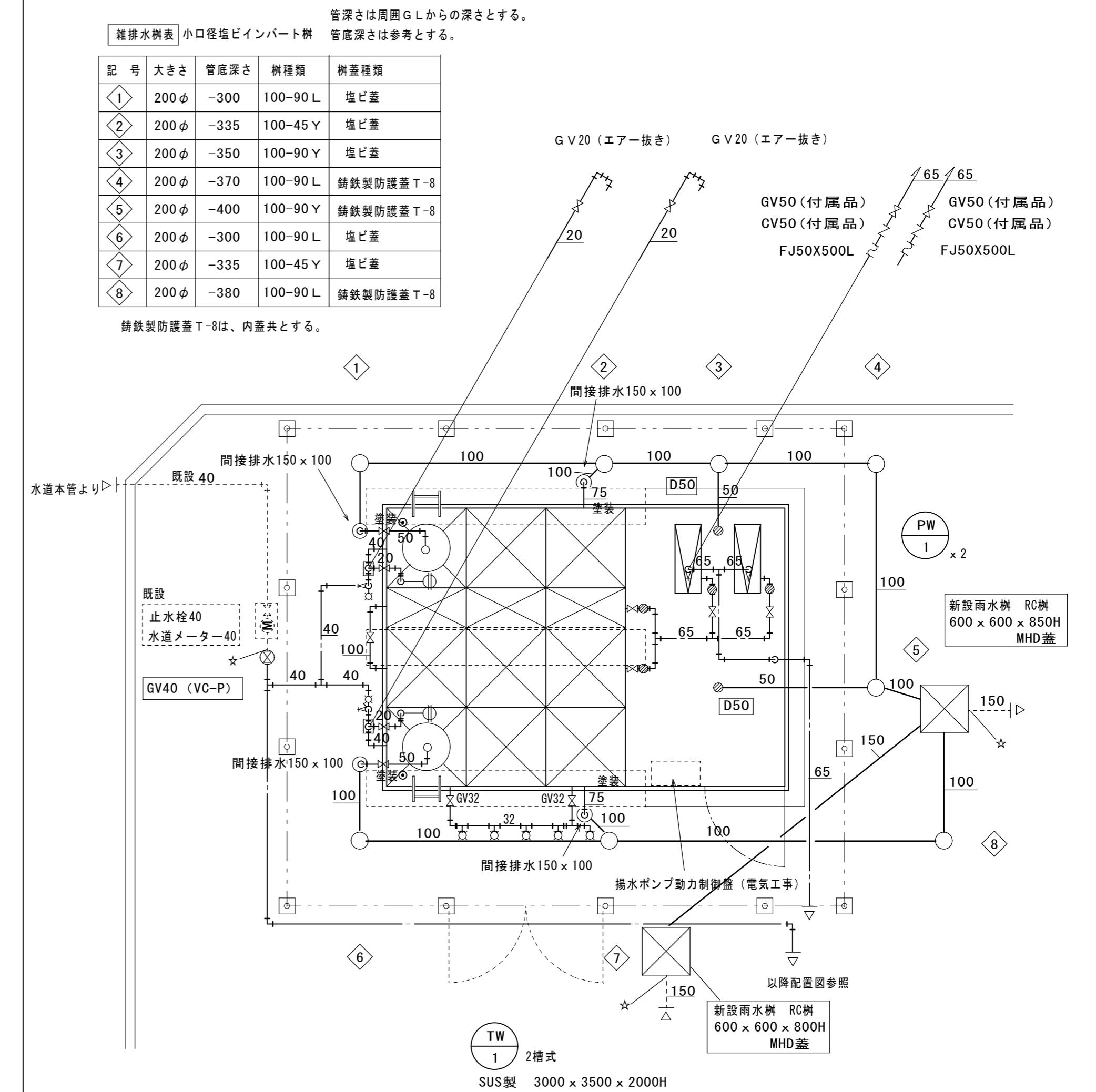
◆	コア抜き、補修
---	---------

実線の配管はすべて新設（通気管は新設）

改修前



改修後



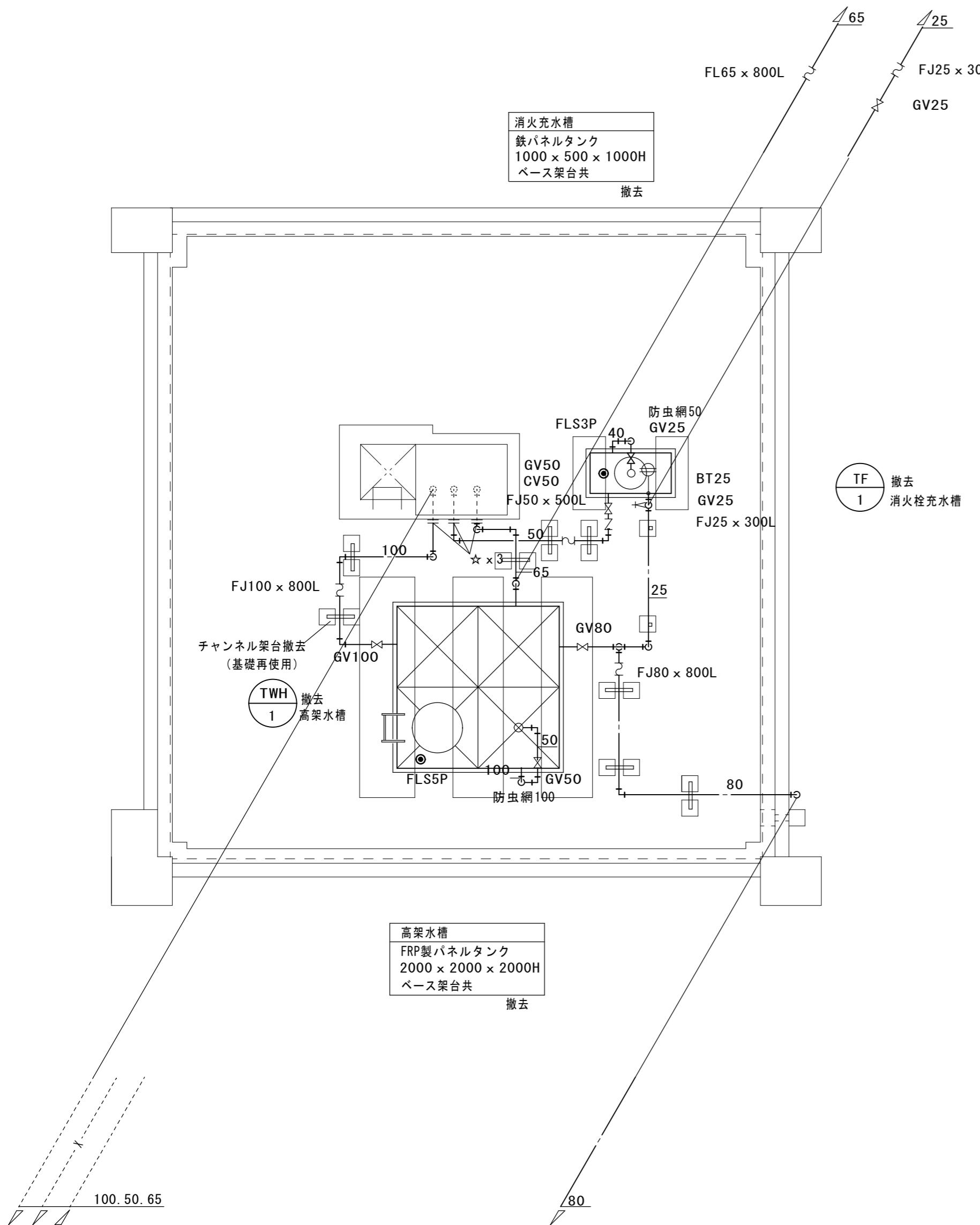
受水槽		
給水管	GV40, 定水位弁40, YST40, BT20, GV20, GV20 (エアー抜き)	2
排水管	GV50, SUS製防虫網50	2
溢れ管	SUS製防虫網80	2
電極	FLS4P	2
連通管	BFV100	1
ポンプ吸込管	GV65, FJ65 (合成ゴム)	2
ホーム水栓		7

揚水ポンプ		
吸込管	GV65, FJ65 (合成ゴム)	2
吐出管	ポンプ付属品 GV50, CV50, PG	(2)
	FJ50 x 500L	2

ポンプ付属品の弁類は、ナイロンコーティング製

★ 既設管切断接続箇所

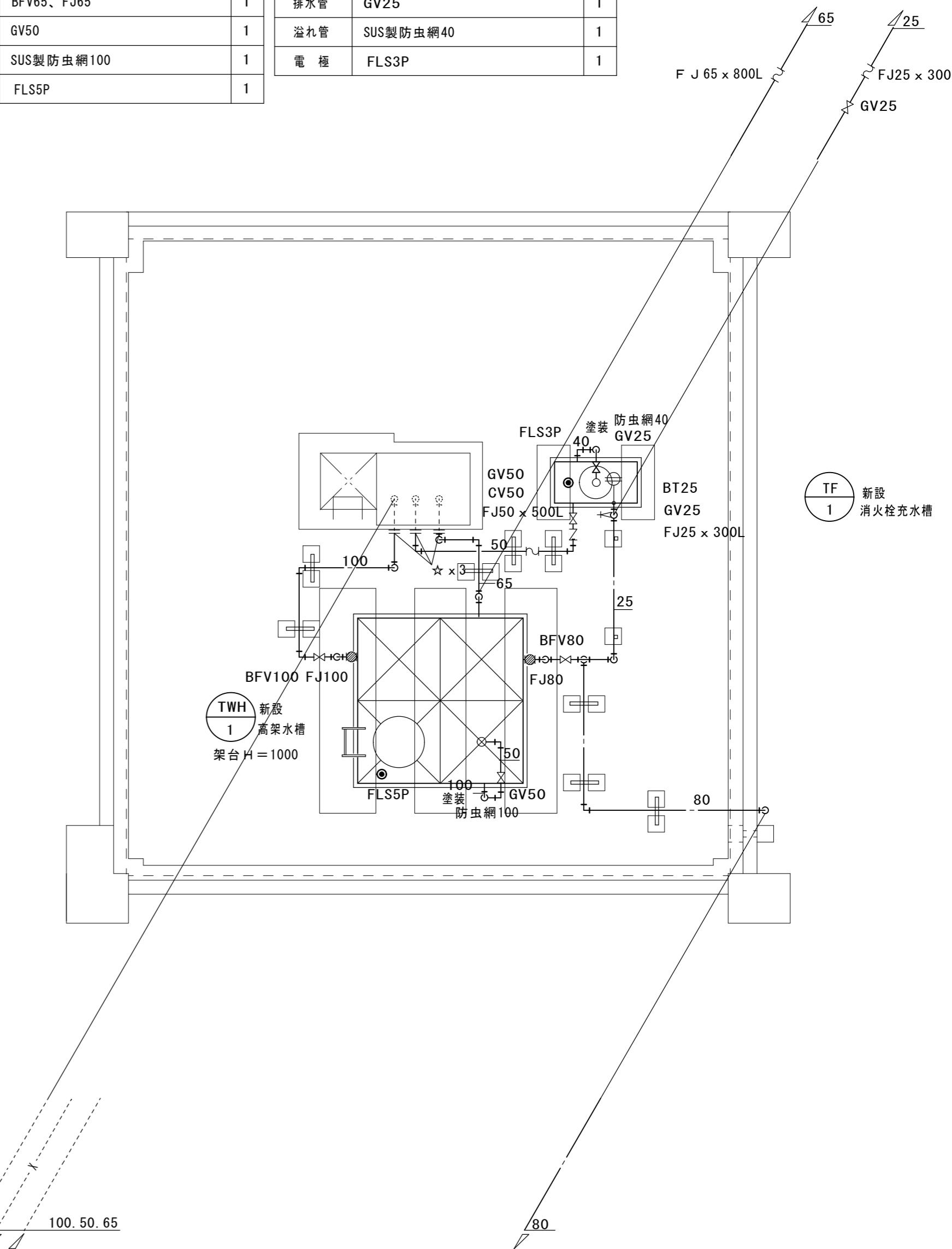
改修前



改修後

高架水槽		
揚水管	FJ65 x 800L	1
給水管	BFV100、FJ100	1
排水管	BFV65、FJ65	1
溢れ管	GV50	1
電極	SUS製防虫網100	1
電極	FLS5P	1

消火栓充水槽		
給水管	GV25、BT25、FJ25 x 300L	1
消水管	GV50、CV50、FJ50 x 500L	1
排水管	GV25	1
溢れ管	SUS製防虫網40	1
電極	FLS3P	1



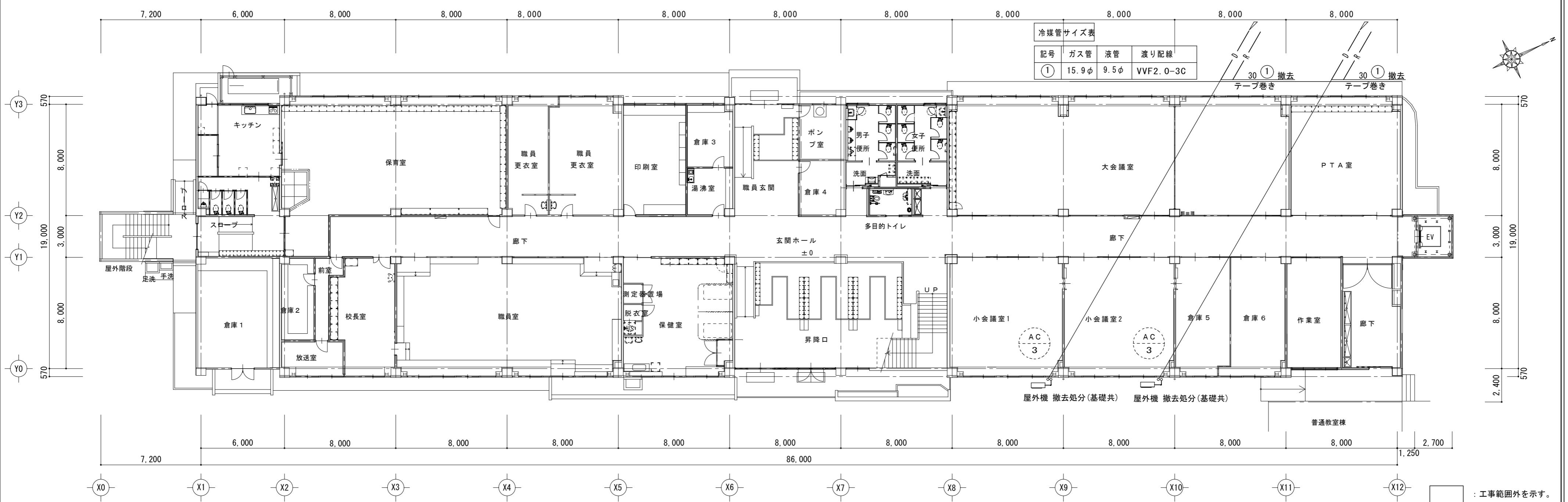
実線の機器、配管、支持金物は、すべて撤去とする。

機器、配管、支持金物はすべて新設とする。

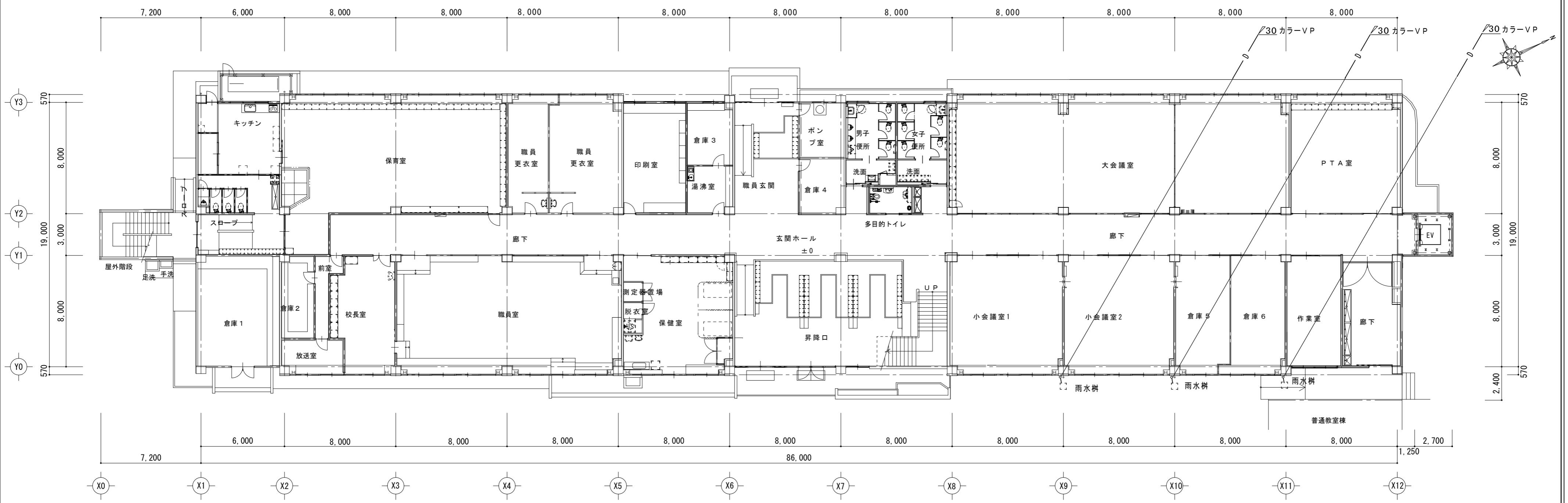
★ 既設管接続

記号	機器名	機器仕様	電源容量			台数	設置場所	備考
			Φ	V	エンジン kW			
GAC 2	ガスヒートポンプ式	形式 都市ガス13A仕様 屋外機	3	200	7.9	1	R階 屋根	
	ビル用マルチエアコン	冷房能力 35.5 kW	消費	冷房	0.65			
		暖房能力 40.0 kW	電力	暖房	0.45			
		付属品 溶融亜鉛メッキ防振架台、ON-OFF集中コントローラー						
		遠隔監視アダプター						
GAC 2-1	ガスヒートポンプ式	形式 屋内機 天吊形	1	200	0.08 (FAN)	3	2階 図書室	
	ビル用マルチエアコン	冷房能力 11.2 kW	消費	冷房	0.72			
		暖房能力 12.5 kW	電力	暖房	0.72			
	付属品	ワイヤレスリモコン、他一式共						
AC 1	ヒートポンプ式エアコン	形式 天吊形	3	200	2.5 (COMP)	1	3階 普通教室	校内指定場所より再取付
	(EHP)	冷房能力 (定格) 12.4 kW	消費	冷房	4.90			
	既設品	暖房能力 (定格) 14.0 kW	電力	暖房	3.91			
	付属品	ワイヤレスリモコン、他一式共						
AC 2	ヒートポンプ式エアコン	形式 天吊形 同時ツイン	3	200	4.7 (COMP)	1	3階 コンピュータ室	校内指定場所より再取付
	(EHP)	冷房能力 (定格) 20.0 kW	消費	冷房				
	既設品	暖房能力 (定格) 22.0 kW	電力	暖房				
	付属品	ワイヤレスリモコン、他一式共						
AC 3	ヒートポンプ式エアコン	形式 天井カセット形四方向吹出 (同時ツイン)	3	200	2.8 (COMP)	2	2階 仮設職員室	撤去、処分
	(EHP)	冷房能力 (定格) 12.5 kW	消費	冷房	3.85			
	既設品	暖房能力 (定格) 14.0 kW	電力	暖房				
	付属品	ワイヤレスリモコン、他一式共						
AC 7	ヒートポンプ式エアコン	形式 天吊形 同時ツイン	3	200	2.8 (COMP)	3	3階 普通教室	1組 撤去、処分
	(EHP)	冷房能力 (定格) 12.5 kW	消費	冷房	4.55			2組 取外し再取付 (室外機そのまま)
	既設品	暖房能力 (定格) 14.0 kW	電力	暖房	4.20			
	付属品	ワイヤレスリモコン、他一式共						
特記事項	<p>運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。</p> <p>空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。</p> <p>室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。</p> <p>リモコン配線共本工事とする。</p> <p>室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。アンカーはケミカルアンカー仕様。</p> <p>機器は同等品以上とする。室外機は防振ゴムシート ($t = 10$ 以上) を敷くこと。</p> <p>機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。</p>							

改修前



改修後



工事名称 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称

縮尺

A2 :

/200

日付

1

1

訂正

1

1

担当

1

1

承認

1

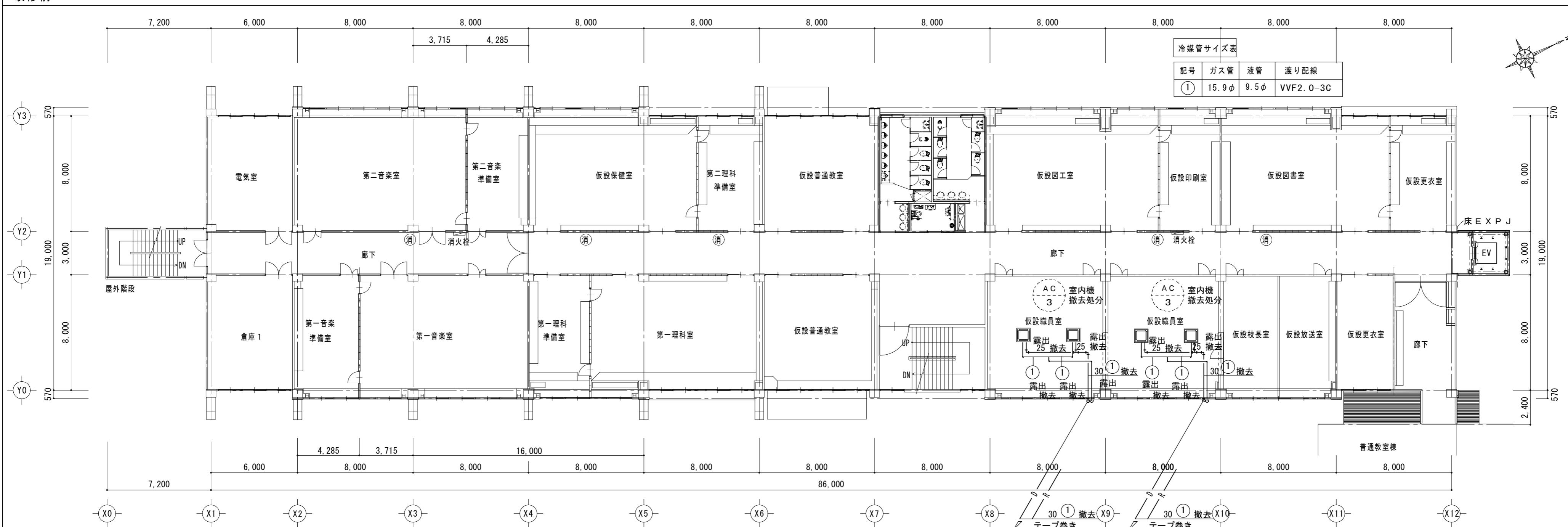
藤川設計株式会社

一級建築士登録 222551
田中 富士夫

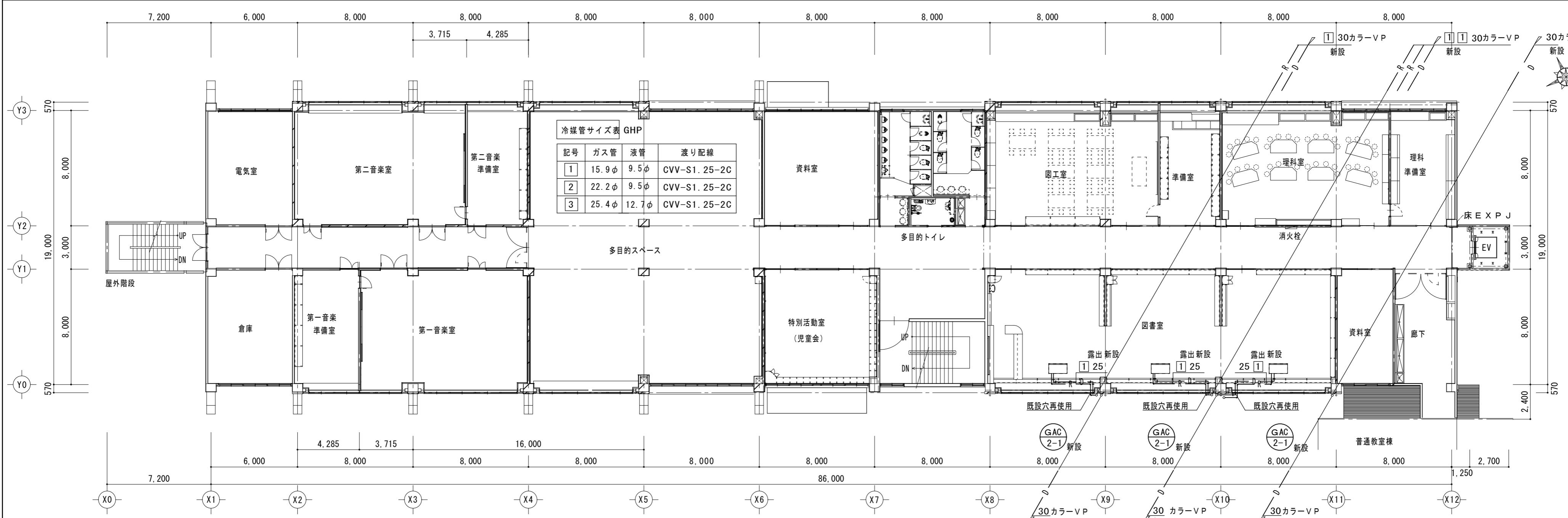
M-22

原図：A 2

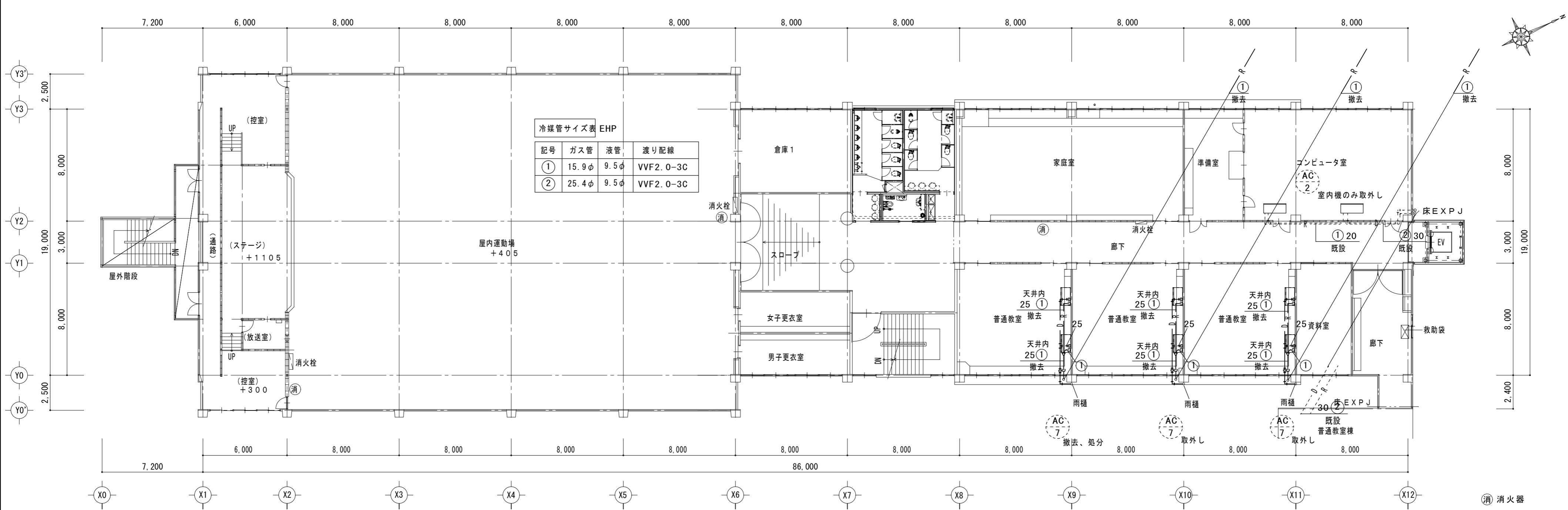
改修前



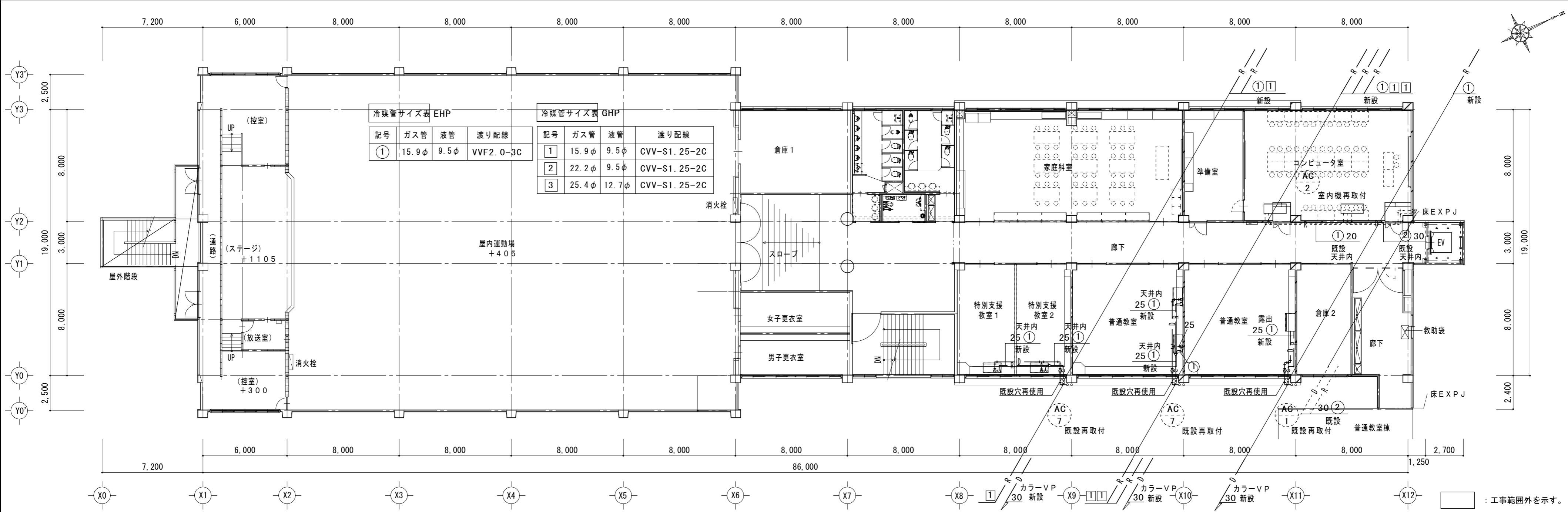
改修後



改修前



改修後



工事名称 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称

空調設備 3階平面

1000

尺

200

1

三

1

担当

1

承認

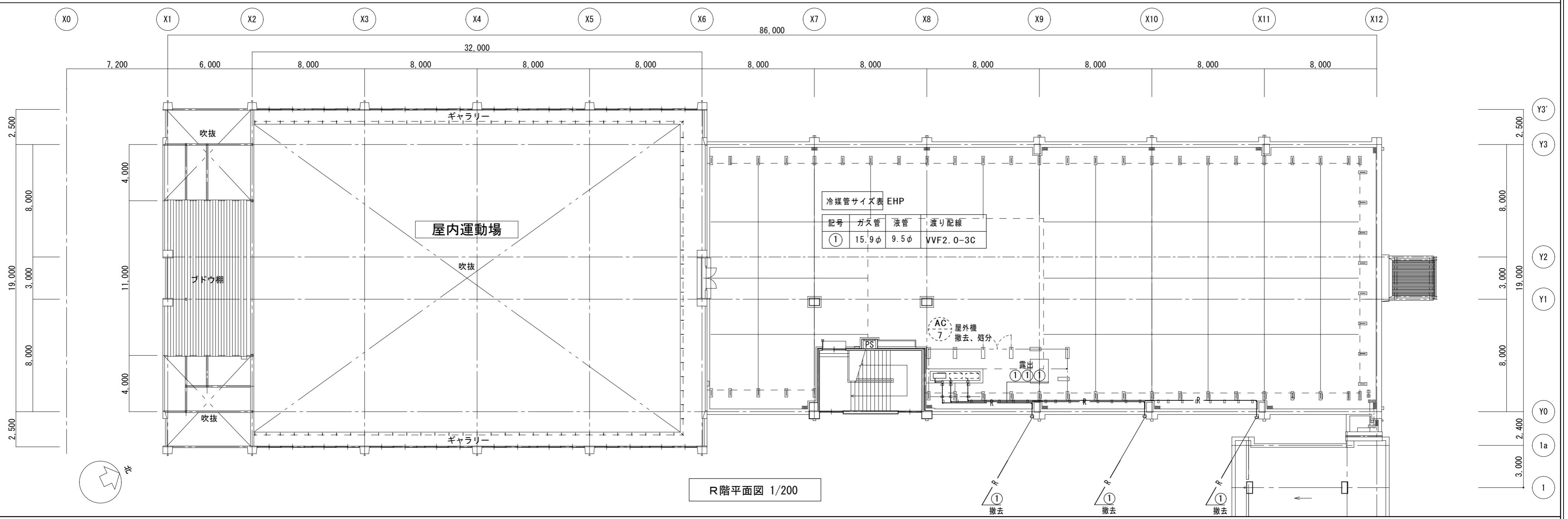
1

藤川設計株式会社

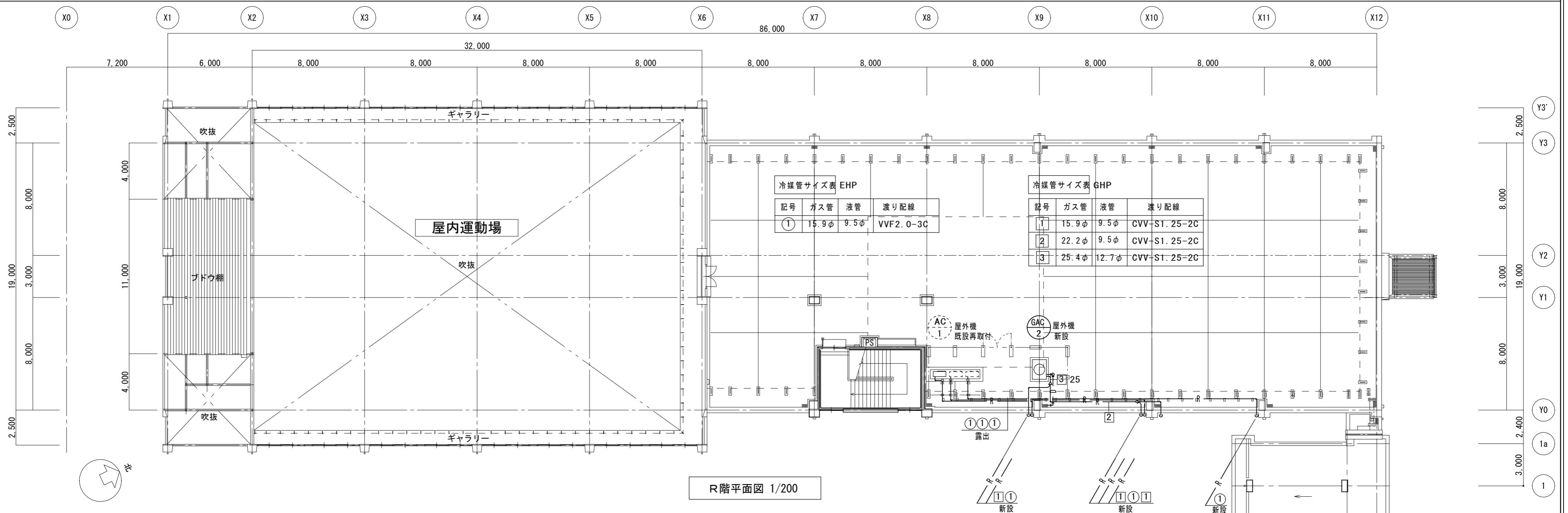
一級建築士登録 22255
田中 寛士夫

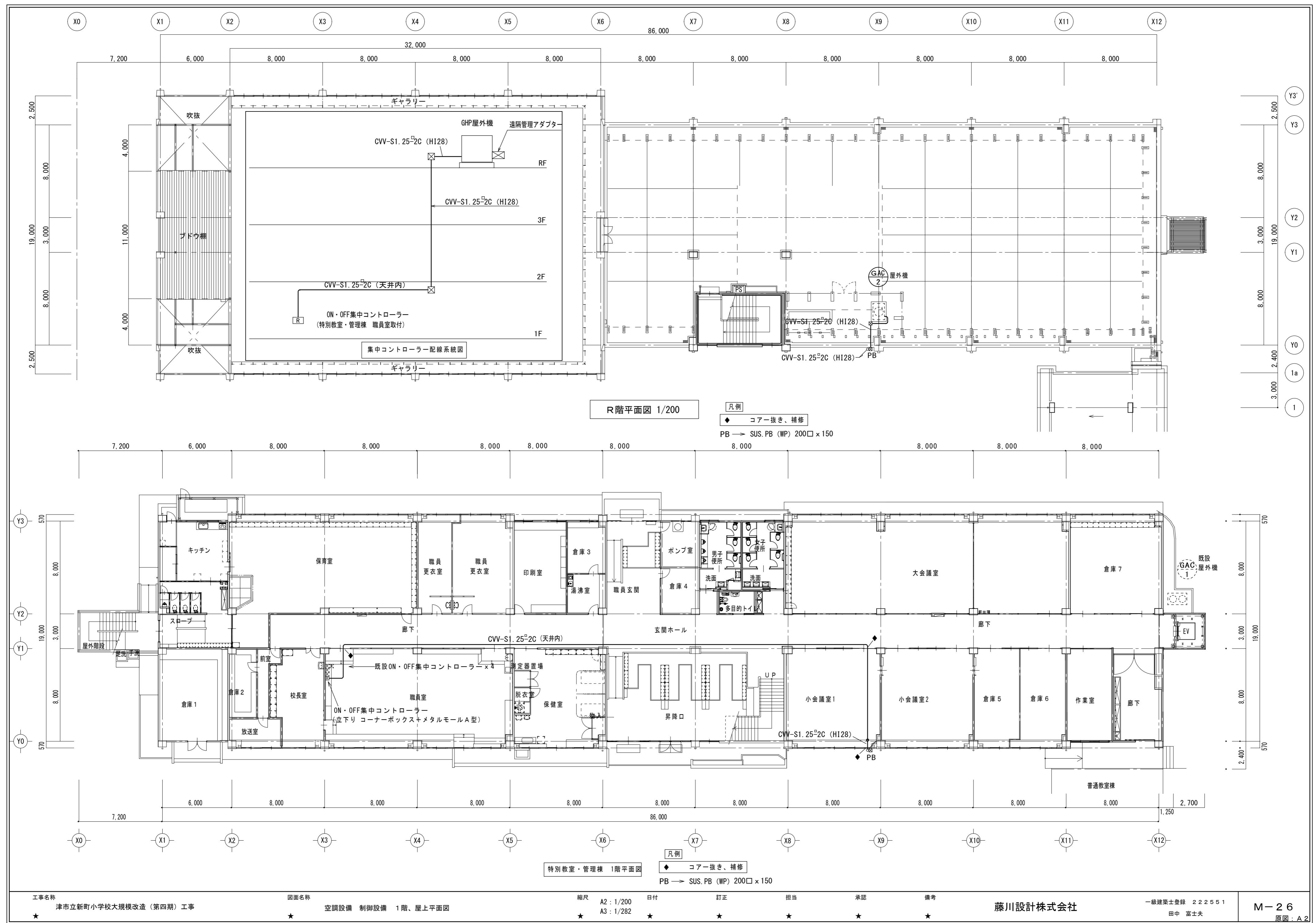
M-24

改修前



改修後

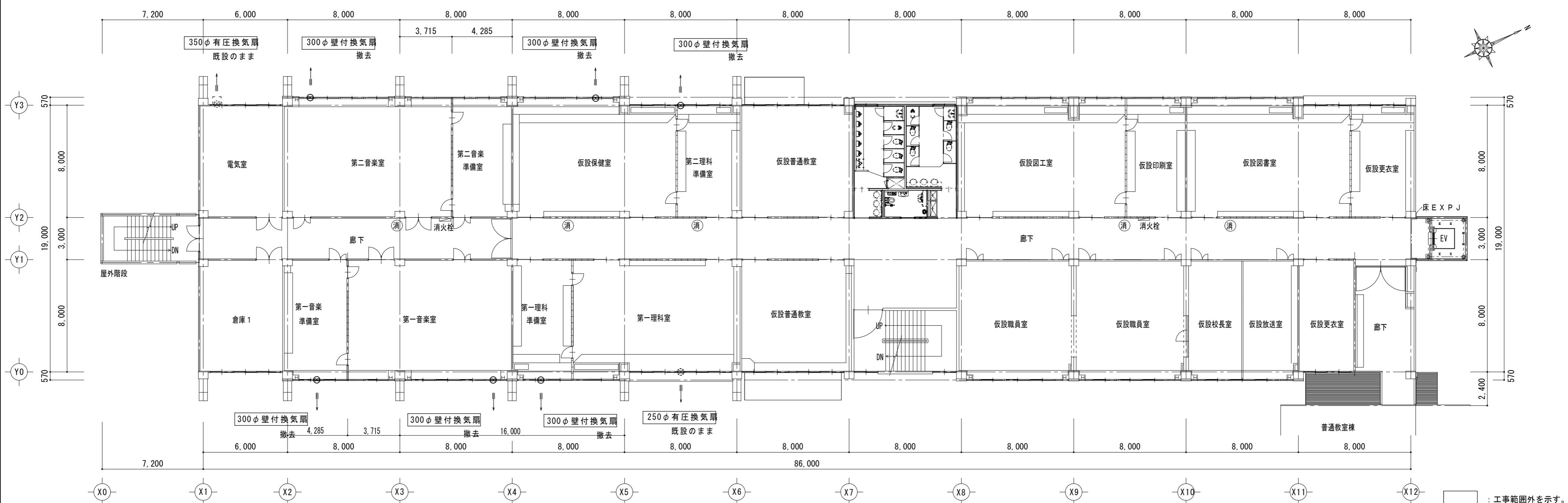




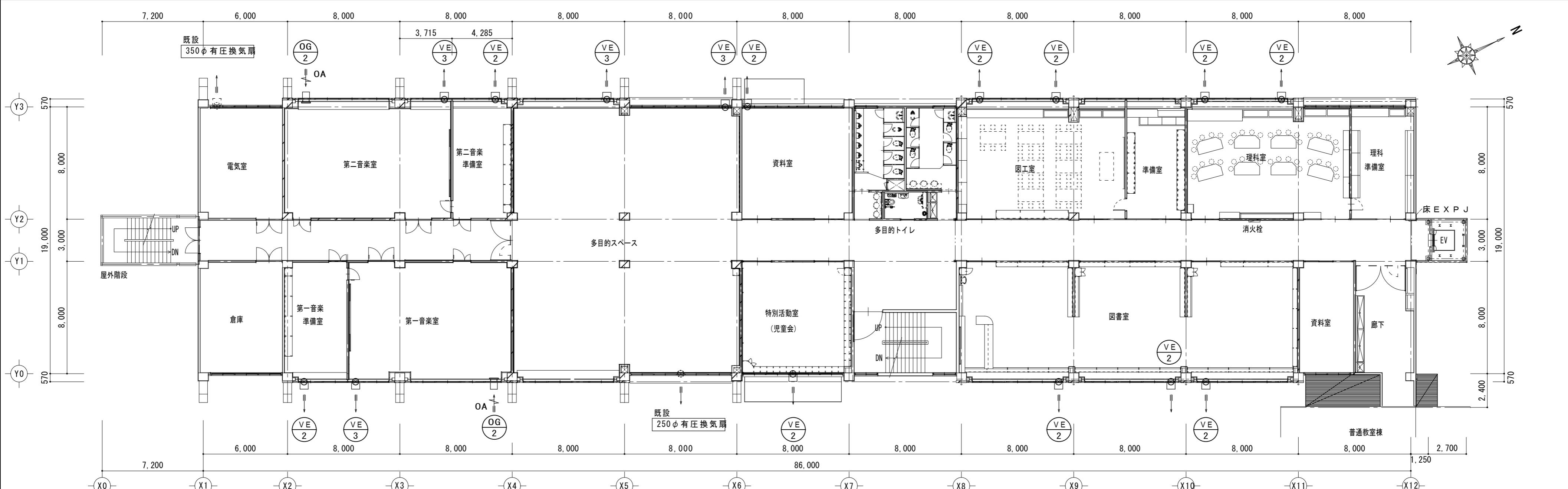
換 気 機 器 表

機器番号	機器名称 参考型番	形 式 ・ 仕 様	電 気 容 量	台数	設置場所・備考
			電 源 (V)		
			電動機 (W)		
VE 1	壁付換気扇	形 式 格子タイプ・電気シャッター式 窓枠取付形	1φ-100	2	3階 各室 (図示ヶ所)
	EX-20SC3-S	風 量 200φ × 606 m ³ /h	38.0		
		付属品 S U S ウエザーカバー、他一式共			
VE 2	壁付換気扇	形 式 格子タイプ・電気シャッター式 窓枠取付形	1φ-100	18	2.3階 各室 (図示ヶ所)
	EX-30SC3-S	風 量 300φ × 600 m ³ /h (ウェザーカバー取付時有効換気量)	38.0		
		付属品 S U S ウエザーカバー、他一式共			
VE 3	壁付換気扇	形 式 格子タイプ・電気シャッター式 窓枠取付形	1φ-100	4	2.3階 各室 (図示ヶ所)
	EX-30SC3-S	風 量 300φ × 800 m ³ /h (ウェザーカバー取付時有効換気量)	38.0		
		付属品 格子タイプ・電気シャッター式 窓枠取付形			
OG 2	外気取入口	形 式 VHS 300 × 300 (F付)		2	第二音楽室、第一音楽室
		付属品 300φ用 S U S ウエザーカバー (S U S 防虫網付)、不燃木枠			
S 1	壁掛け扇風機	形 式 引きひもタイプ	1φ-100	2	3階特別教室支援教室
	K30-YQ		31.0		

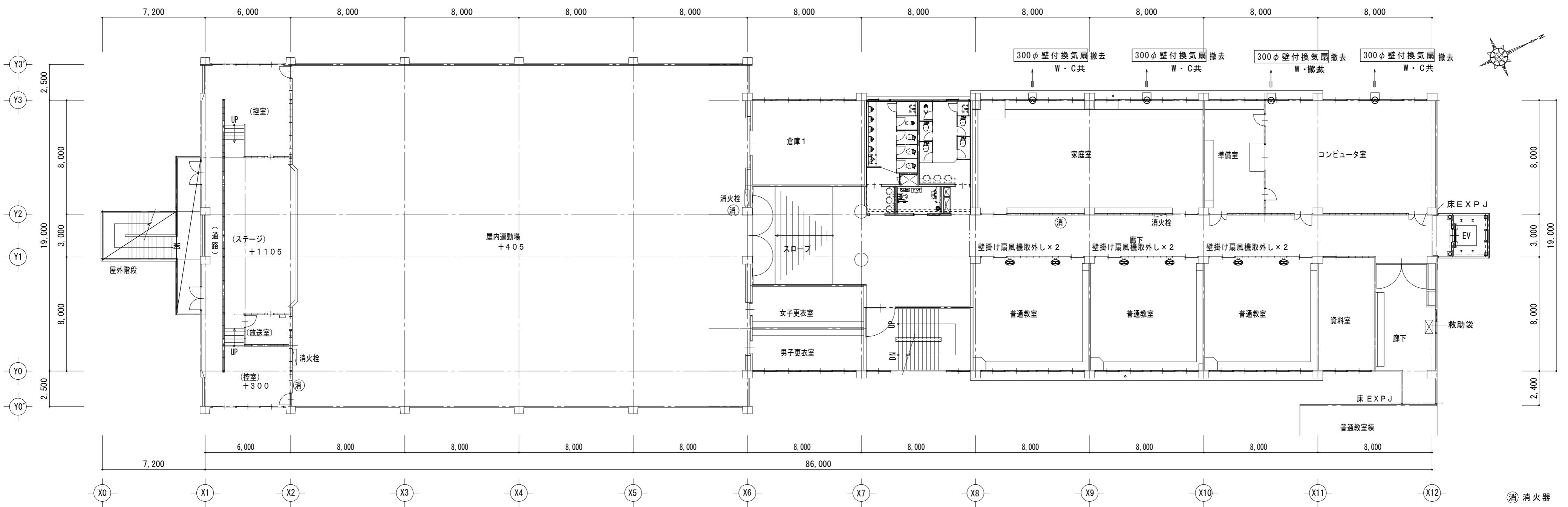
改修前



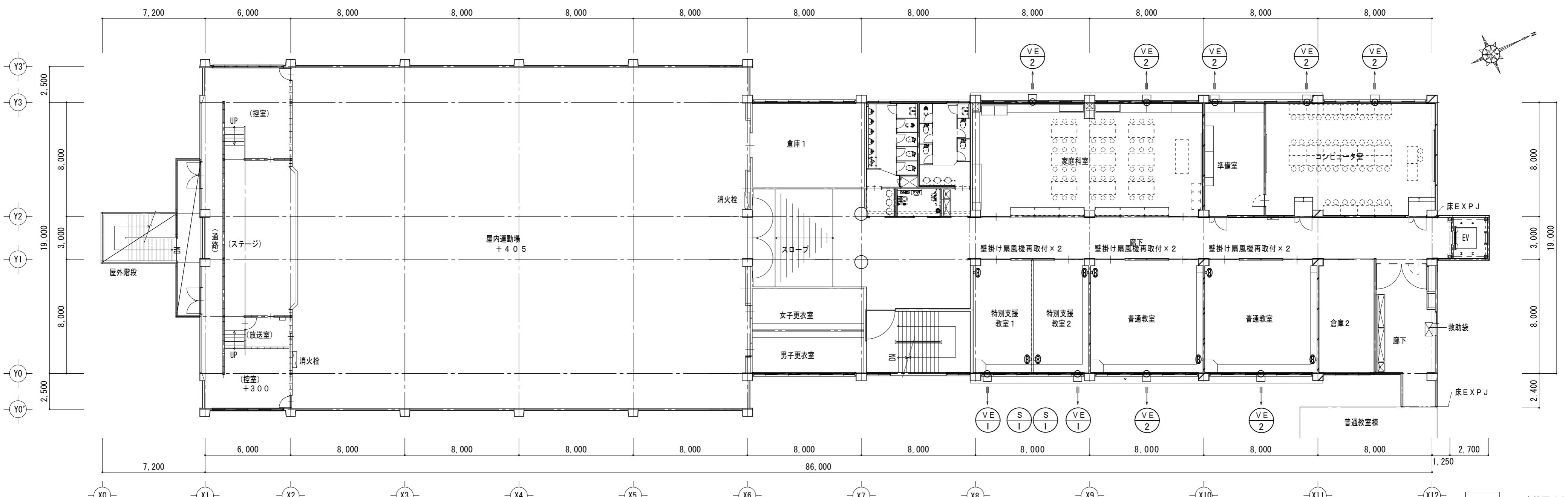
改修後

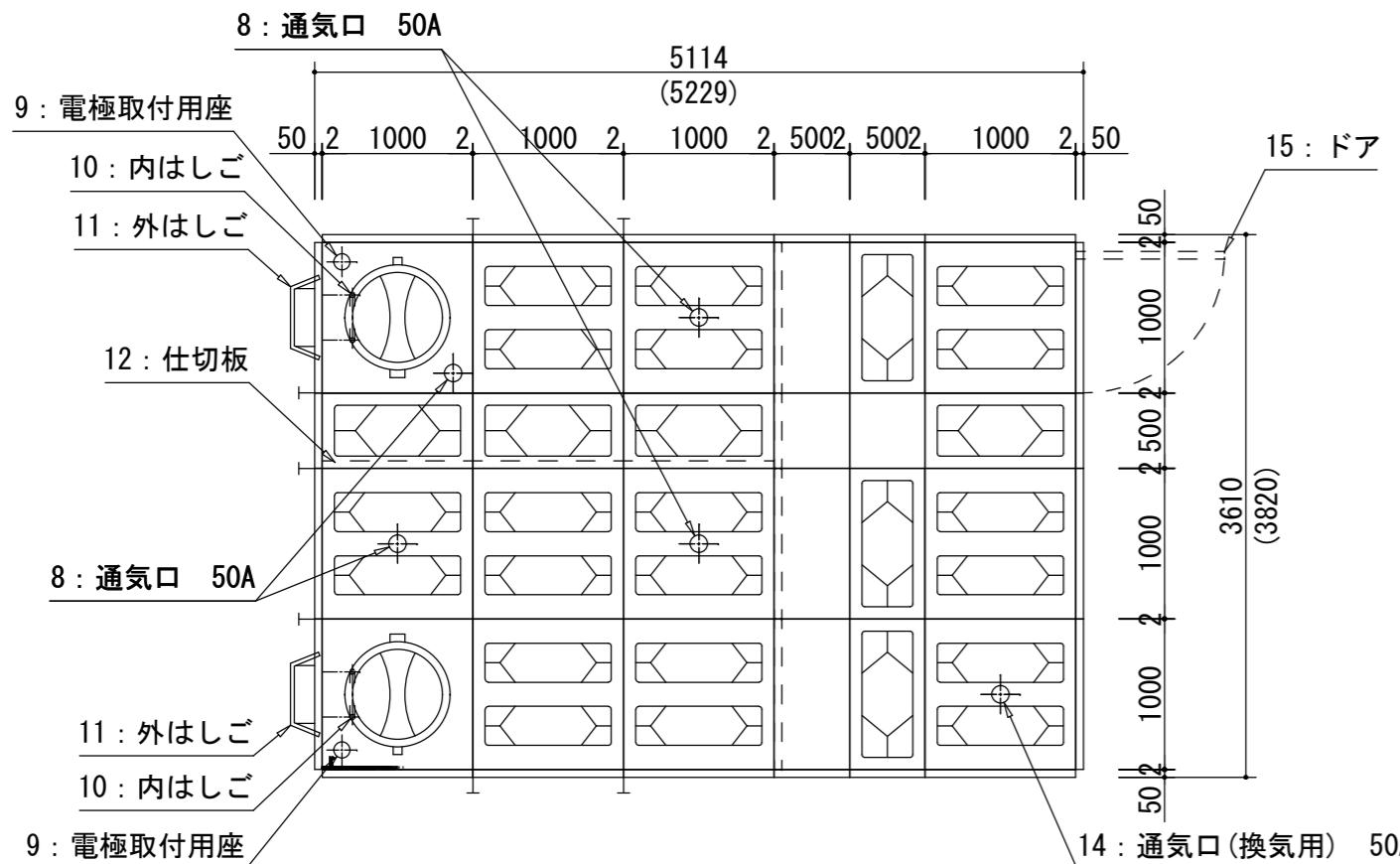


改修前

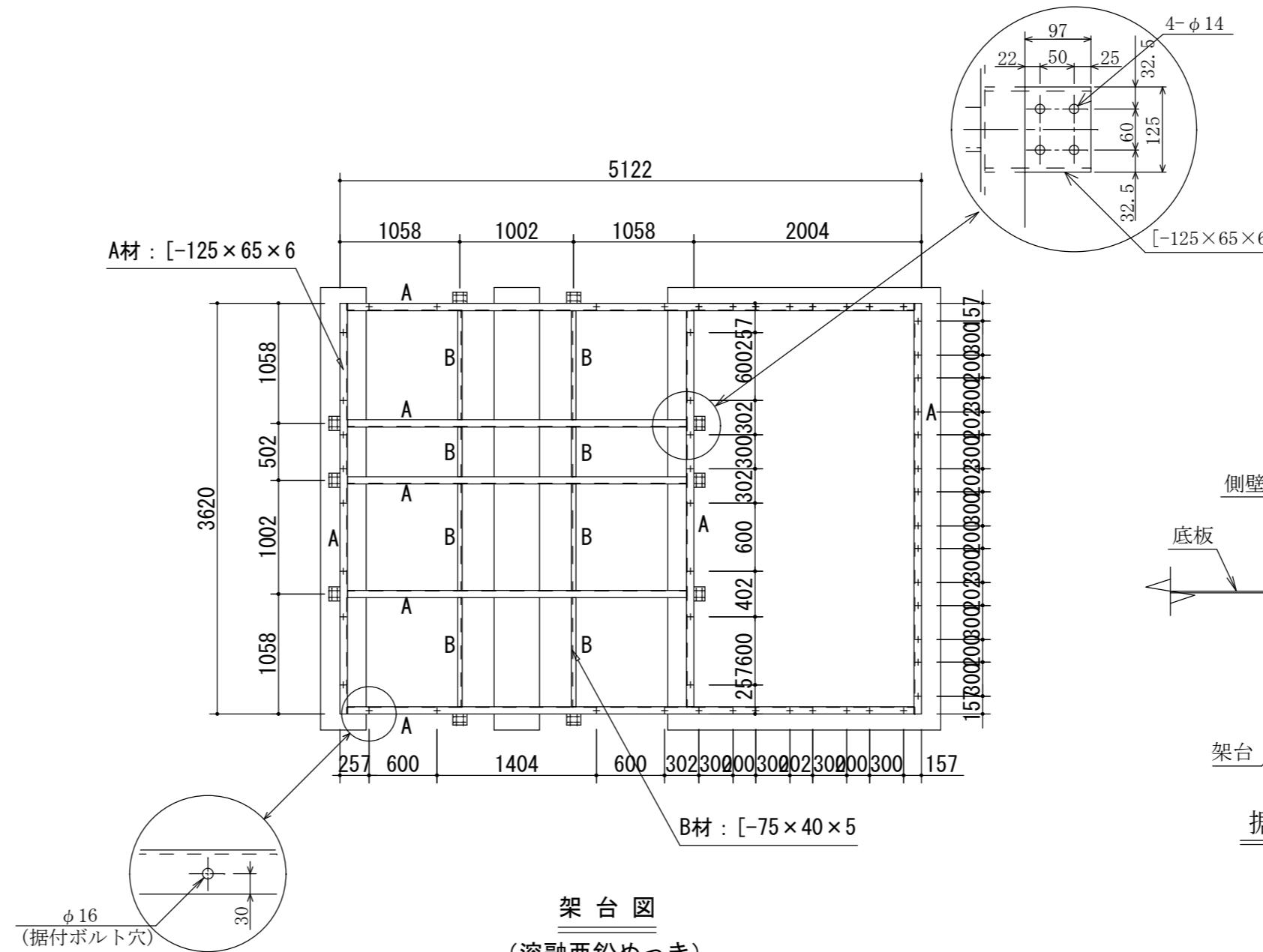


改修後

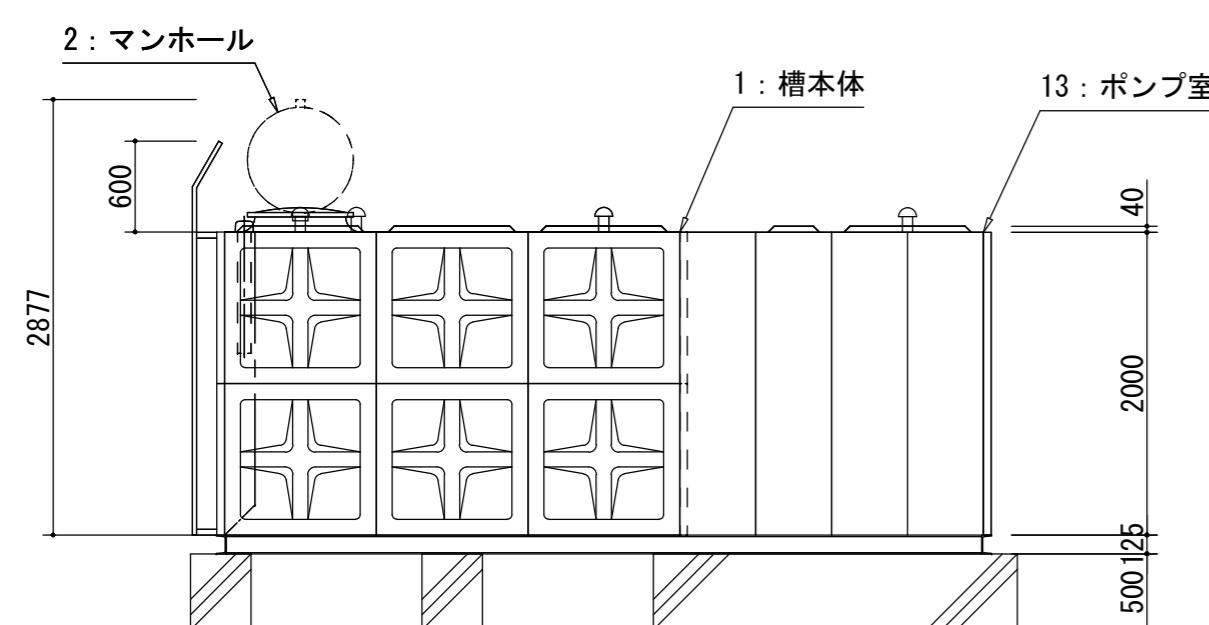




$$21.0 \text{ M}^3 \quad (3.0 \times 3.5 \times 2.0 \text{ H}) \\ (1.5 + 2.0)$$



架台図



ケミカルアンカー (SUS) M16X180L- 17 ホン

3900

170

890 890 890 890

400

1529

170

1025 1510 1025

200 2004

1529

200 2004

5062

基礎参考図

(アンカーホルト位置図)

TW-1 受水槽
二槽式 单板構造 水平震度 : $K^H = 1.5$

注記

1. パネル材質は、SUS444 + SUS329J4L 仕様
2. パネル締結用ボルトはSUS-304品
(気相部は樹脂ライニングボルト・ナット品)
3. 気相部は、粉体塗装部品を使用
4. 水槽質量は、1990kg
5. ()内寸法はタンク最外寸法を示す。
6. 「公共建築工事標準仕様書」に準じる。
7. ポンプ室側板パネル材質は、SUS304相当品仕様
ポンプ室天井パネル材質は、SUS444仕様

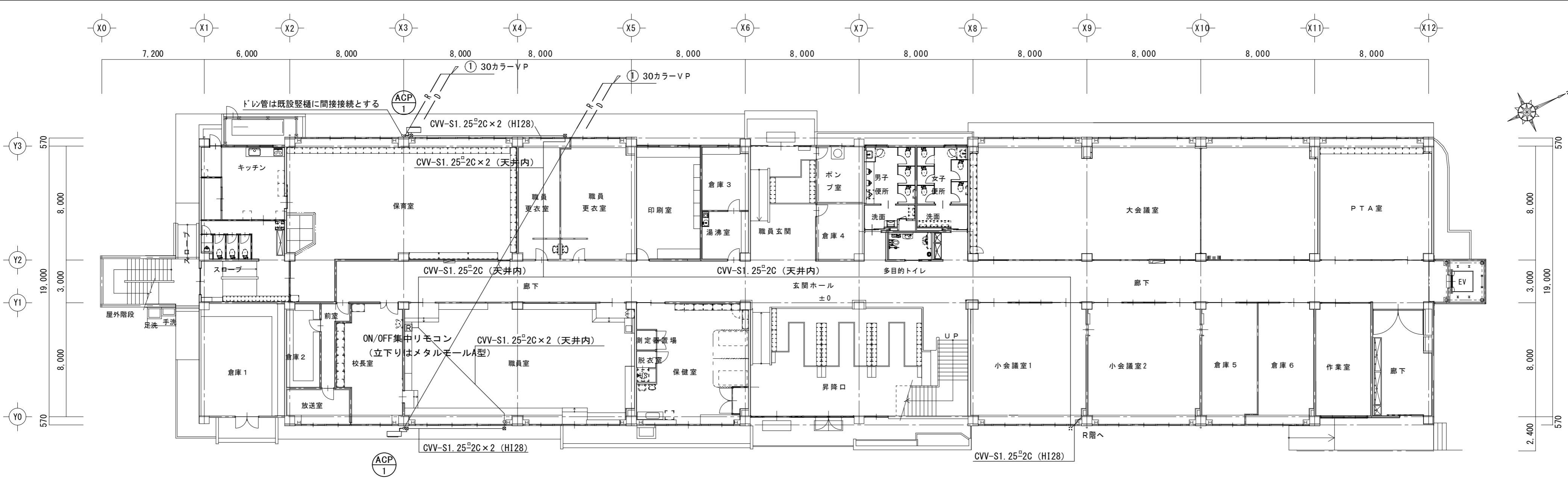
15	ドア	AL	1	790×1795H(ガラリ付)	DRC
14	通気口(換気用)	ABS	1	50A 防虫網付	
13	ポンプ室	SUS	1	3.5×2.0×2.0H	B2.0
12	仕切板	SUS	1		B1.5 0.5
11	外はしご	SS	2	巾385 溶融亜鉛めっき品	
10	内はしご	PVC	2	巾300	
9	電極取付用座	PVC	2	PF2 かべ-, 防波管付	
8	通気口	ABS	4	50A 防虫網付	
7	排水口				
6	溢水口				
5	出水口	FC	2	65A 両面フランジ 緊急遮断弁(バタライ弁)制御盤付	
4	入水口				
3	入水口				
2	マンホール	SUS	2	ø600 取外し兼用型 内蓋付	
1	槽本体	SUS	1		
N	外壁	外板	数	壁厚	78

空調機器表 空冷ヒートポンプ式

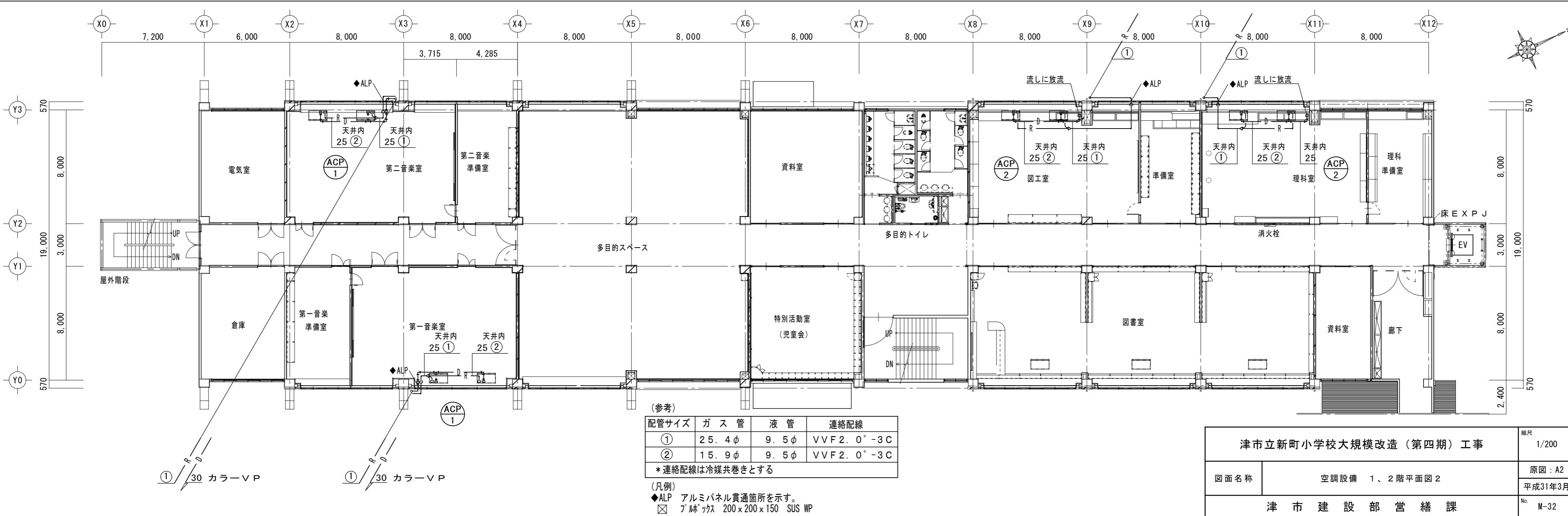
記号	機器名 参考型番	機器仕様	電源容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	圧縮機kW			
ACP 1	パッケージ空気調和機	形式 天吊形 同時ツイン	3	200	4.60	2	第一音楽室 第二音楽室	既製RC基礎 転倒防止金物
		冷房能力 定格 20.0 kW	消費	冷房	6.96			
		暖房能力 定格 22.4 kW	電力	暖房	6.15			
				低温	9.36			
		付属品 ワイヤレスリモコン、防護ネット、ドレンアップキット、他一式共						
ACP 2	パッケージ空気調和機	形式 天吊形 同時ツイン	3	200	4.60	2	図工室 理科室	既製RC基礎 (L=1000)
		冷房能力 定格 20.0 kW	消費	冷房	6.96			
		暖房能力 定格 22.4 kW	電力	暖房	6.15			
		冷媒配管		低温	9.36			
		付属品 ワイヤレスリモコン、防護ネット、ドレンアップキット、他一式共						
ACP 3	パッケージ空気調和機	形式 天吊形	3	200	3.70	2	家庭科室	既製RC基礎 (L=1000)
		冷房能力 定格 14.0 kW	消費	冷房	5.42			
		暖房能力 定格 16.0 kW	電力	暖房	5.00			
		冷媒配管		低温	6.28			
		付属品 ワイヤレスリモコン、防護ネット、ドレンアップキット、他一式共						
	ON/OFFコントローラー		1	100		1	職員室	

津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事		縮尺 1/200
図面名称	空調機器表 2	
原図:A2 平成31年3月		
津市建設部營繕課		No. M-31

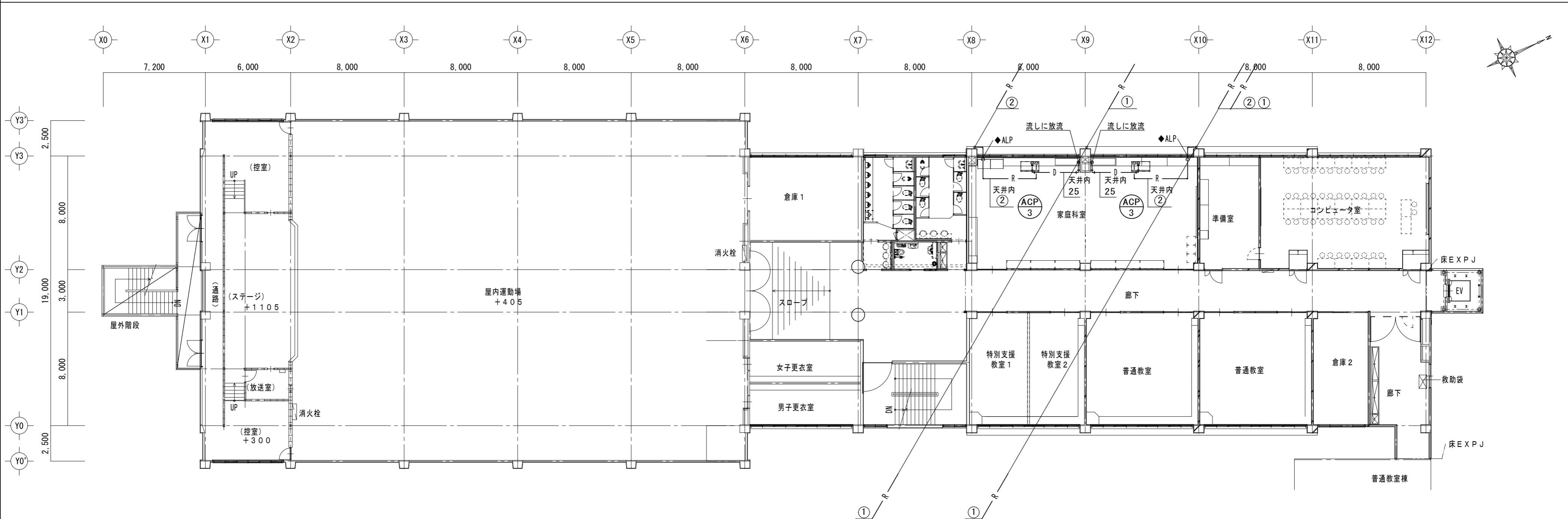
1 階平面図 1/200



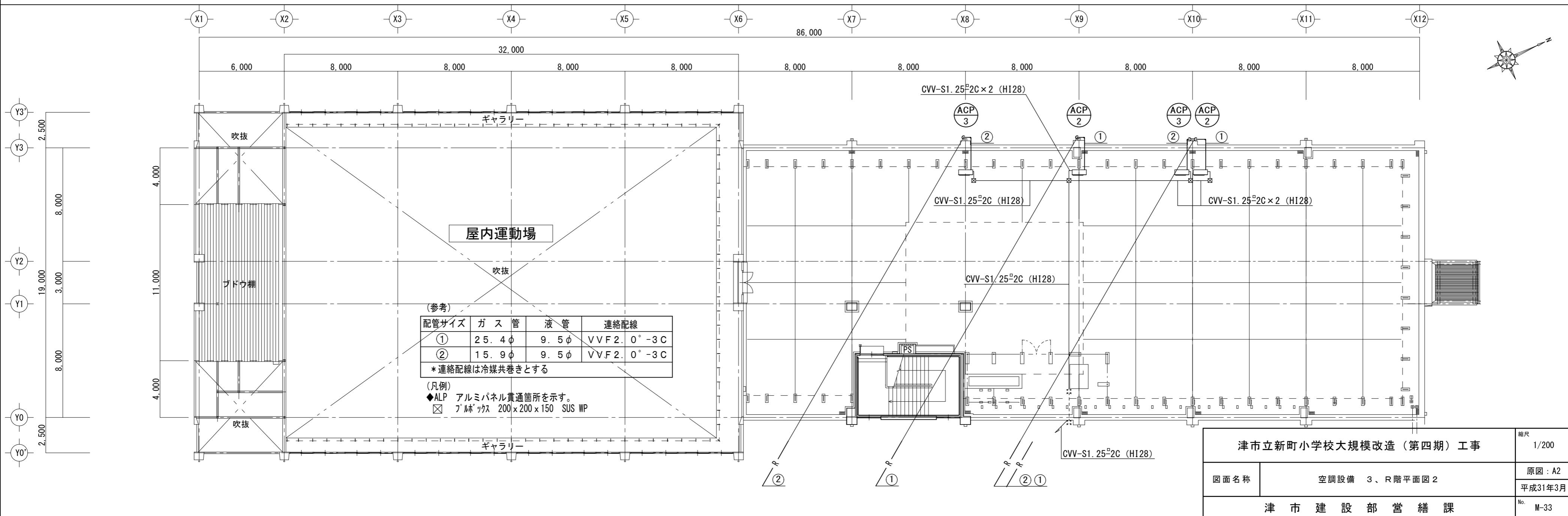
2階平面図 1/200

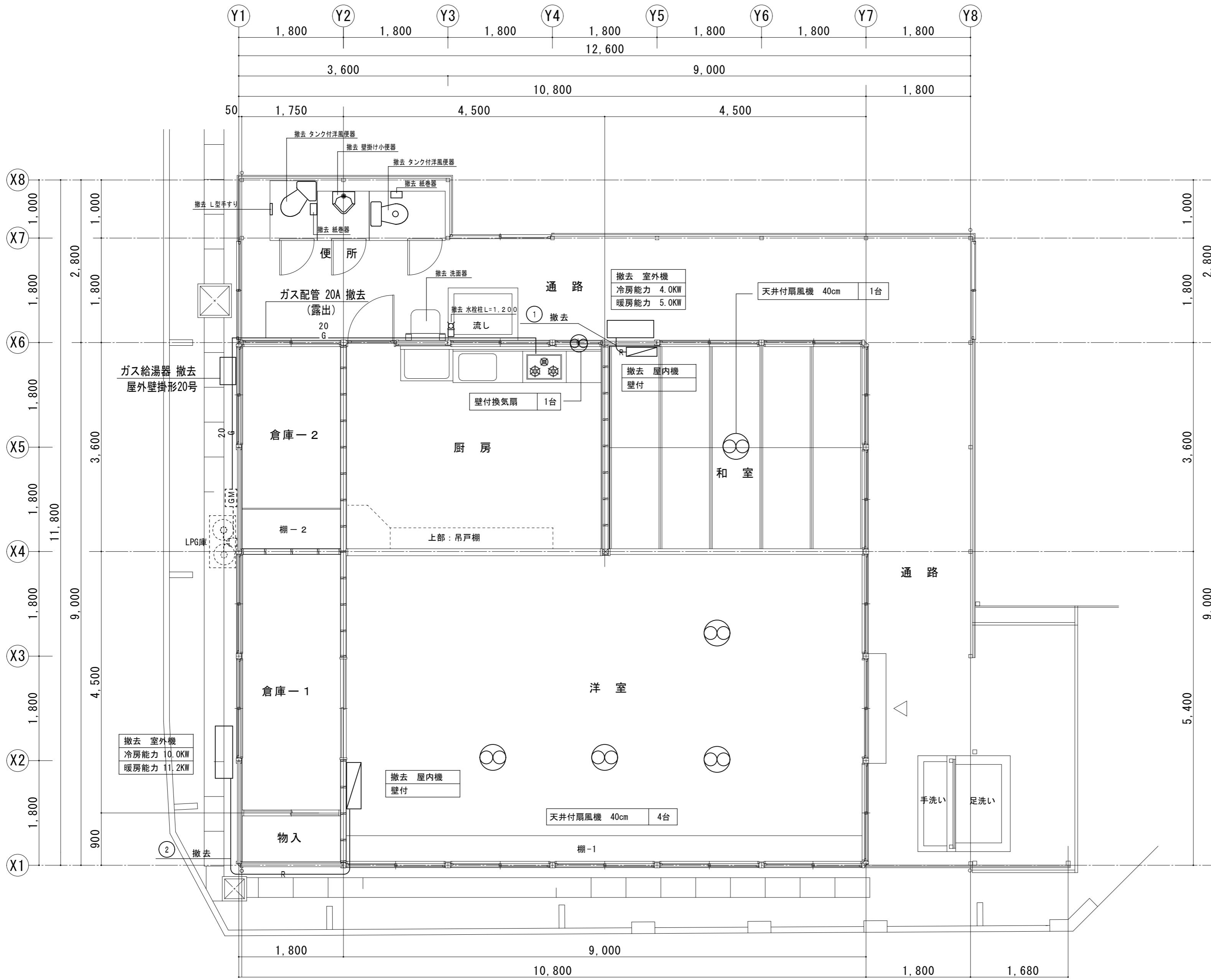


3階平面図 1/200



R階平面図 1/200





撤去 冷媒管サイズ表			
記号	液管	ガス管	連絡線
①	φ6.4	φ12.7	VVF1.6-3C
②	φ9.5	φ19.1	VVF1.6-3C

※外部露出部分のみ撤去とする。屋外保温材も撤去とする

撤去工事区分
・機器及び配管の撤去は、機械設備工事とし、建物に付随する配管の撤去は建築解体工事とする。
・図面の記載なき機器、露出配管の撤去も、機械設備工事として処理の事。
・埋設配管は樹へ接続されている枝管までの撤去とし、キャップ止めを行うこと。
特記事項
・空調機の撤去処分については、「特定製品に係るか類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」及びに基づき適正に処理すること。